

嘉永甲寅仲夏新刻

# 炮術言葉葉

五守館藏板

炮術言葉圖說目錄

○身構之格

筒立	構	玉込	打揚
向	腰様	衿込	筒提
押手休	休息	筒倒	拜
劔ヲ付ル	劔ヲ取ル	歩行	踏止
踏違	廻シ	足揃	待
打	開	劔ヲ組ム	筋違左
筋違右	疊列ニテ向ヲ打ツ足取り		筒改開

目次

筒ヲ渡ス

○合圖言葉并陣列

疊列

長蛇

蟠龍

雁行

雙龍左右

旋龍同上

繚掛

同繚引

小組繚掛

同引

大組布列之格五圖

山間行軍

大組銃陣行列四圖

前放後助

切付之圖

○銃具圖式

早道火製具

金管

木管

木槌

木槌

紙管

大砲道火製具

金管

當木

火打石切具

漏斗

道火木管

鋸

小刀

鋏

天砲道拔

同道火拔

同セリ

火繩挾

粉藥入

合藥通箱

早火繩製具

木管

三取

針

錐柄

釘附筒早合真木

大筒胴藥真木

釘附筒玉拔

小筒角石

鈎

火門箸

小筒鉉玉鑄形

天砲玉

燒打玉下地籠

同籠袋



炮術言葉圖說

身構之格

一筒立 筒ヲ右ノ足ノ前角ニ臺尾ヲ地ニ附テ豎ニシ右ノ手ニテ筒ノ中程ヲ身全ヲ我方ヘシテ構ルヲ云フ



合藥節

數玉柵

同下地

野戰筒水桶

數玉真木

野戰筒玉拔ニ

小筒紙早合法量

象限儀

合藥シノ木

同糊杖

同卷夕九圖

同槌

大砲糊杖

一 構 筒ヲ左ノ肩ニアテ、堅ニシテ身全ヲ外ニシテ左  
手ニテ臺尾ヲ刀上ニ構ルヲ云フ



一 玉込 筒ヲ左ノ肩ニアテ、堅ニ構ヘタルヲ我身ノ正  
面へ取出シテ巢口ヲ向ヘナシテ筒ヲ右ノ脇ノ下へ  
抱込ミ左ノ手ニテ持堅メ右ノ手ノ大指ニテ火蓋ヲ

押開テ胴亂ヨリ玉薬ヲ入タル早合ヲ取出シ早合ノ  
口ヲ喰切り口薬ヲ火皿ニ入ル扱蓋ヲシテ筒ヲ左ノ  
方へ押廻シ立テ玉竿ヲ拔出シ法ノ如ク突込ミ固ム  
ルヲ云フ





一打場 石挾ヲ押上ケテ右ノ方ヘ筒ノ巢口ヲ空ヘ向ケ  
 テ構ルヲ云フ一番ハ筒ヲ豎ニシテ下ニ居ルナリ



玉葉ヲ込ル形  
 玉竿ヲ拔取收ル形

一向 一番二番三番共ニ正面ヲ子ラヒ打ツヲ云フ

一番



二番



三番



一腰様

是ハ巢列ニ立テ  
腰蒔スルヲ云フ



一 衿込 筒ヲ左手ニテ中程ヲ持巢口ヲ下ニシテ抱込ミ  
 構ヘルヲ云フ是ハ雨中ノトキ用ル業ニテ巢中ニ水  
 ヲ入レサル為ナリ



一 筒提 筒ヲ右ノ手ニテ中程ヲ持巢口ヲ上ケテ提ルヲ  
 云フ是ハ森林中引戸敷中ナト都テ上ニ物支ハリテ

通行シニクキトキ用ル業ナリ

一 押手休 筒ヲ左ノ手ノ肘ニ石扱ヲ引掛テ左ノ手ノ指  
 ヲ延シ胸ニ掌ヲ當テ、右ノ手ヲ延シテ押手ノ勞ヲ  
 休ムル業ナリ





一 休息 筒ヲ右ノ手ノ通ニ 豎ニ立テ左ノ手ヲ右ノ手ノ  
 下ニ重テ 曾祖ヲシテ右ノ足ヲ踏出シ 筒ニモタシテ  
 懸テ休ムヲ云フ



一 筒倒 筒ヲ右ノ足ノ許ニ立テ居タルヲ 巢口ヲ向ヘテ  
 シテ身全ヲ我カ身ノ左ノ方ヘ成ヤウニ右手ニテ筒  
 ノ中程ヲ持タル儘左足ヲ踏出シ筒ヲ下ニ置クヲ云



一 拜 筒ヲ右足ノ角ニ立テ右手ニテ中程ヲ持タルマ、  
 蹲踞シテ左手ヲ地ニ突テ首ヲ下テ拜禮スルヲ云フ

一 劍附 劍ヲ附ルトキハ筒ヲ右手ノ肘ニ持セカケテ右  
 ノ手ニテ劍ノ鞘口ヲ持チ右ノ手ニテ劍ヲ拔出シテ  
 扱左ノ手ニテ筒ノ中程ヲ持テ右ノ手ニテ劍ヲ附ル

ナリ

一 劍取

此仕方劍ヲ付ル片ハ  
 同様ニテ唯取ハカリ  
 違ヒナリ

一 歩行之圖



一 踏止マリタ九圖



一 踏違 是ハ譬ハ今迄南ニ向ヒタル備ヲ北向ニセント  
欲スル片唱フル言葉ナリ何百人ニテモ同様ニ足ヲ  
違フナリ

一 〇〇 如圖立タルヲ云 二 〇〇 如此踏違へルナリ

一 廻シ 是ハ踏違ヒタルヲクルリト向ケル片唱フル言

葉ナリ

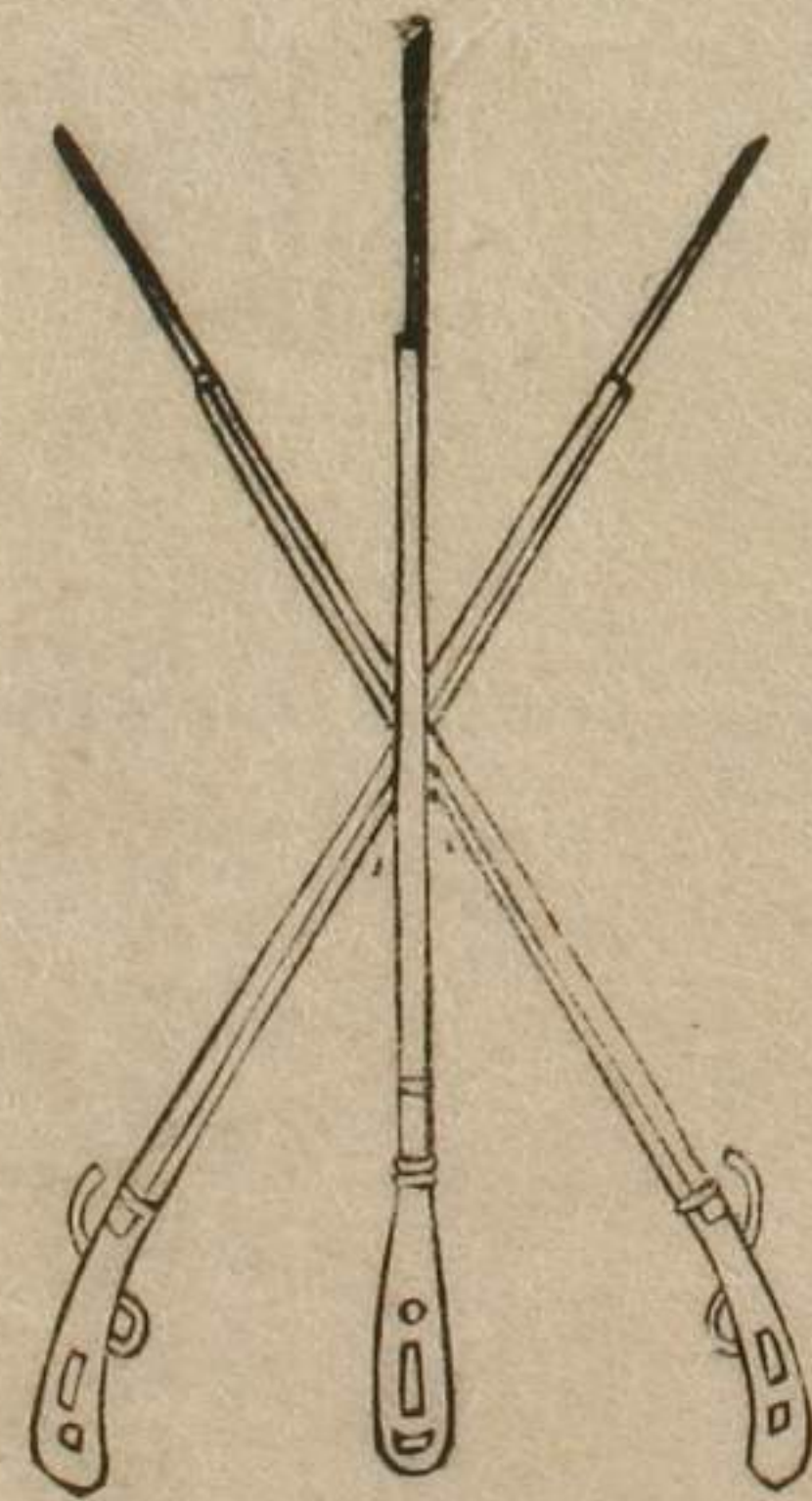
一 〇〇 如圖フミ違タルヲ 二 〇〇 如圖クルリト廻ルナリ

足揃 是ハ備ヲ立テ後一組ノ足ヲ能踏揃へル片唱フル  
言葉ナリ各左ノ足ヨリ踏初テ一所ニ立テカラ左  
右順ニ呼吸ノ揃フ迄踏テ居ルヲ云フ此トキ下知役  
太鼓ヲ兩タレ拍子ニ打ナリ

一 待 是ハ引金ヲ待タセルトキ唱フル言葉ナリ

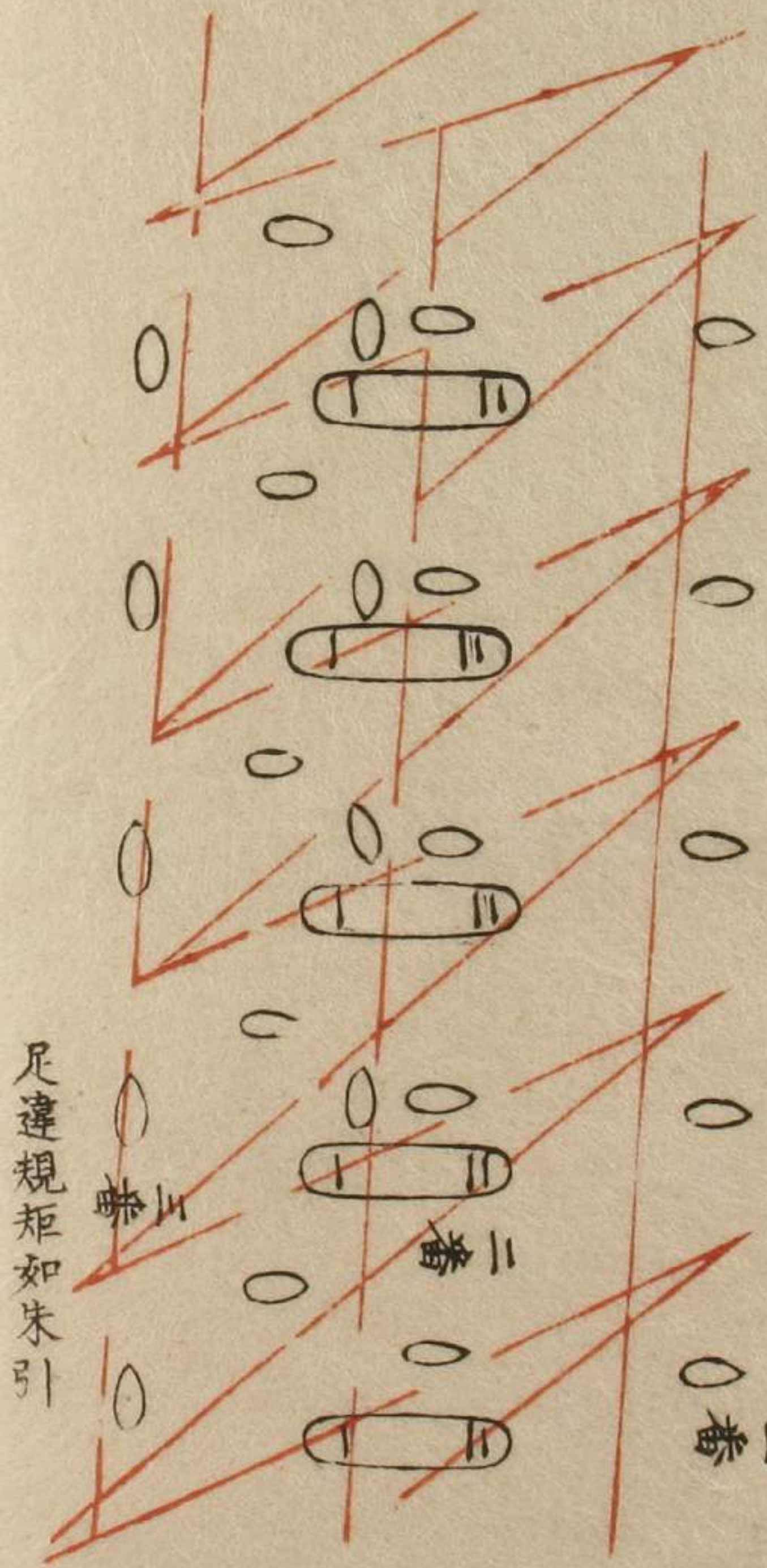
一打 是ハ引金ヲ引テウタセルトキ唱フル言葉ナリ  
 一開 是ハ備ノ向ヒタル儘後へ退カスルトキ唱フル言葉ナリ  
 葉ナリ此時ハ金鼓ヲニツ拍子ニ打交ルナリ  
 一劍組 是ハ三人疊列シタルカ前後ハ立タル儘居テ中  
 ニ立タル者計ノ右ノ方へ二足踏開キテ後へフリ向  
 キ前ニ立タル者モ後へフリ向ヒテ劍ヲ組合セテ休  
 息スルナリ

一 劍ヲ組タル圖



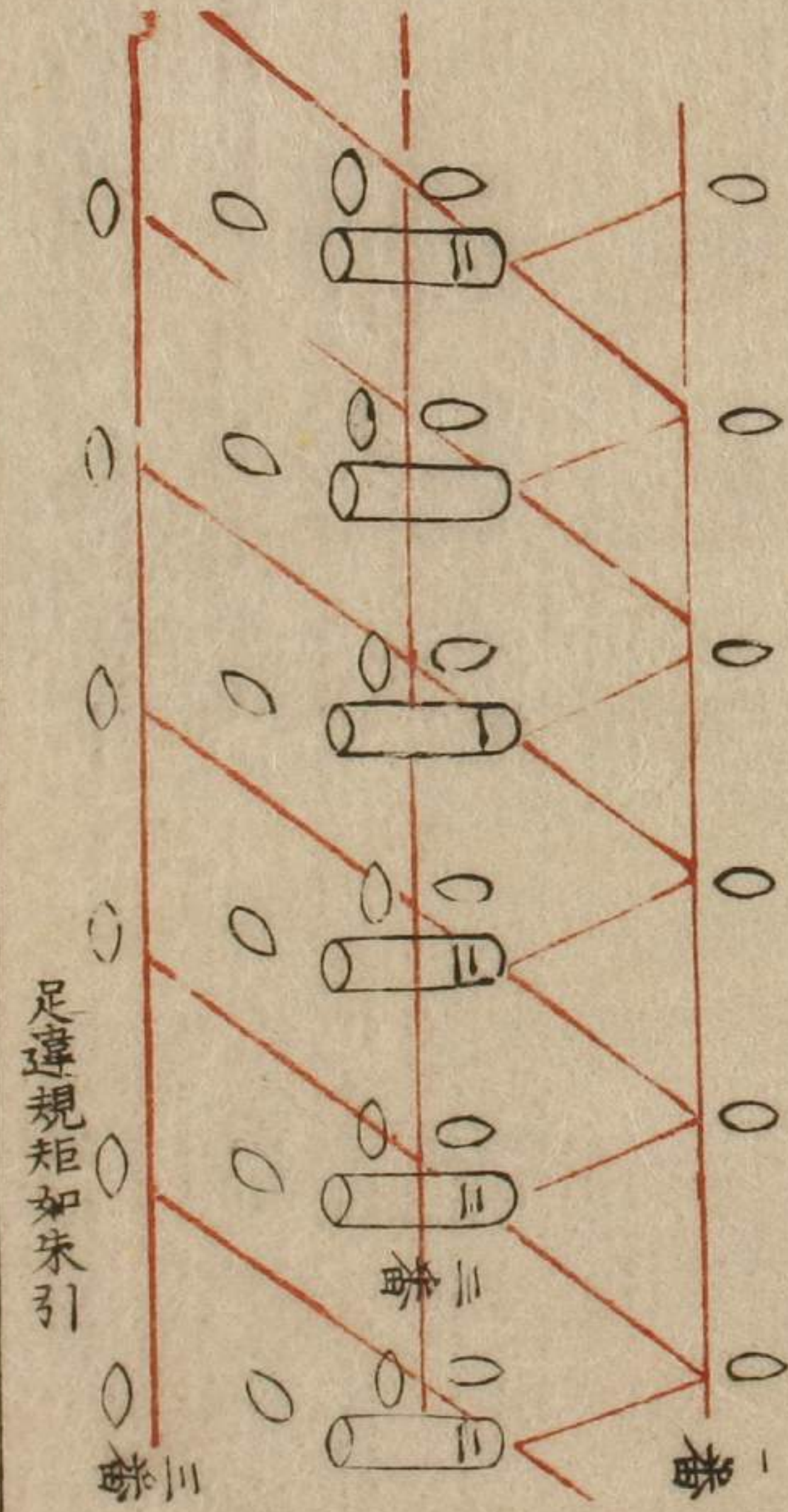
一 筋違左 是ハ左ノ方へ巢口ヲ向ケテ打タスル中唱フル

ル言葉ナリ



足違規矩如朱引

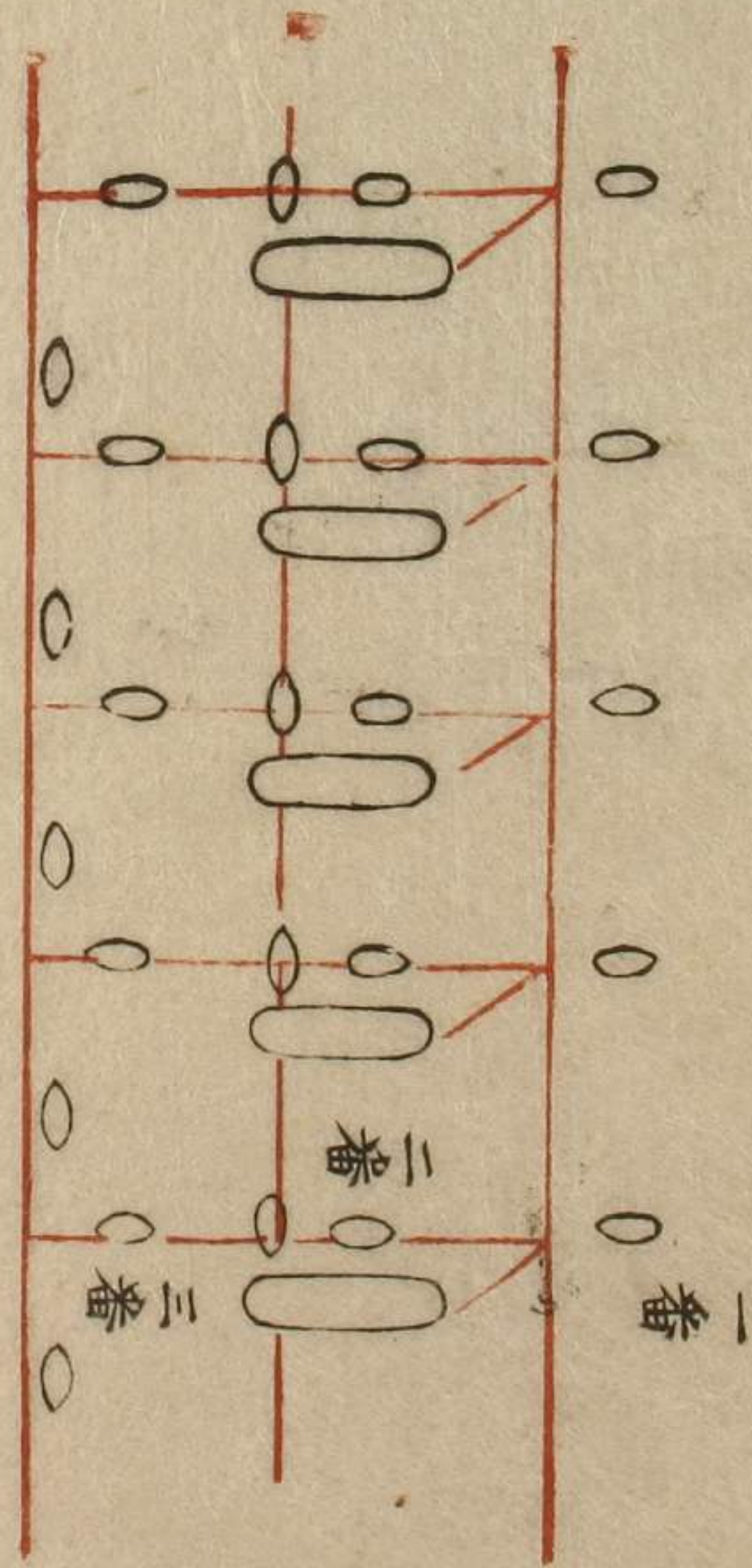
一筋違右 是ハ右ノ方へ巢口ヲ向ケテ打タスルトキニ  
唱フル言葉ナリ



足違規矩如朱引

十

一 疊列ニテ向ヲ打ツ足取



一体ノ規矩朱筋ノ如シ

一 筒改開 是ハ戰場ニ臨ム以前ニ銃陣ヲ疊列ニ立テ扣

居ルヲ云フ 疊列ト云フハ三人宛幾百人モ重リ列ナルヲ云フナリ 筒改開ケト

唱フルトキ一番ノ者ハ其儘居テ二番ノ者ハ一同ニ

三足三番ノ者ハ一同ニ六足後ノ方ニ退ルナリサテ

各構ヘタル筒ヲ豎ニシテ筒ノ中程ヲ左ニテ持テ巢

口ヲサシ後ヘ向ク様ニシテ右ノ足ヲ一足引右ノ手

テテ玉竿ヲ拔テ巢中ヘ入レ其儘右ノ手ニテ筒ヲ持

テ右ノ足ヲ踏揃ヘテ筒ヲ立テ扣居ルナリ各此ノ如

ク扣へタルヲ見テ銃頭小頭共ニ出テ一人々々ニ筒ヲ受取テ筒ノ善惡石ノ工合巢中二重込ノ十キ様火蓋ノ工合惣テ吟味スルナリ其渡しヤウ頭已カ前ニ来リ筒ハト云フトキ立テ持タル筒ヲ右ノ手ニ取上ケ筒ノ中程ヲ左ノ手ニ取テ右ノ手ニテ臺尻ノクビレタル所ヲ片手ニテ持テ身全ヲ我方ニシテ持出スナリサテ吟味濟テ頭役筒ヲ返ストキ又渡ストキノ如ク受取テ是時ハ兩手ニテ取ナリ筒ヲ立テ又右ノ足ヲ一足

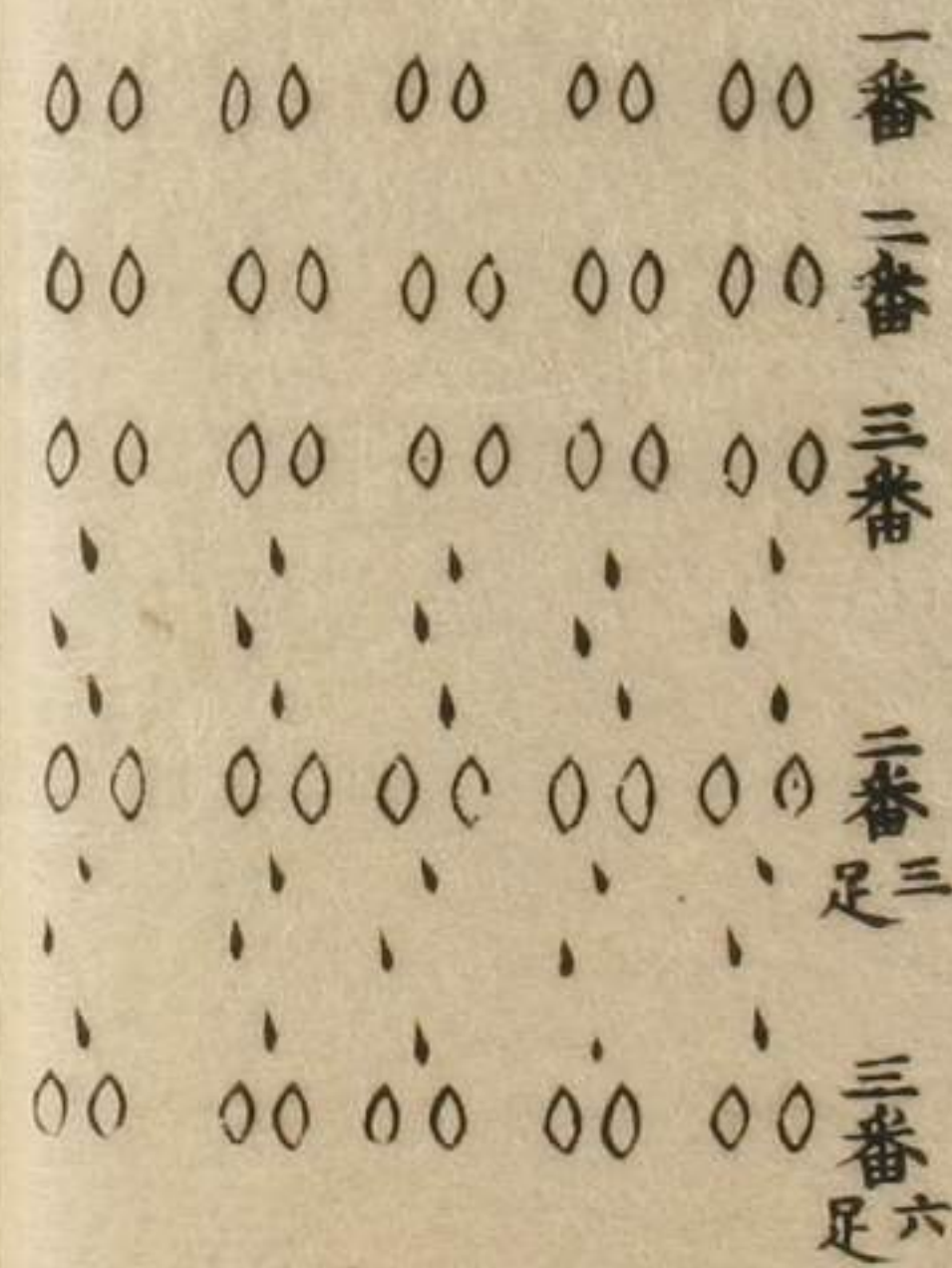
引テ左ノ手ニテ筒ヲ持テ右ノ手ニテ玉竿ヲ拔テ玉竿ノ穴へサシテ又元ノ如ク踏揃へテ筒ヲ立テ扣ル居ルナリ何百人ニテモ同様ナリ

筒ヲ渡ス圖



玉竿ヲ拔収ル所  
圖ノ如シ

後へ退ルトキ  
足取圖ノ如シ



砲術相圖言葉陣列圖説

- 一 セツターフ
- 一 スコートル
- 一 ラーテンス
- 一 ハーレツフ
- 一 ヘルト
- 一 フルラツキ
- 一 ヲームラク

- 筒立ヒ
- 構へヒ
- 玉込ヒ
- 打揚ヒ
- 腰タノ
- 拵込ノ
- 筒提ヒ



- 一 インテシアルム 押手休メヒ
- 一 レヲ子ートル 筒タヲセ
- 一 リユス 休息
- 一 テレイケレシ 筒改開キ
- 一 ハステラーテ 亂足
- 一 ハシヨ子ツトーヲツフ 劍附ヒ
- 一 ハシヨ子ツトーアフ 劍取レ
- 一 マルス

此言葉ハ用ヒス拍子木ヲ用フヘシ拍子木打方ハ  
序足ニツ破足三ツ急足四ツ打ツヘキ也

一 ハルト

此言葉用ヒス備ヲ留ルトキハ相圖ノ笛ヲヒョー  
ト吹クヘシ吹始ムレハ人々先ヘ進マス足踏ハカリ  
シテ居強クヒョート吹切ルト齊シク踏止メヘキ也

一 レキメシヨシ

踏違ヒ

一 キリ

廻シ

一 アン

向フ

一 スコイレセニリンクス

筋違左

一 スコインセンレクス

同 右

一 アクトルアルス

此言葉用ヒス笛ト拵トニテ打交ニ致スヘキ也

一 ヒユルール

打テ

一 マルケリトハス

持テ

足揃

此所ハ拍子木ヲ兩タレ拍子ニ打テ申スヘキ也

一 セキチン打

操

一 スコイン右

右雁行

一 同

左同断

一 セキチンコルコ

操掛リ操引キ

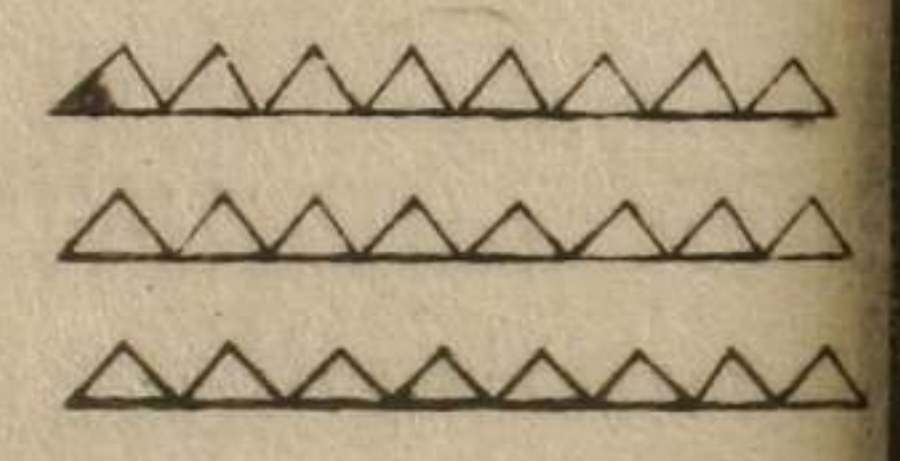
一 フレセントケレール

拜

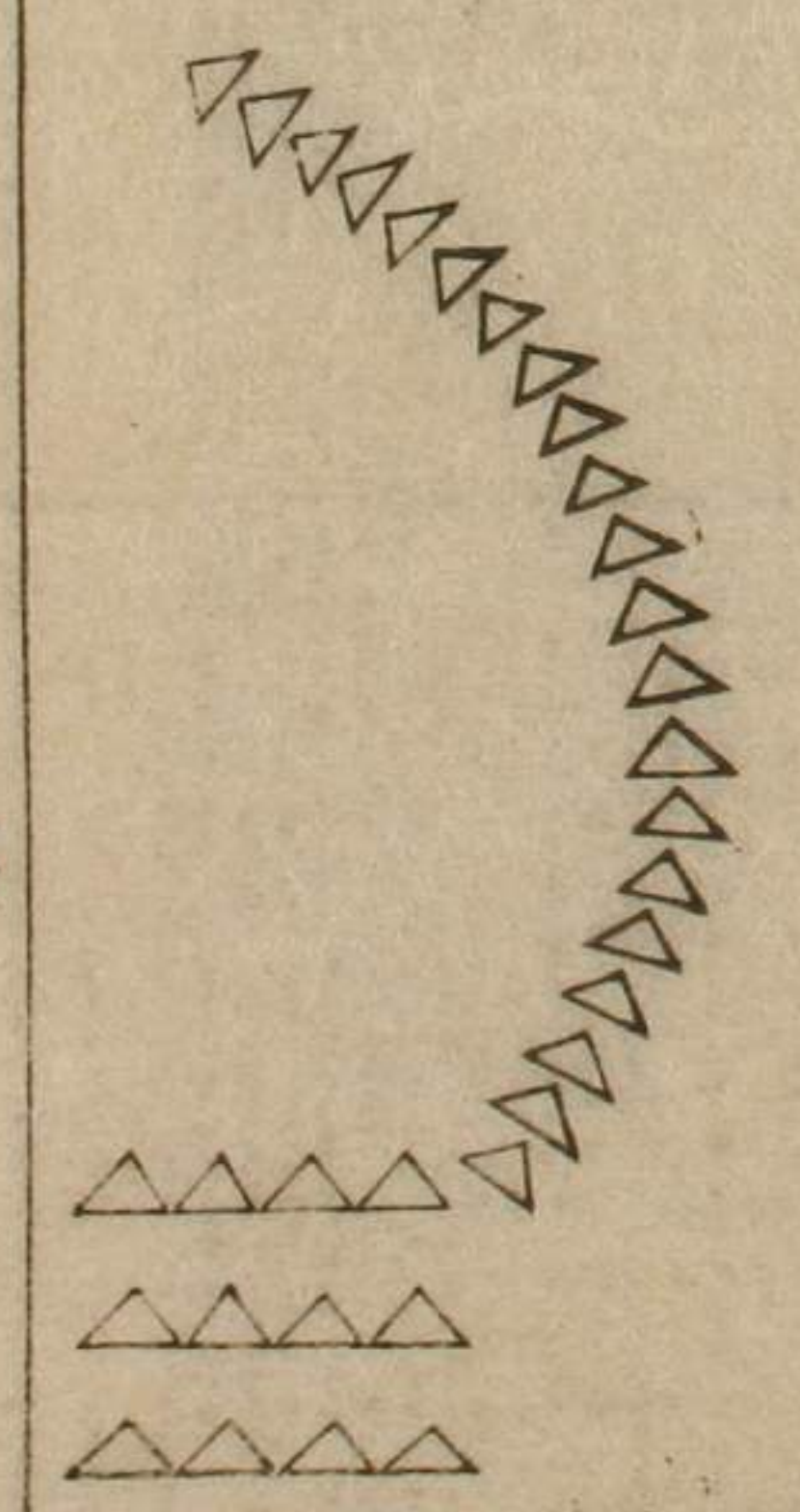
此時ハ筒ヲ立テ蹲踞シテ左ノ手ヲ地ニ突クヘキ

也

ロツテシフレツキノ  
疊列



ロツテシフレツキノ  
長蛇



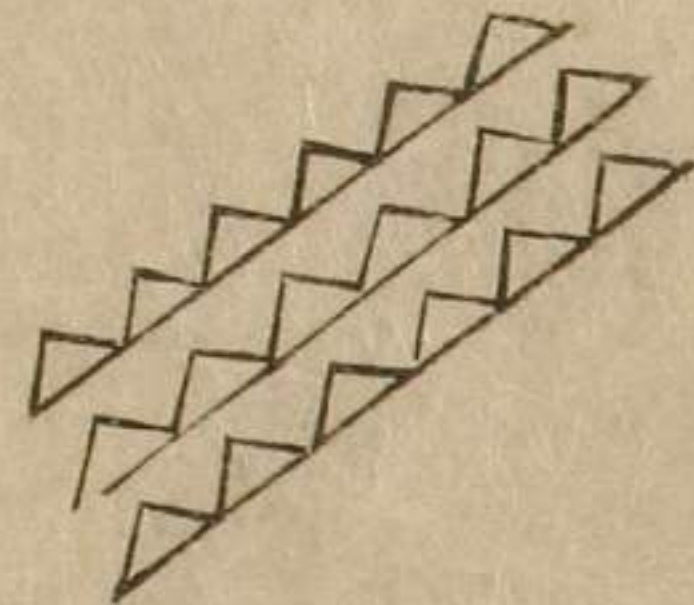
六

- 一 ロツト
- 一 ヘレトシ
- 一 ヒツホール

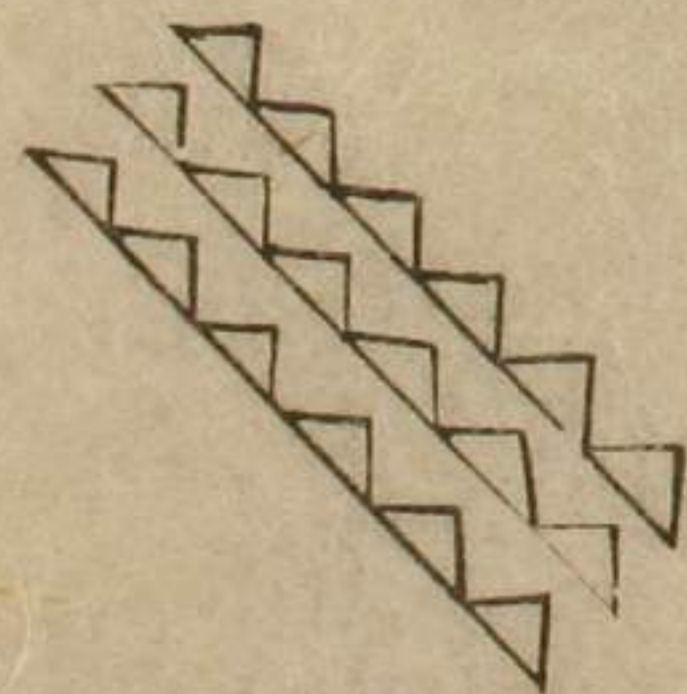
此言葉用ヒス宜ニ構ヘヨト呼申スヘキ夏

- 一 劍組メ
- 一 組
- 一 隊

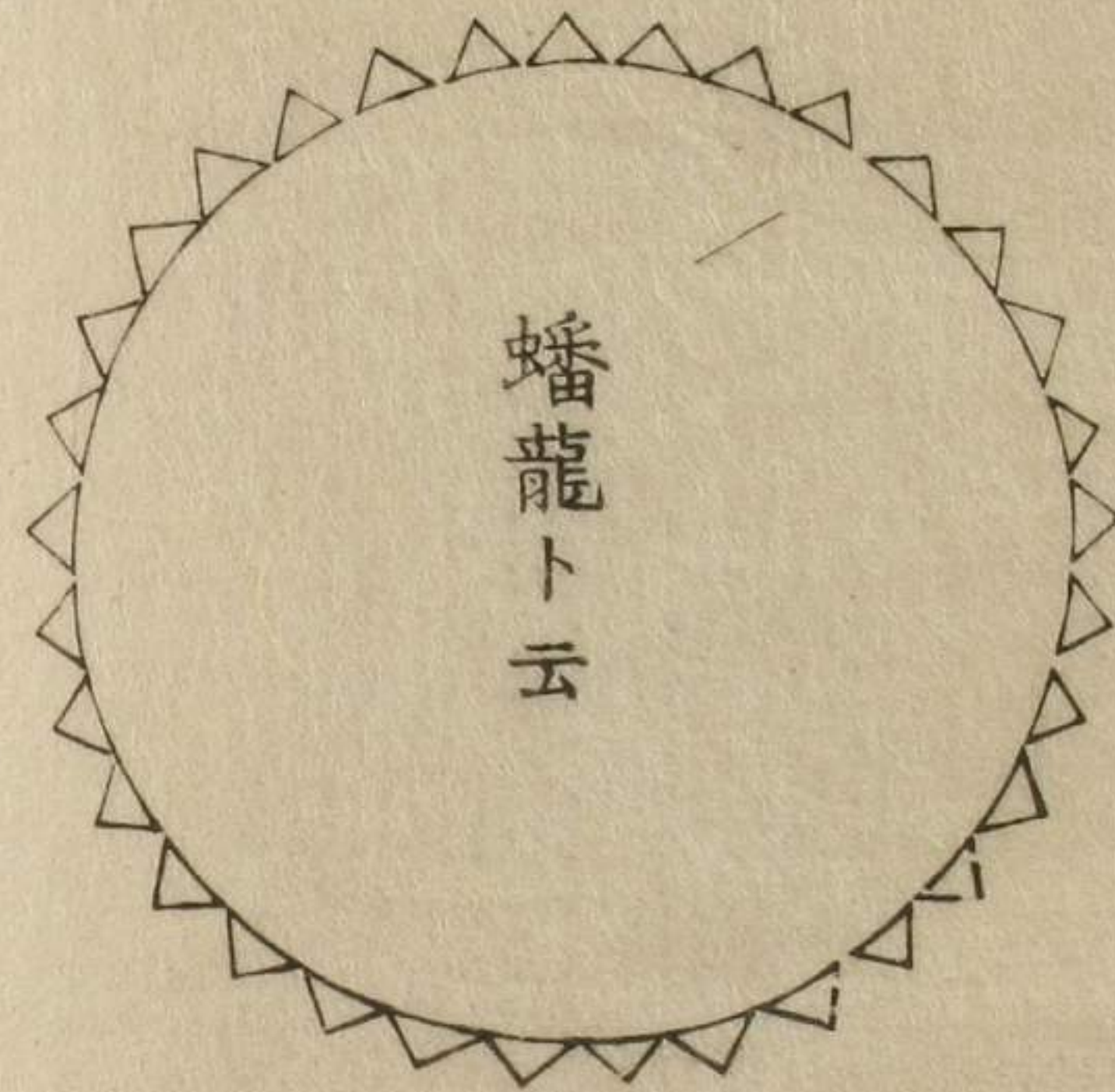
六



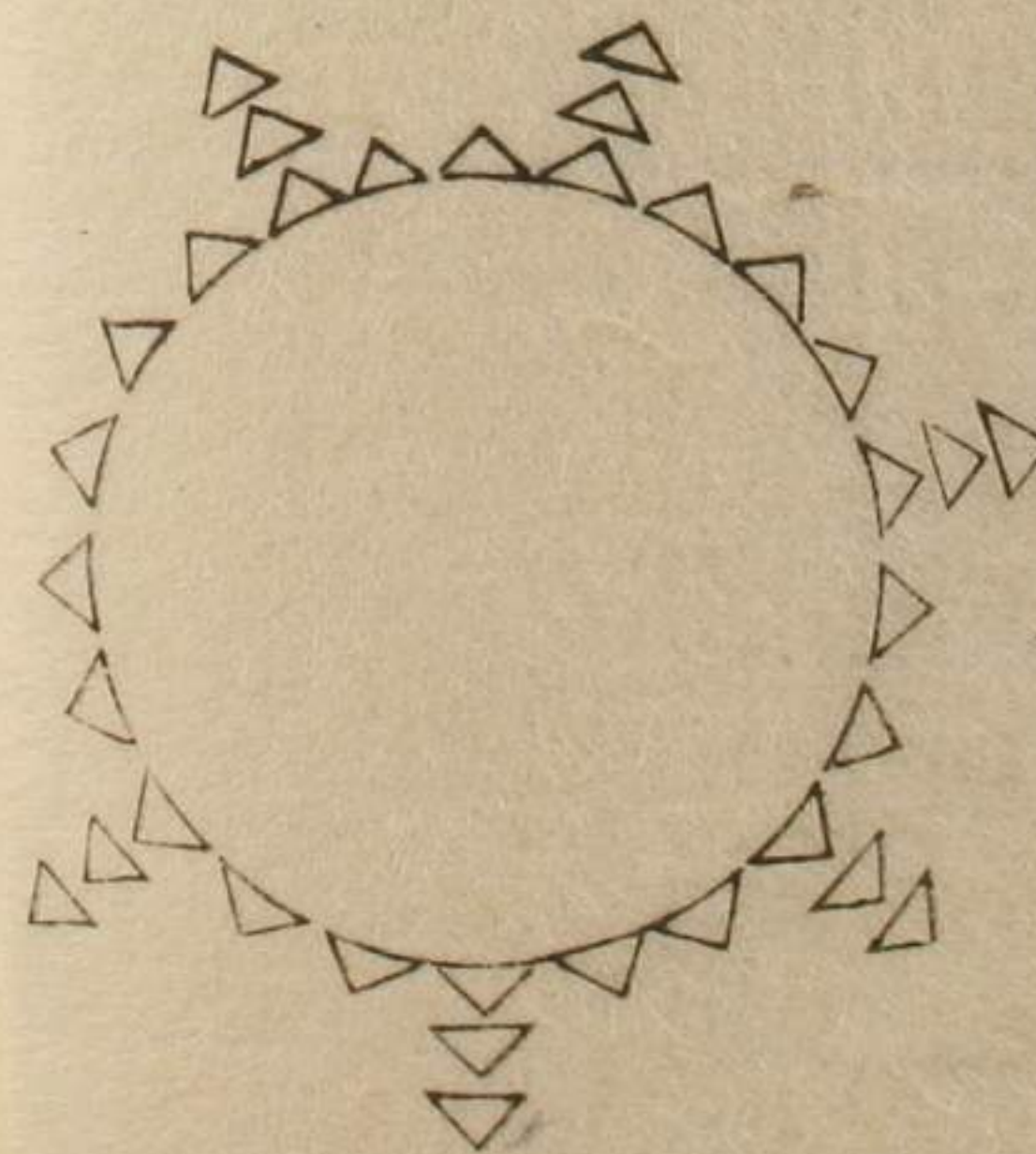
雁行左



雁行右

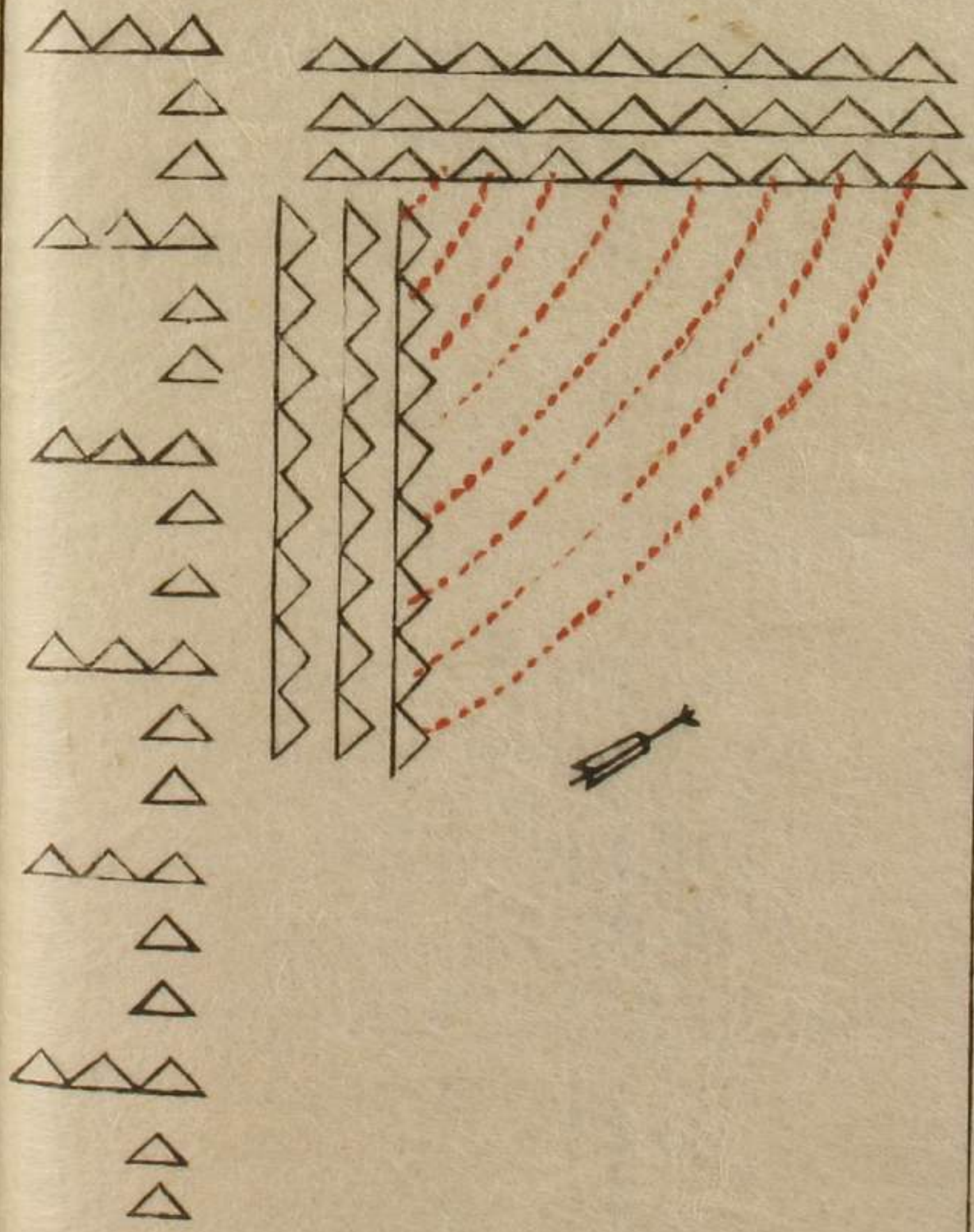


蟠龍ト云



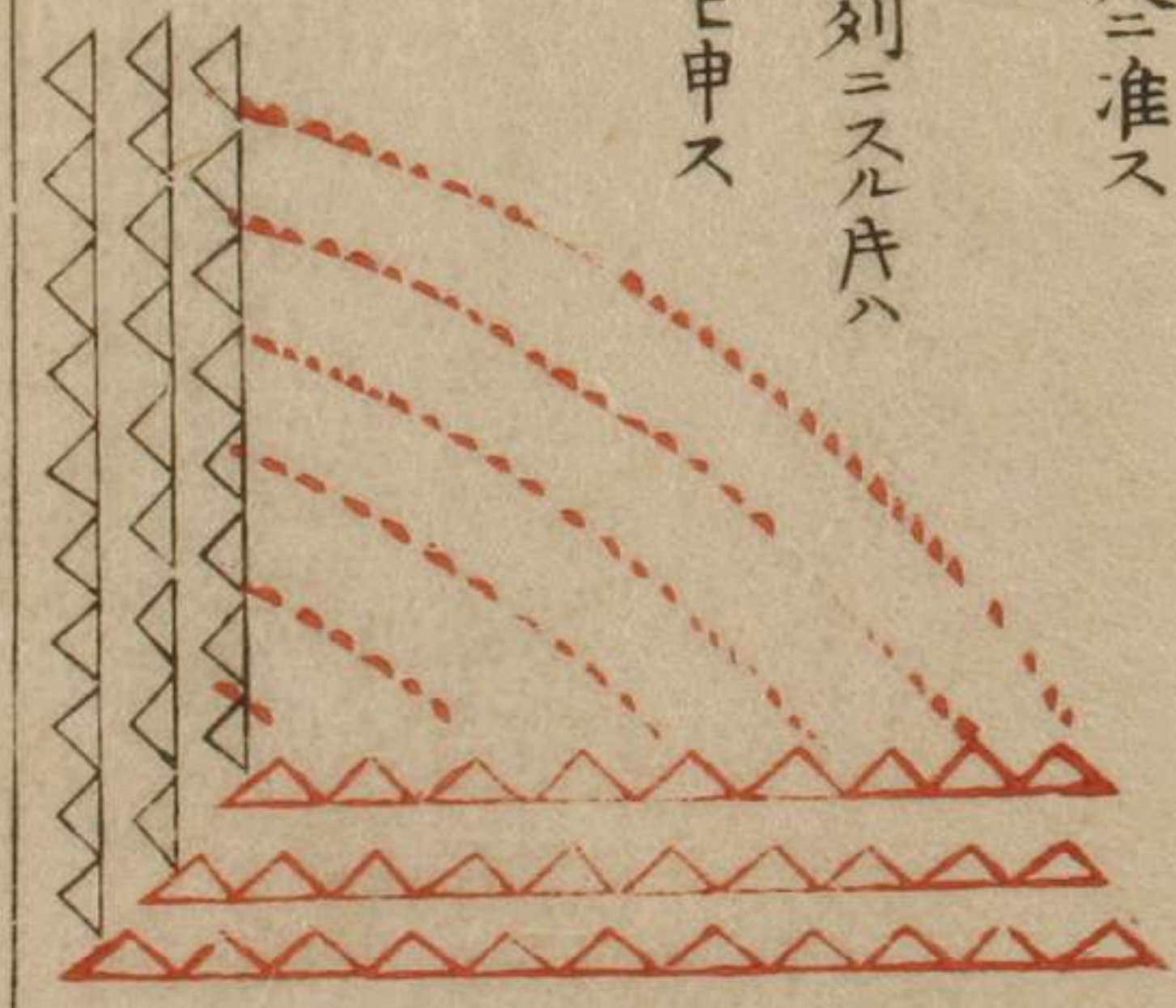
蟠龍ヨリ直ニ疊列ニスルハ疊列  
左ト大聲ヲ發シテ合ス

左旋龍ト云  
 右へ廻ルヲ右旋龍ト  
 云フニ准ス  
 へレトシニコロシ左ナリ  
 へシトニコロシ右ナリ



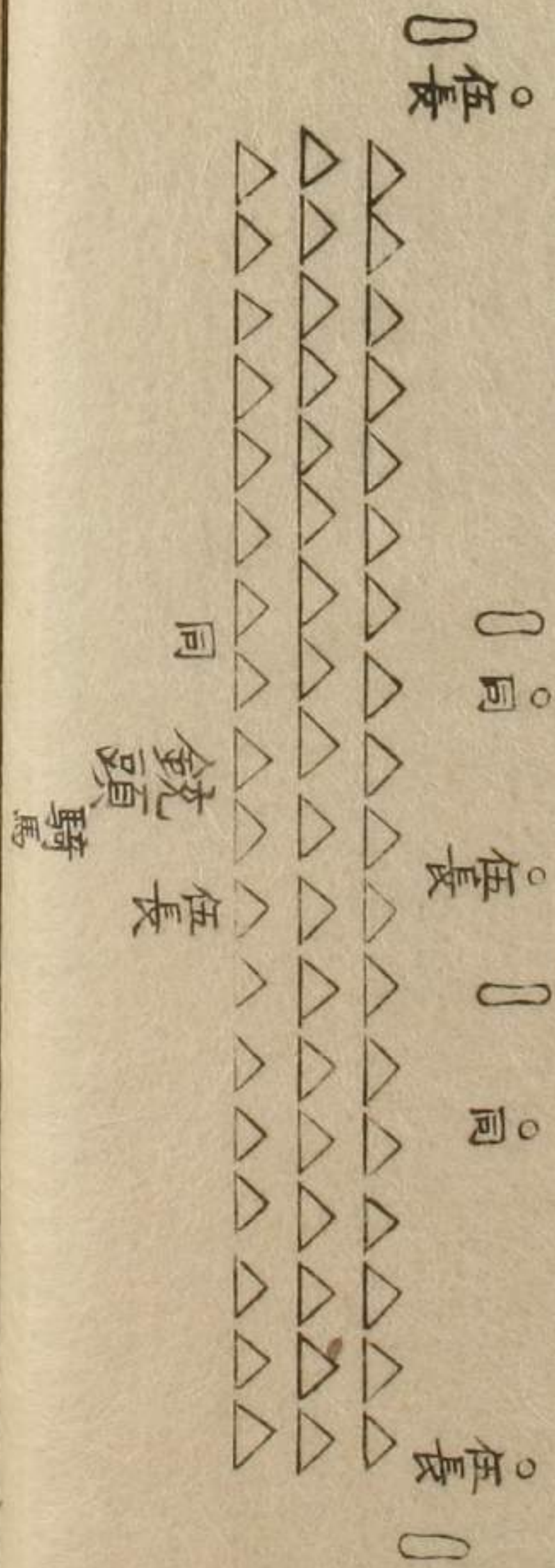
如此長蛇ヨリ疊列ニスルニハ疊列右ト大聲ニ呼ヒ拍子木ヲ打ナリ  
 雙龍左ヘキチイニク  
 右へ雙龍ニスル是ニ准ス

雙龍ヨリ疊列ニスル片ハ  
 疊列左ト呼ヒ申ス  
 可キ



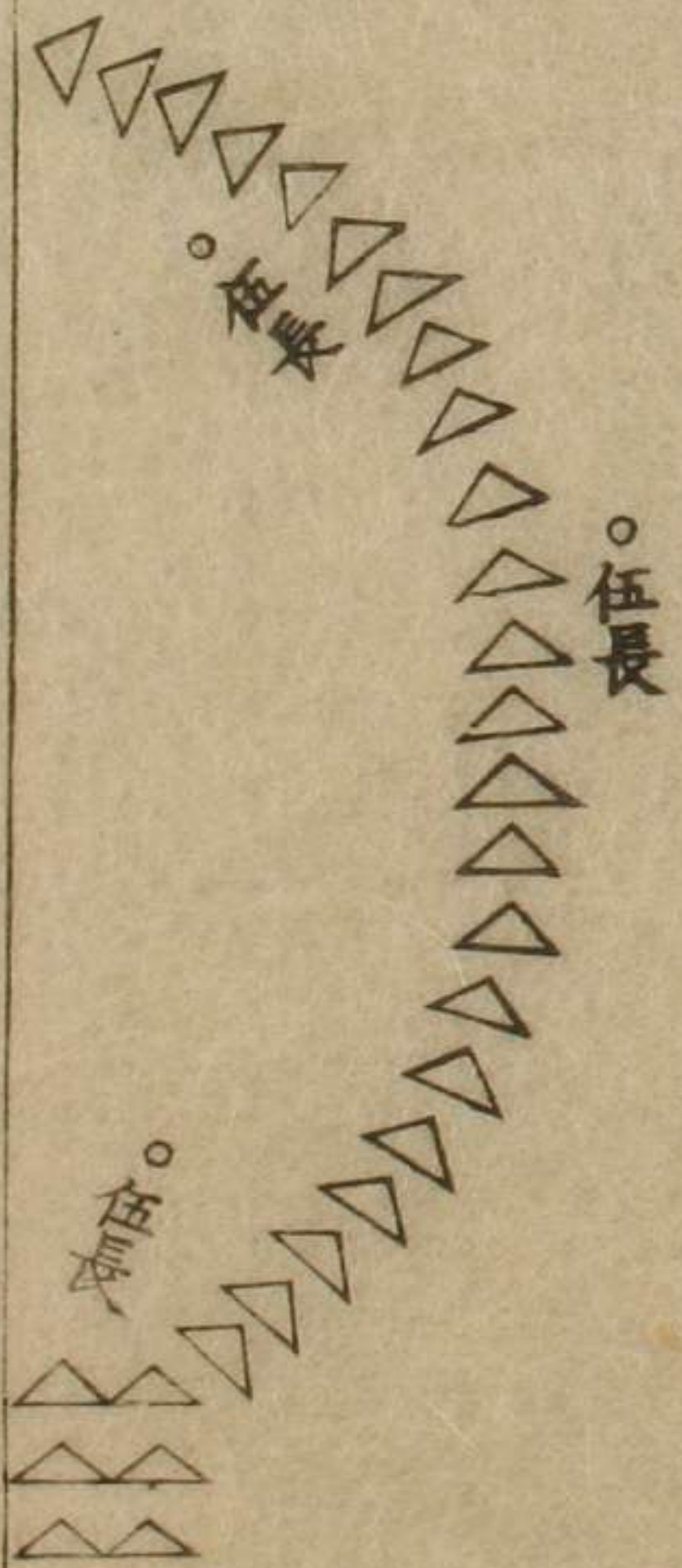
疊列之圖

一組四十八人ヲ圖ノ如ク三人宛重リテ十六側ニ立銃頭一騎  
伍長八人ナリ略シテハ伍長六人或ハ四人ニモスルナリ



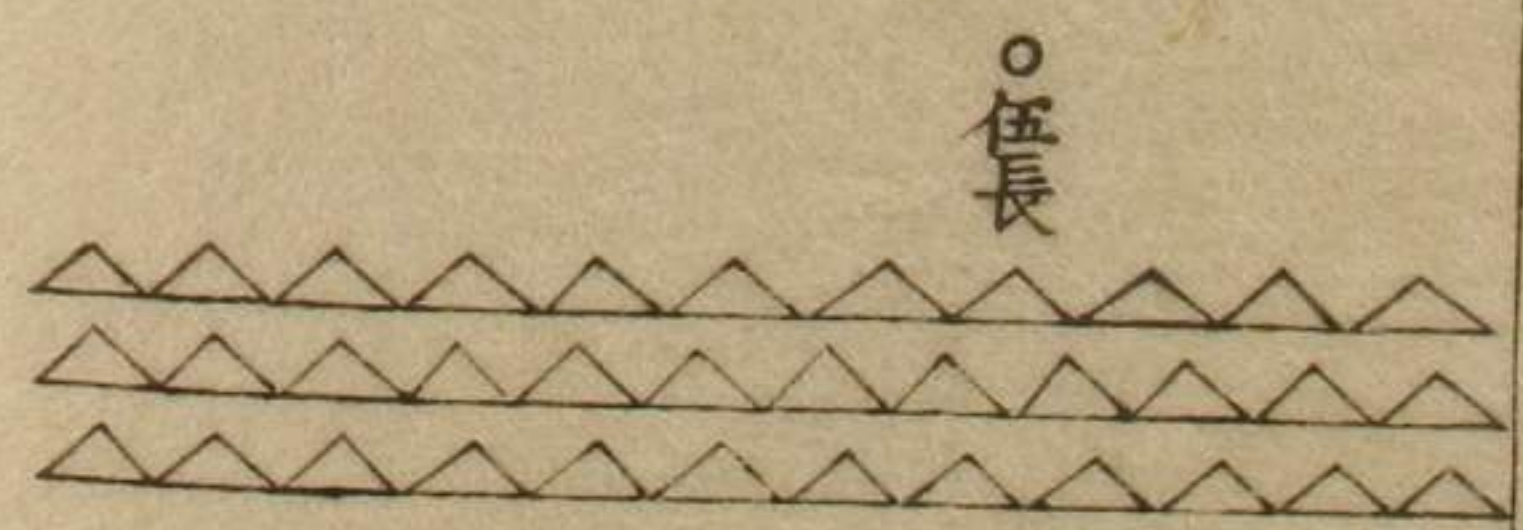
長蛇之圖

疊列ヨリ銃頭ノ蹄下ニ付テ圖ノ  
如ク一人立ちニ長クナルヲ云フ



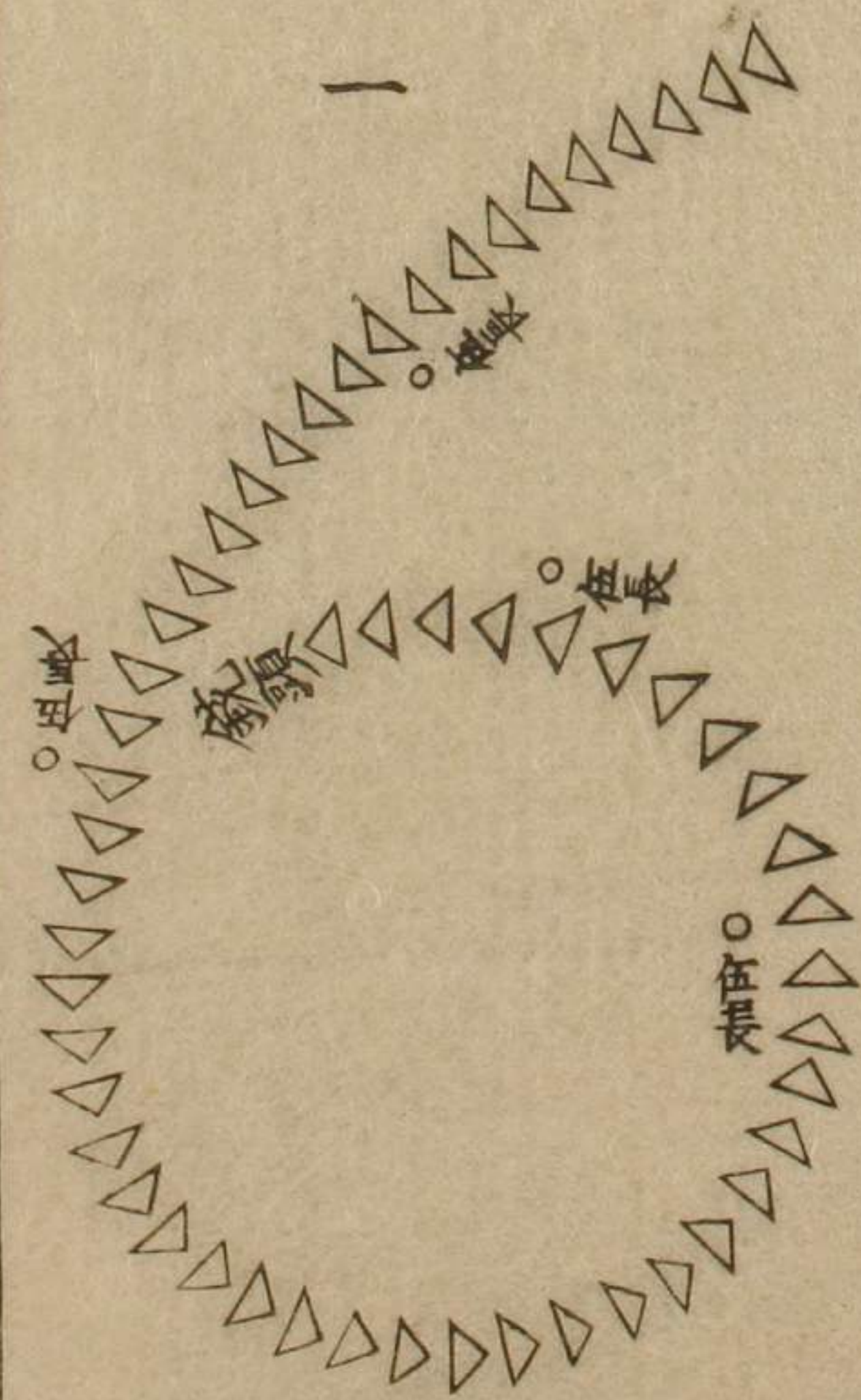
圖ノ如クヒント思フ片ハ銃頭大聲ニ長蛇右ト  
 呼ヒテ叔太鼓ヲ打ツ左モ是ニ准ス其後銃  
 頭馬ヲ乘リ出ス其蹄形ニ立チ列ルニ三四拍  
 子時ニヨリテ打ツヘキフ

○伍長  
 槍  
 〇



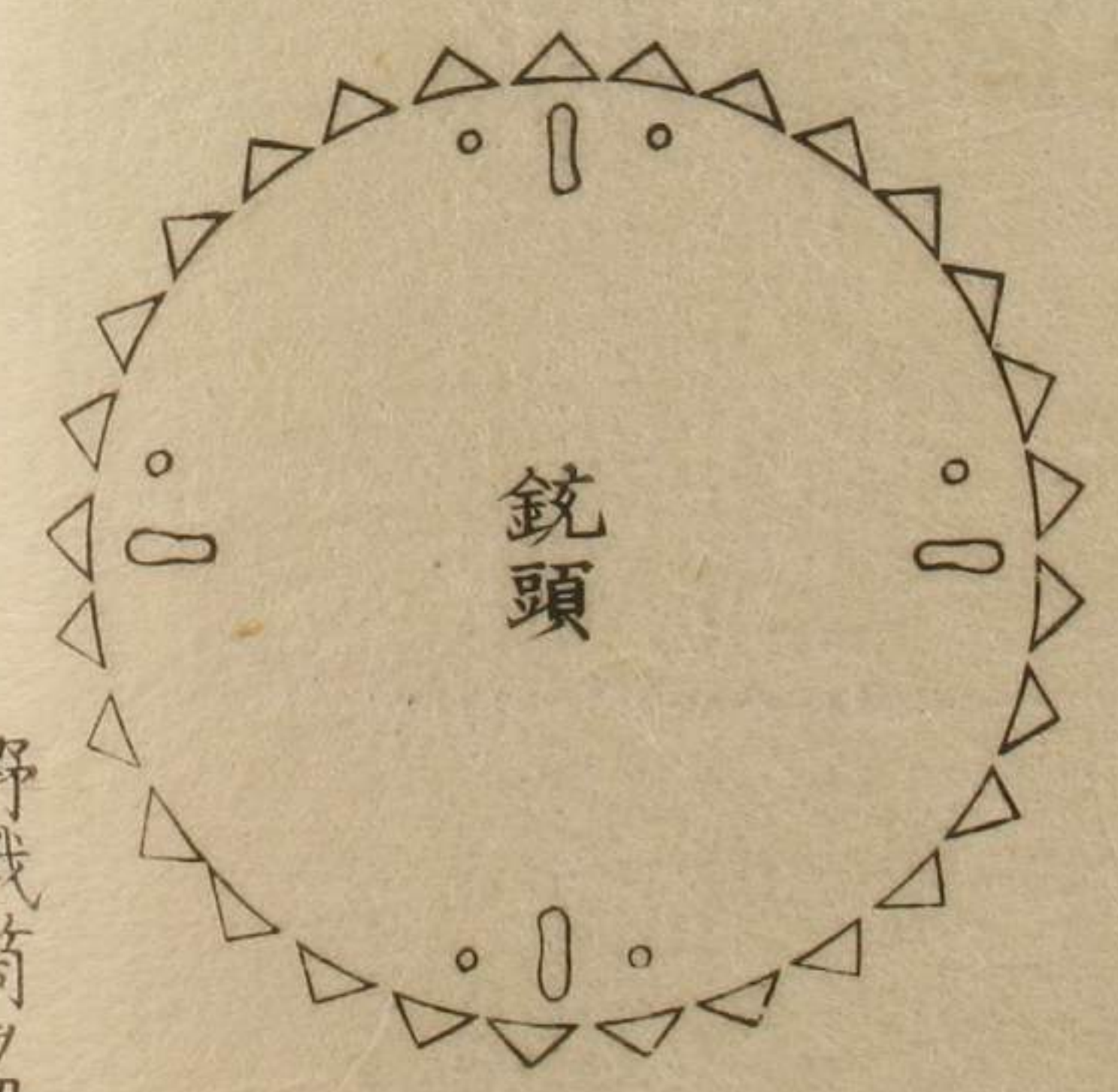
蟠龍

長蛇ヨリ蟠龍ニセント  
 思フ片ハ銃頭大  
 聲ニ蟠龍ト呼テ  
 圖ノ如ク乘廻ス  
 歩卒其跡ニ從  
 テ圖ノ如ク丸ク  
 列ルナリ



右ノ如ク各立列  
 尺金ヲ打テ歩行ヲ  
 留メ扱ヤウー右ト大  
 聲ニ呼フトキ各圖ノ  
 如ク向テ立ツナリ其  
 打方ヲスルナリ

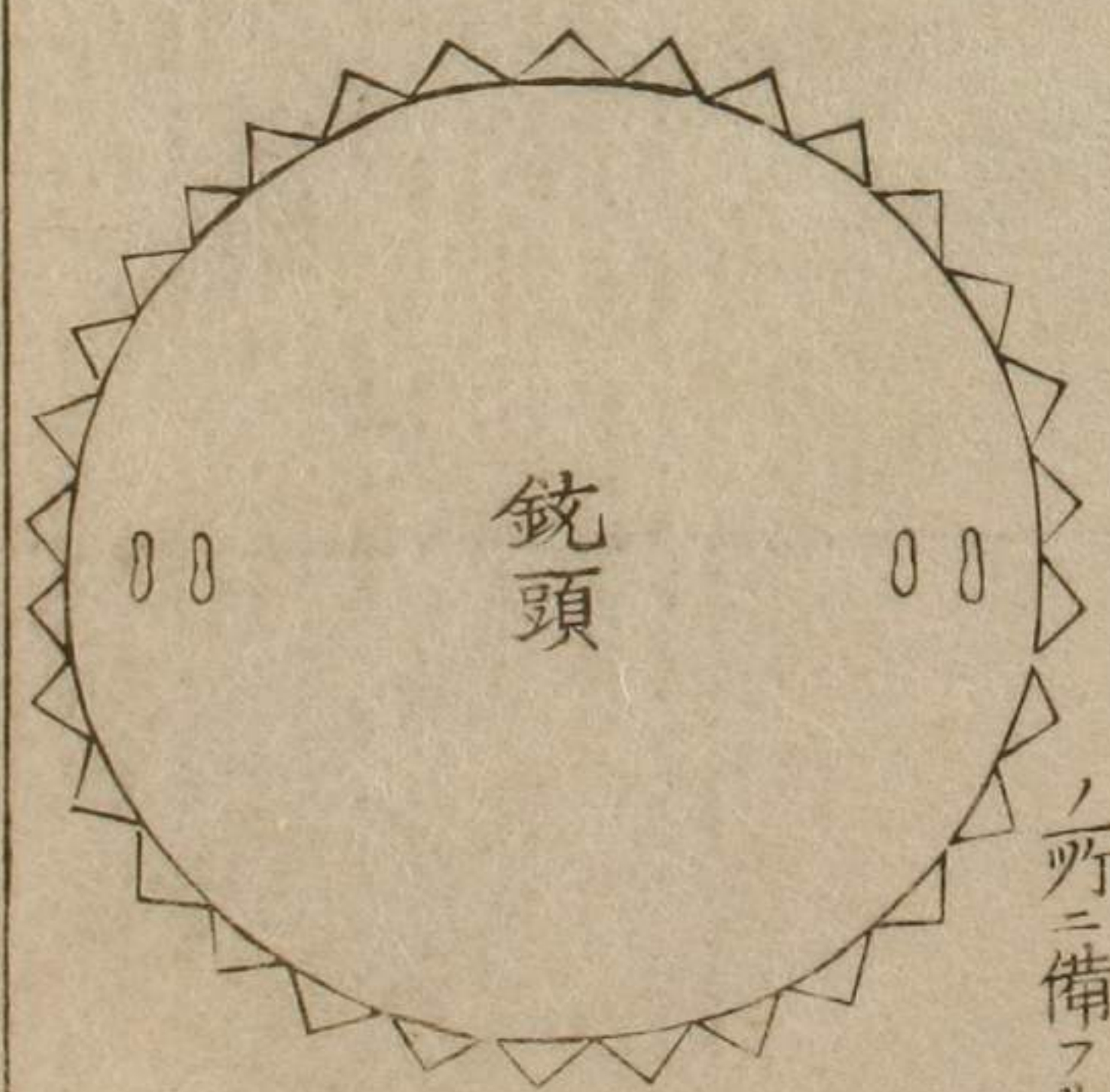
二



野戦筒ヲ組合

打濟テ又長蛇ニセン  
 ト思フトキハヤ、左ト  
 大聲ニ呼フト圖ノ如  
 ク各左向ニナルナリ

三



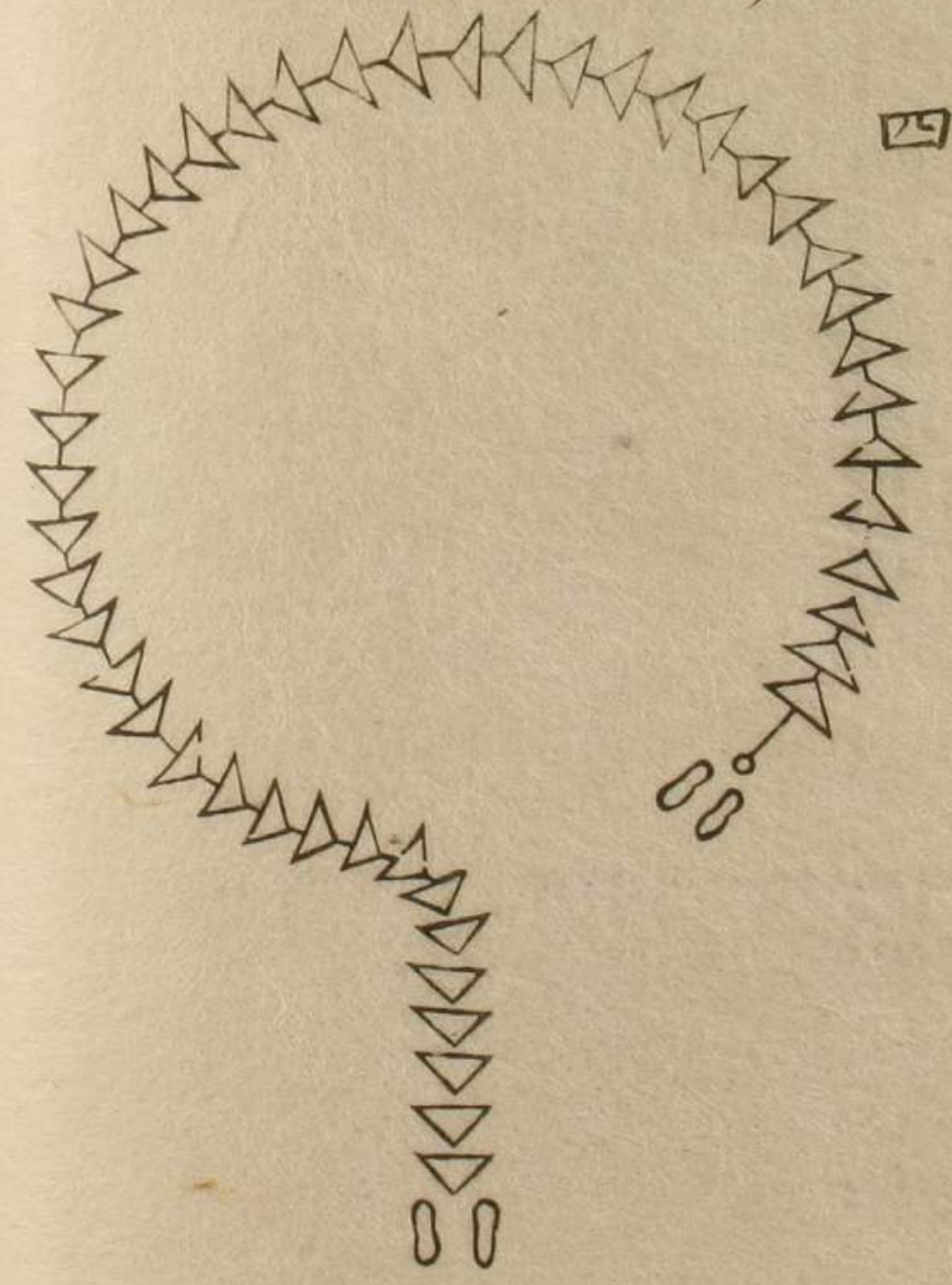
スルトキハ〇此印  
 ノ所ニ備フルナリ

右へ向ルモ時宜ニヨルヘシ

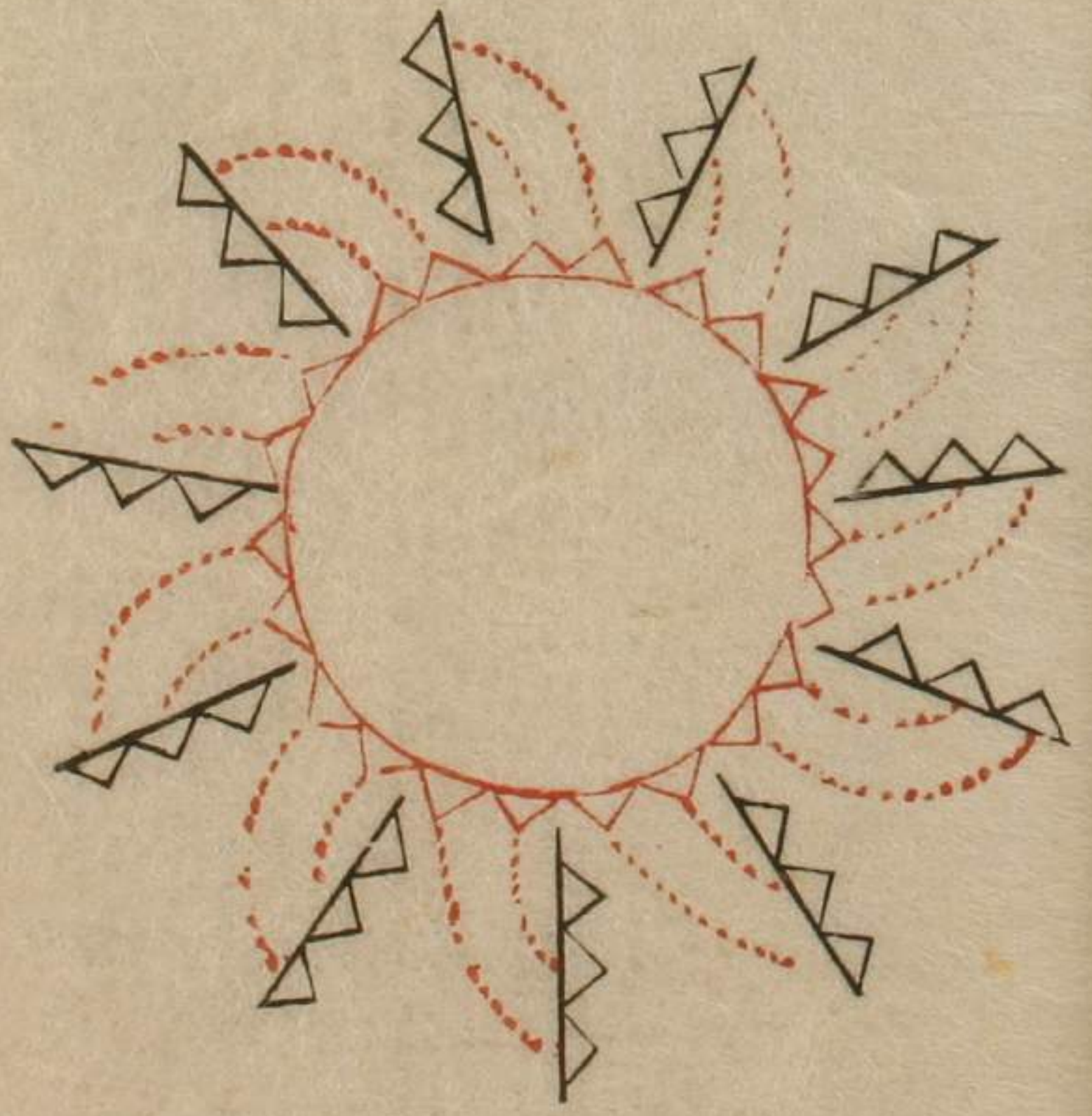


右ノ如ク左ヲ向テ立  
 ト銃頭馬ヲ歩卒ノ  
 間ニ乗入テ立ッ野戰  
 筒其跡ニ付テ圖ノ  
 如ク長蛇トナレナリ太  
 鼓打方前條ニ准ス

四

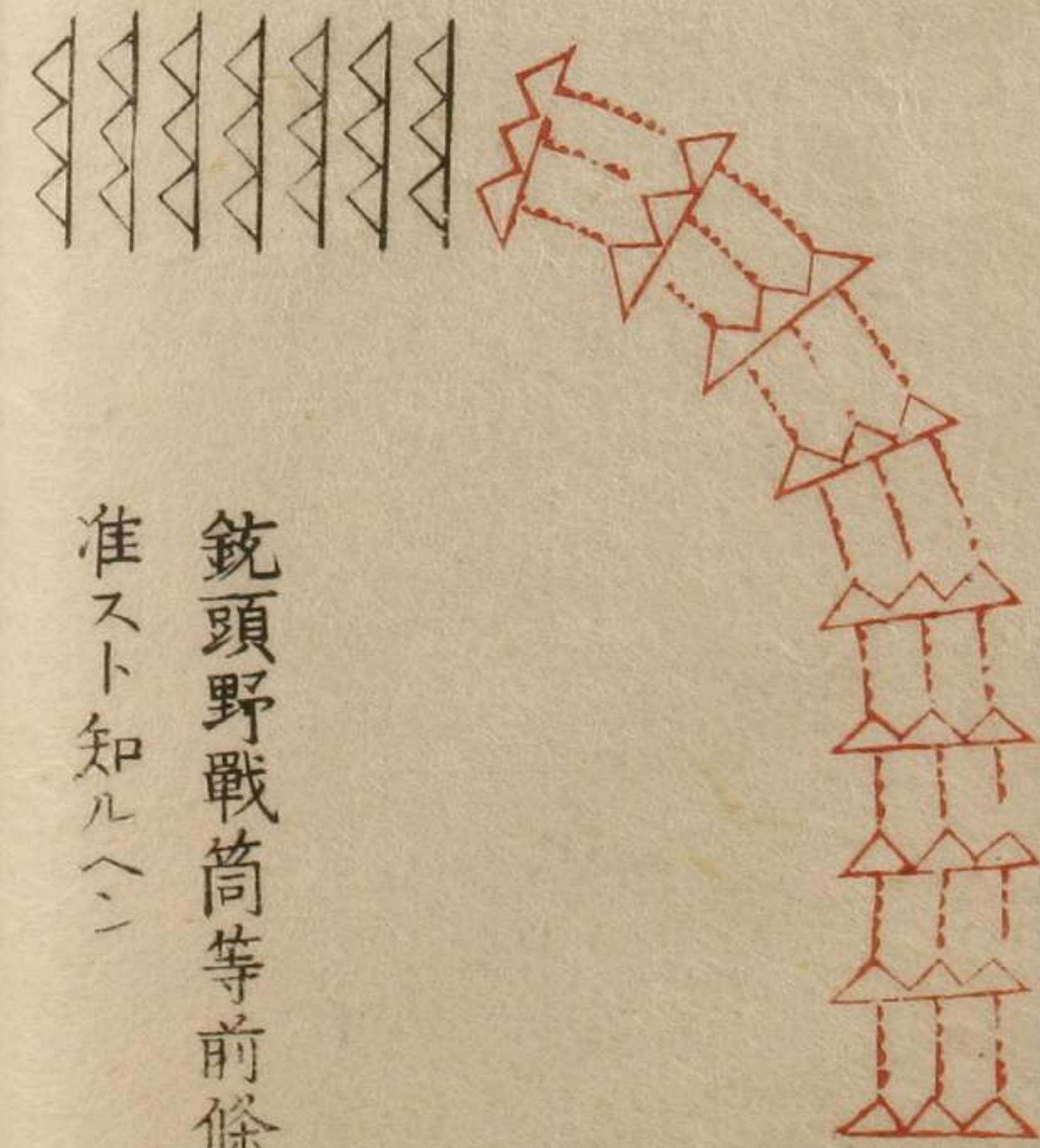


蟠龍ヨリ直ニ疊列ニセント  
 思フトキハ疊列左ト大聲  
 ニ呼テ太鼓ヲ打ト圖ノ如ク  
 ニナルナリ右へ疊ムモコレニ  
 准スト知ルヘシ又疊列ノマ  
 ニテ蟠龍ニスルモアリ備ケツ  
 カヒ長蛇蟠龍ニ同シ



圖ノ如ク人々ノ間隔リテ立  
タルヲ又太鼓ヲ打テ此圖  
ノ如ク間ヲ詰テ疊列ニ立  
ナリ

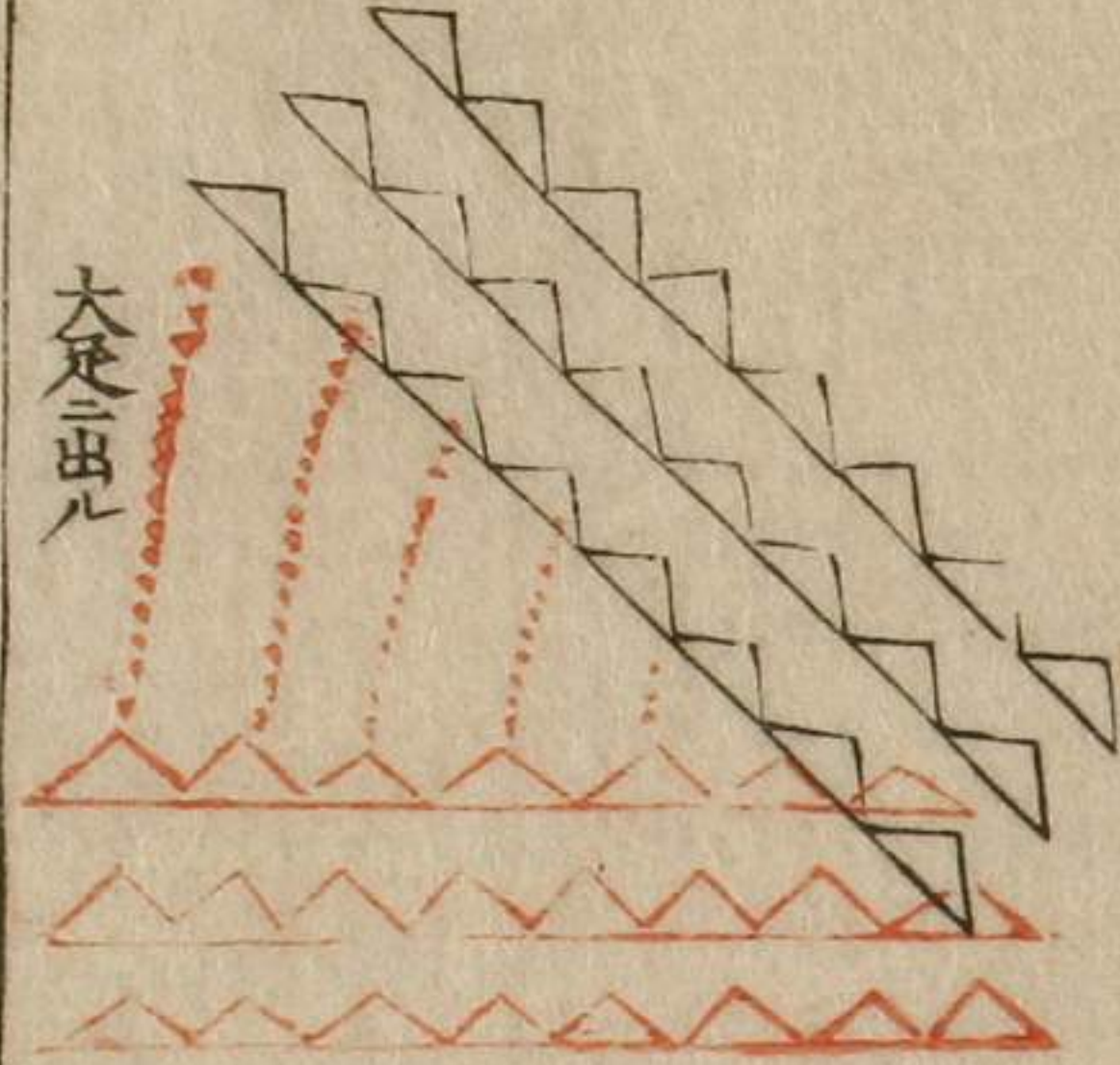
三



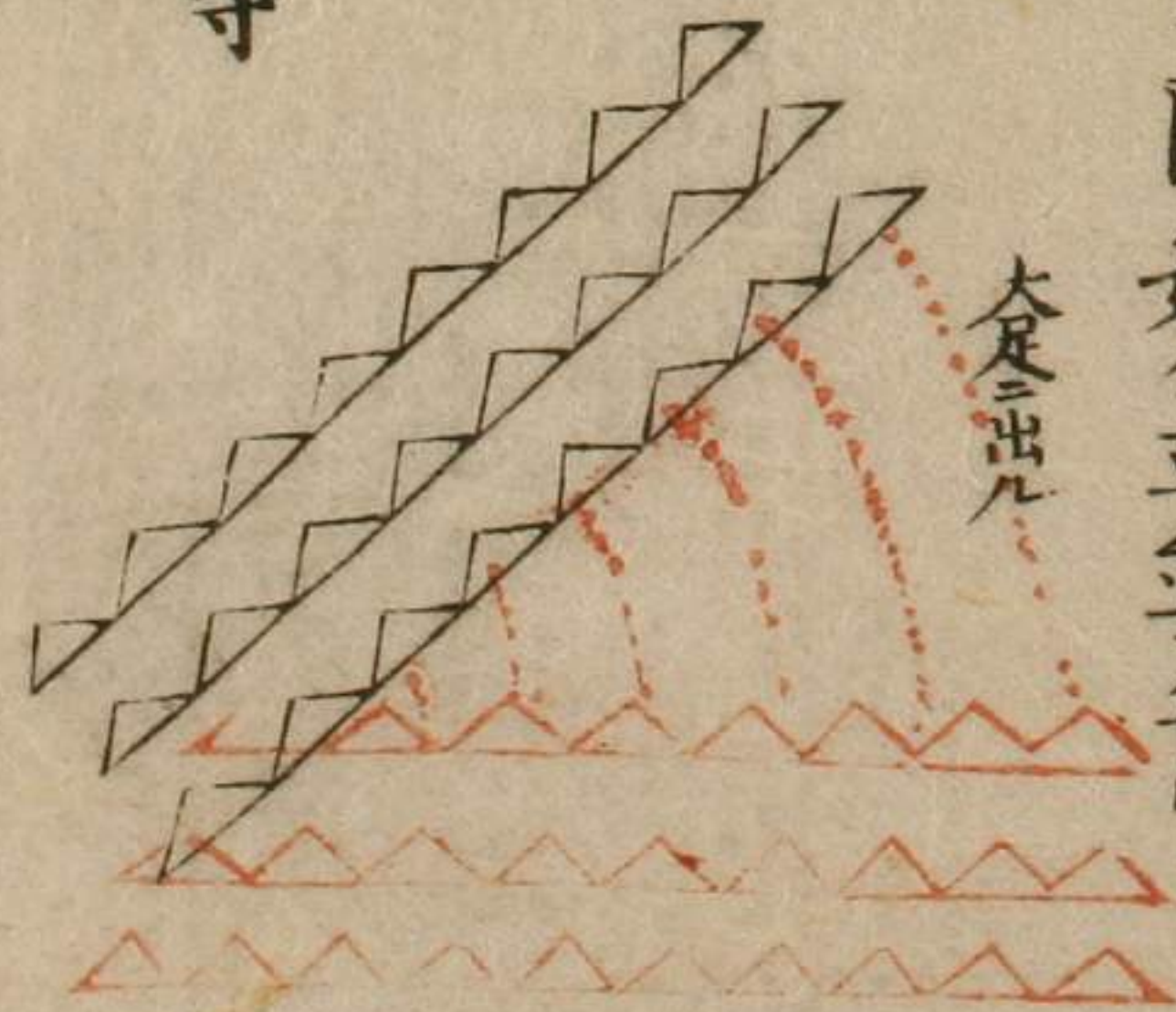
銃頭野戰筒等前條ニ  
准スト知ルヘシ

雁行之圖

疊列ニ立タル條ヲ雁行ト大聲ニ呼ト右ノ方ノ者ハ其マ  
居テ左ノ方ノ者ハ大足ニ進出テ圖ノ如ク立並フナリ



銃頭伍長大筒等  
准前條可知



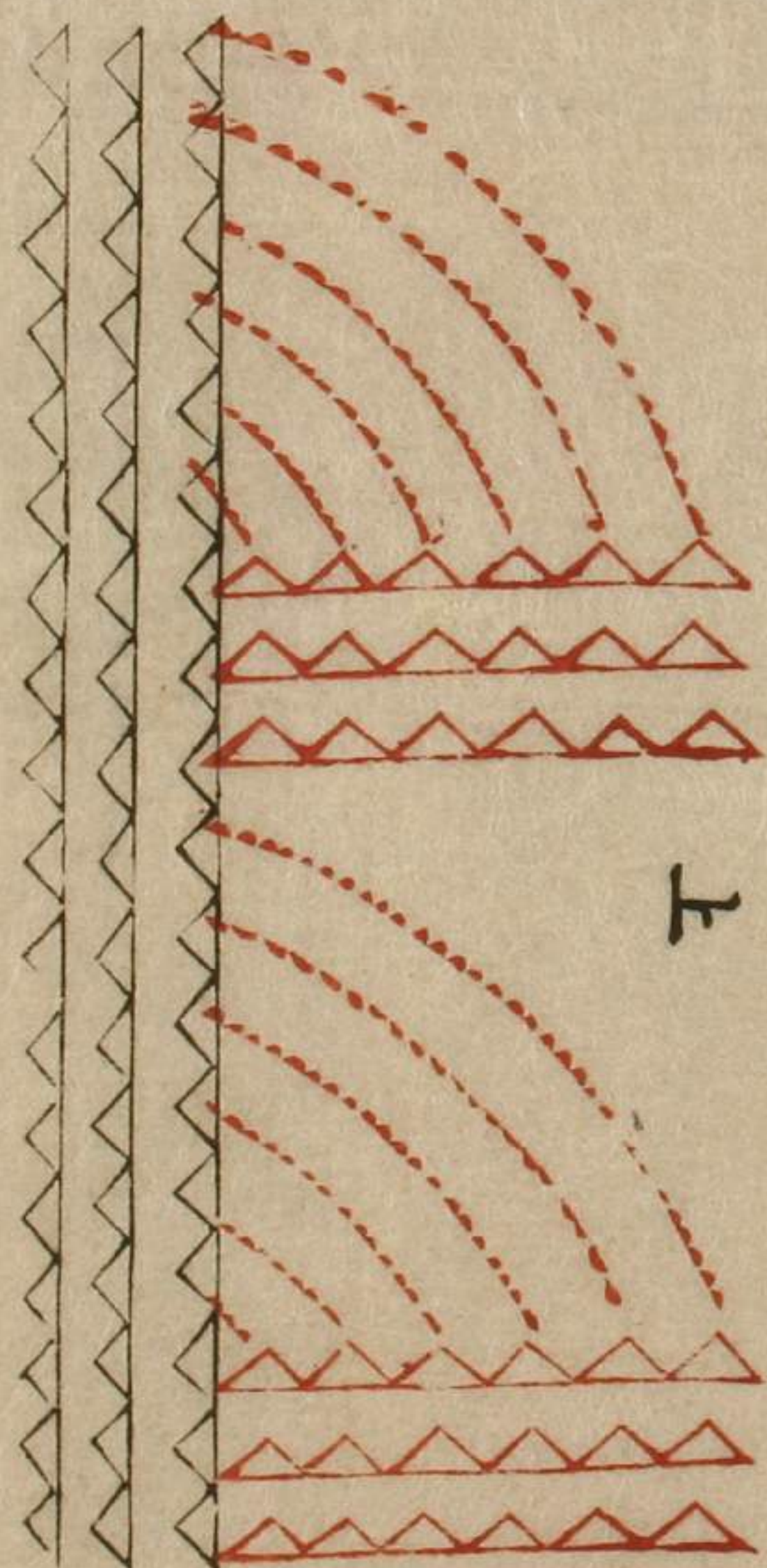
雙龍之圖

疊列ヲ二ツニ分ル、ト思フトキハ大聲ニ雙龍左ト  
呼テ太鼓ヲ打ト圖ノ如ク二ツニ分ル、ナリ右ニ二ツニ分ルモ此ニ



准スト知ルヘシ

雙龍ヨリ又疊列ニセシト思フトキハ疊列左ト大聲ニ呼テ  
合圖ヲ打ト圖ノ如ク疊列ニナル右ノ方へ疊ムモ此ニ准不  
知ルヘシ

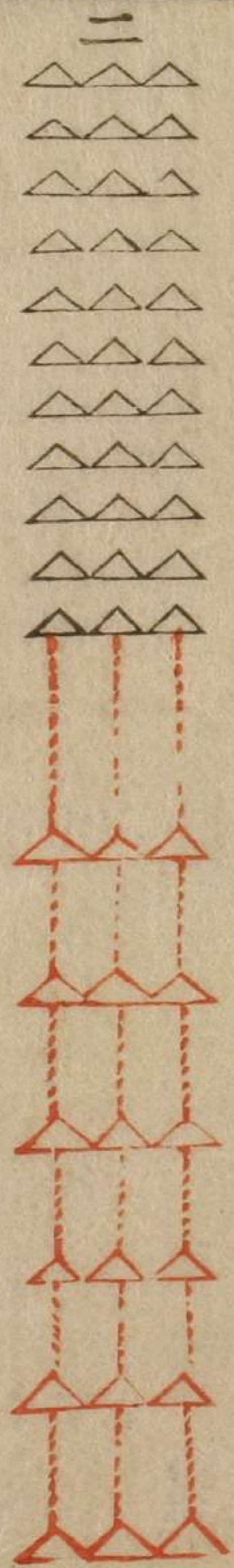


長蛇ヨリ疊列ニセント思フ片ハ大聲ニ疊列右ト呼フ扱合圖ノ  
太鼓ヲ打ツナリサスレハ圖ノ如クナルナリ左へ疊ムモ是ニ准ス

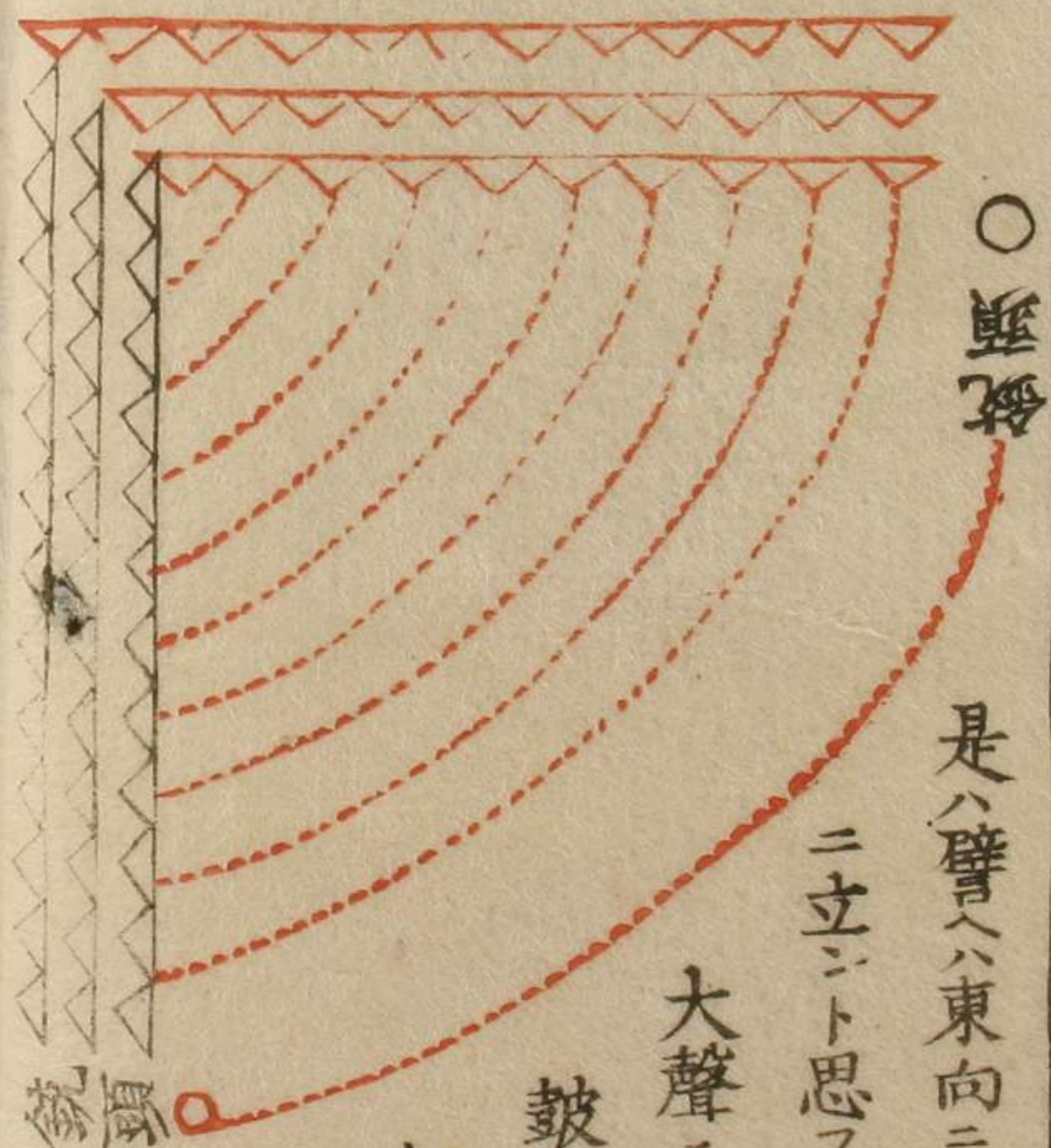


如此合詰タルトキ左トモ右トモ呼テ左右ヲ向ケヘシ

長蛇ヨリ疊列ニスルト此朱印ノ如ク人々ノ間隔ル  
故マタ合圖ヲ打テ間ヲ詰サスヘシ

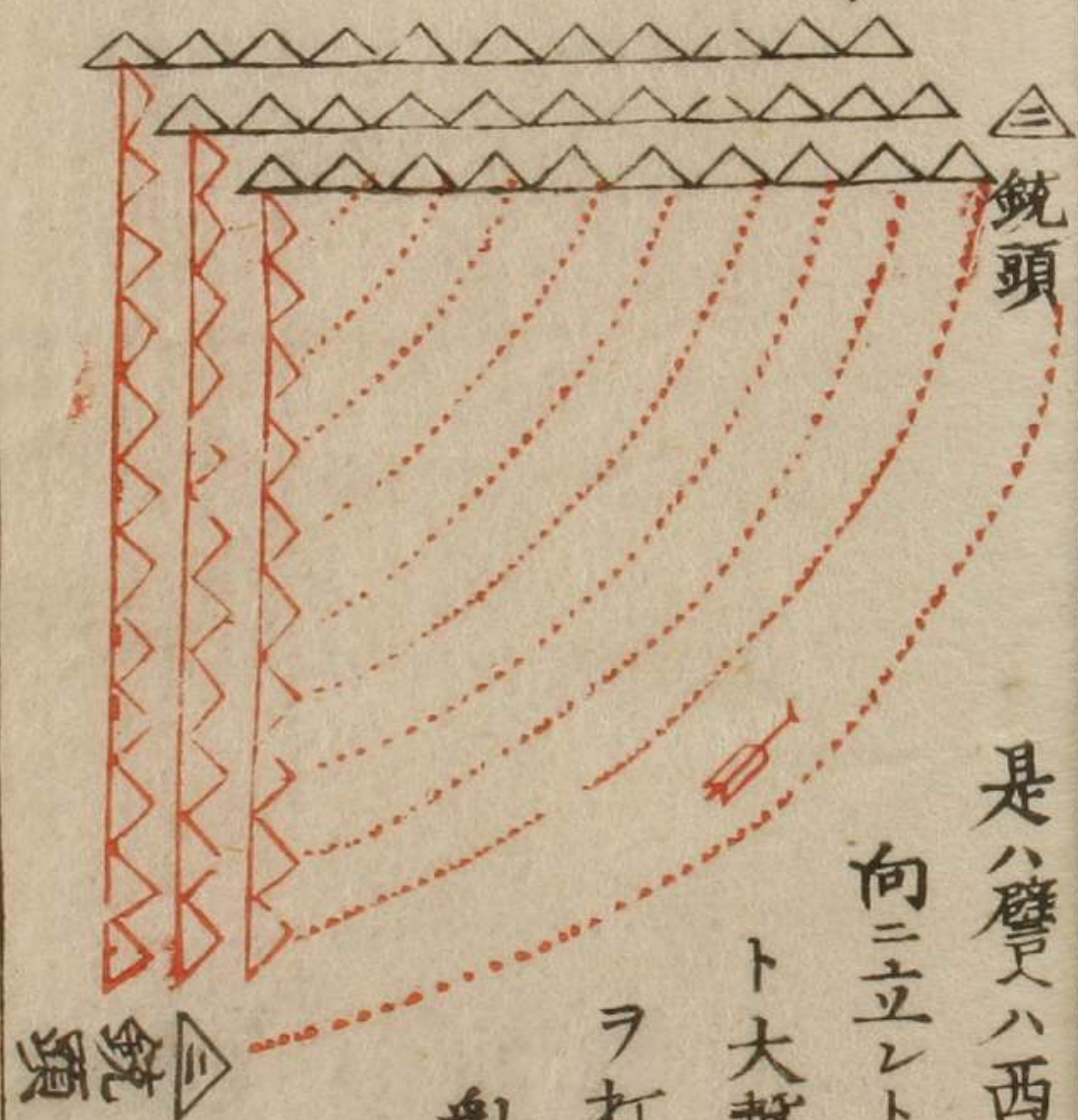


右旋之圖



是八臂ハ東向ニ立タル備ヲ南向  
ニ立ント思フトキハ右旋龍ト  
大聲ニ呼テ合圖ノ太  
鼓ヲ打ツナリ各隊  
伍ヲ亂サス圖ノ  
如ク一齊ニ向通  
ルナリ

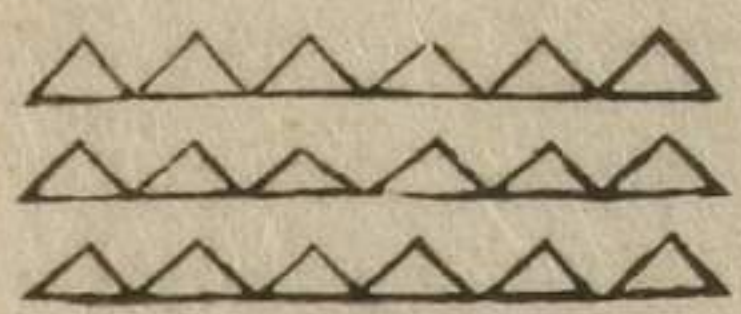
左旋龍之圖



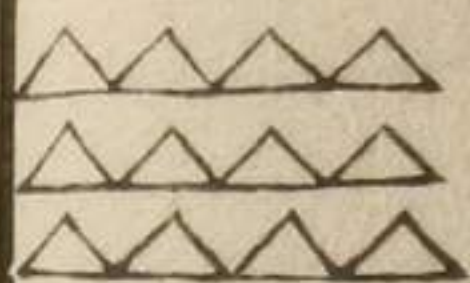
是八臂ハ西向ニ立タル備ヲ南  
向ニ立ント思フトキハ左旋龍  
ト大聲ニ呼テ合圖ノ太  
鼓ヲ打ツナリ各隊伍ヲ  
亂サス一齊ニ圖ノ如  
ク立通ルナリ

操懸之圖

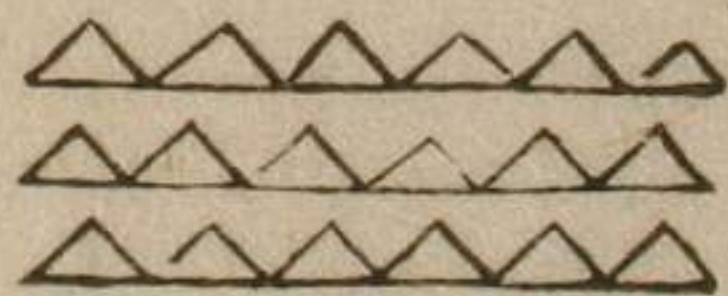
備ヲ幾ツニモ分テ圖  
如ク操リ出テ打ツナリ



二



二

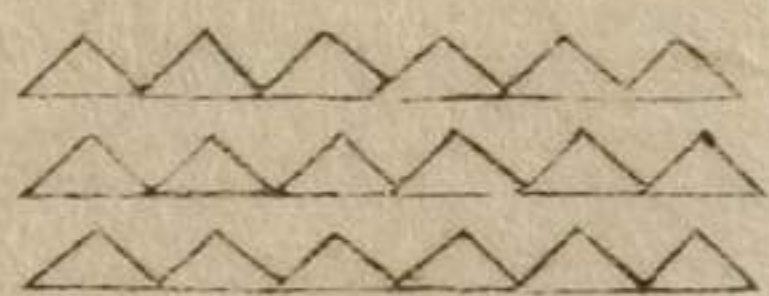


一



一

操引モコレニ准ス



二



二



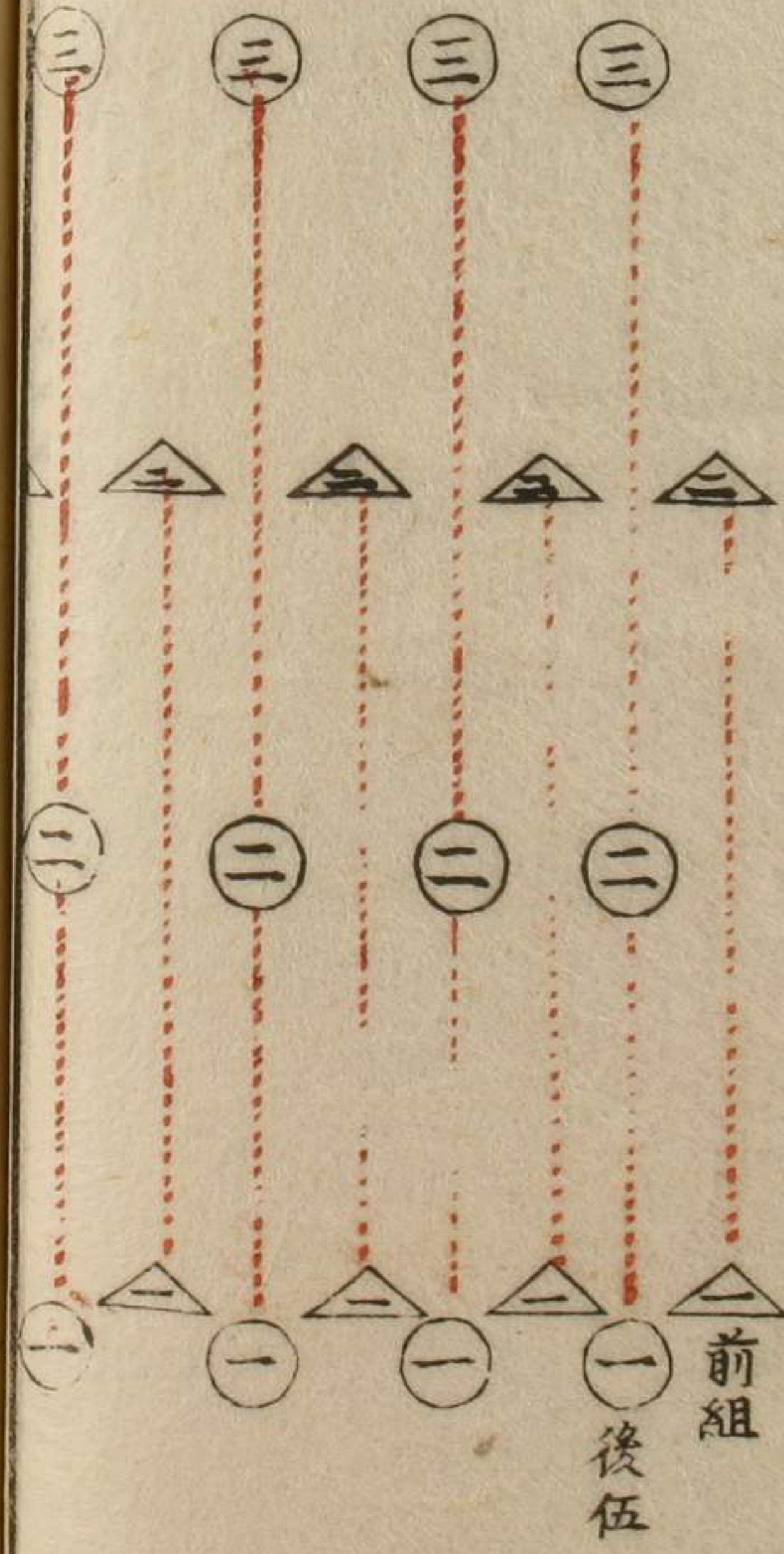
一



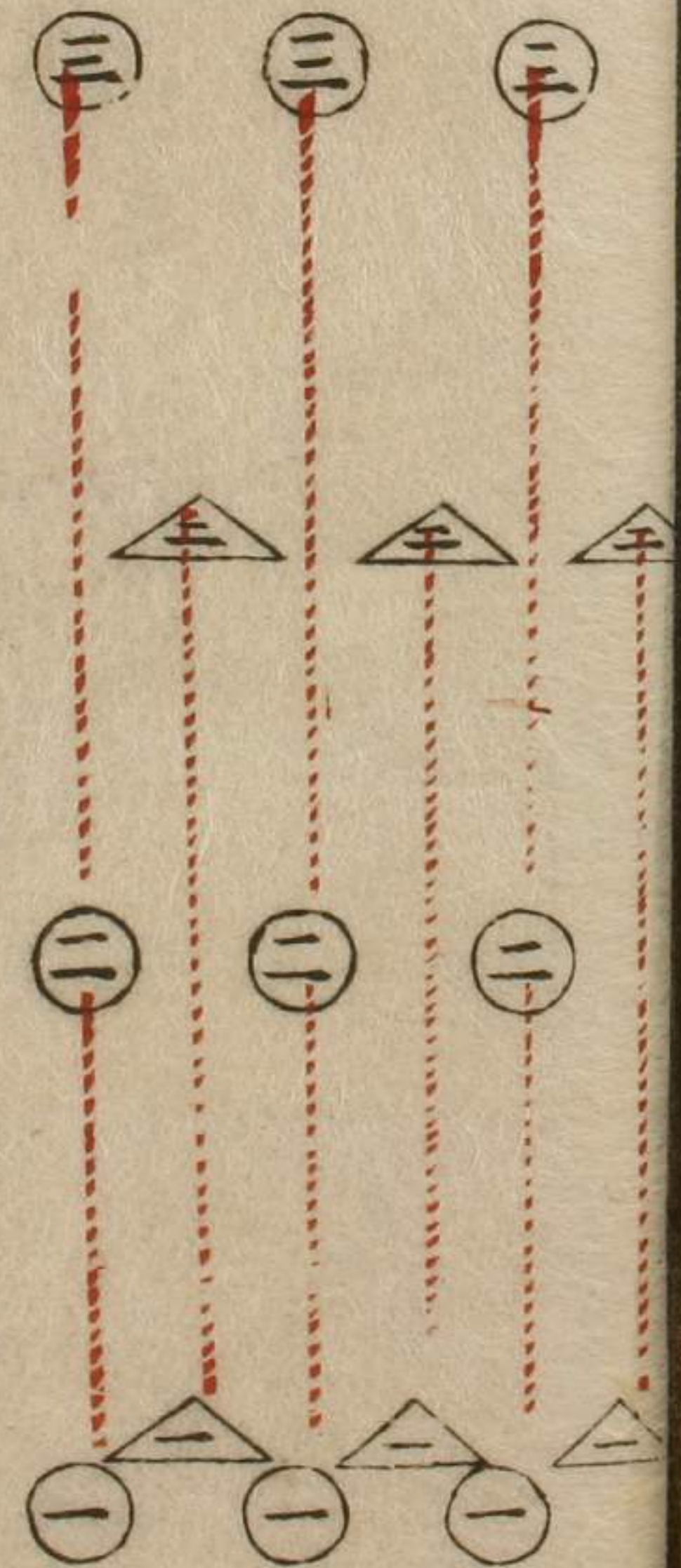
一

小組操懸之圖

一人宛伍人目ニ立テクリカ、ルナリ



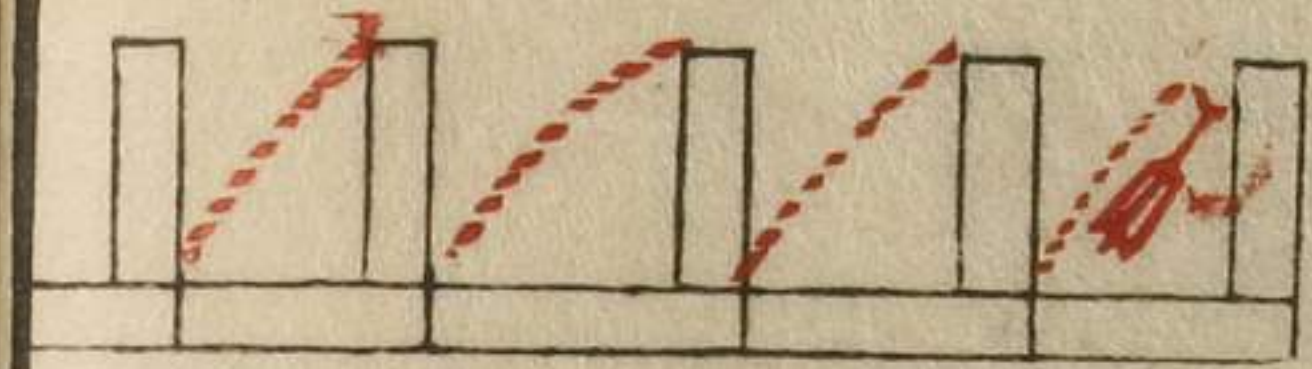
操引モコレニ准ス



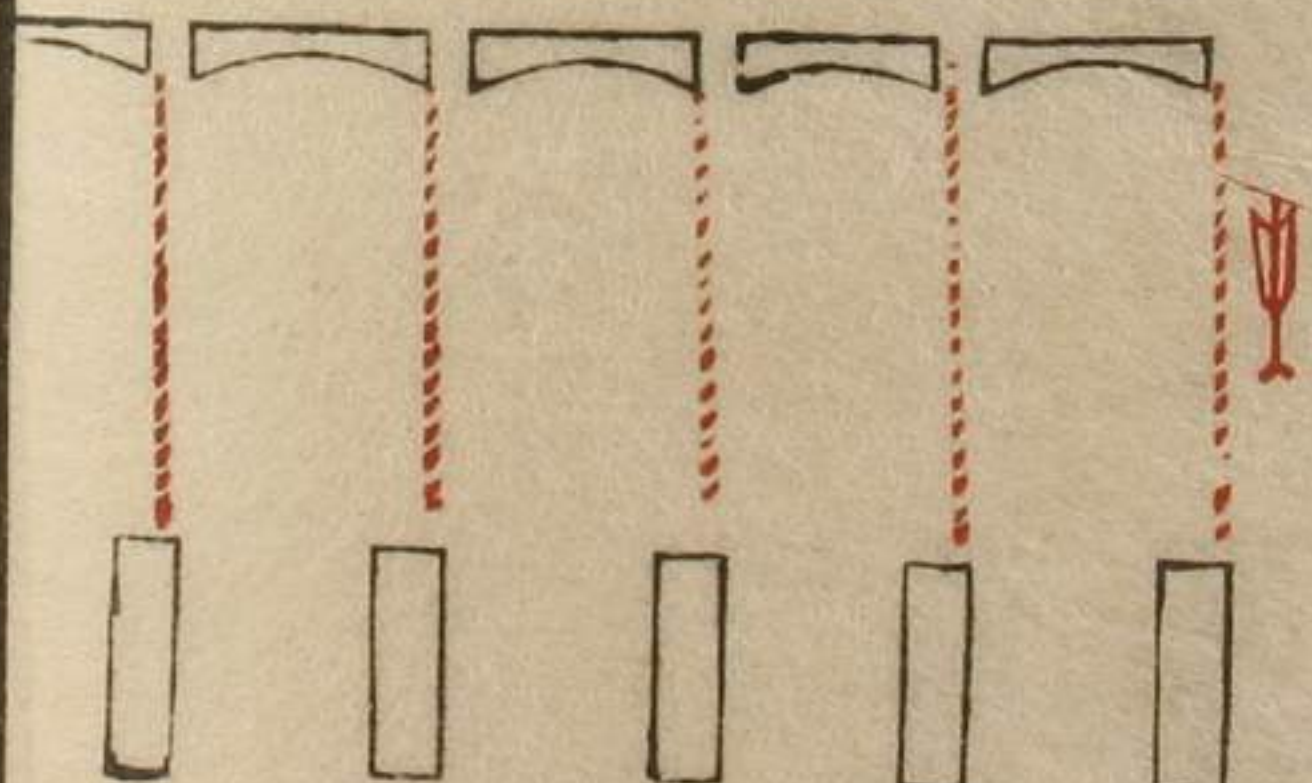
六

六

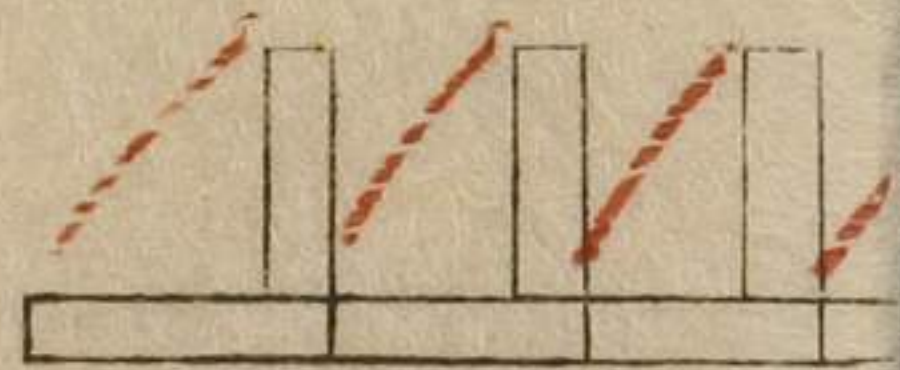
大組布列之格



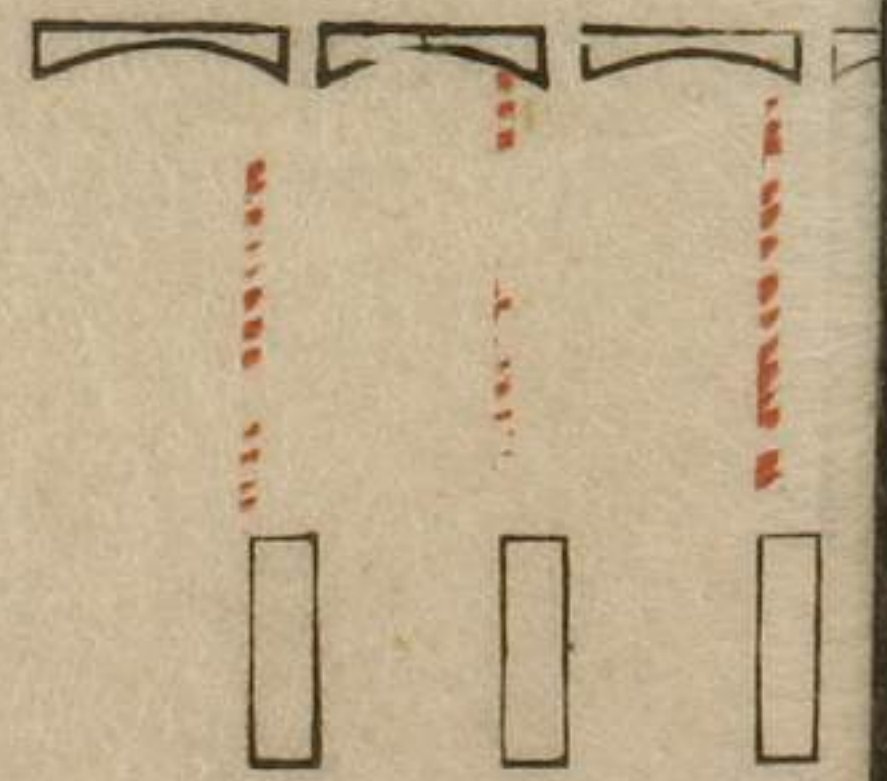
是ハ壁ハ残ラス南向ニ  
一齊ニ備ヘタリヲ疊テ  
引取ル片ノ仕方ナリ圖ノ  
如ク残ラス右旋龍ト呼  
テ合圖ノ太鼓ヲ打テ  
段々ニ重リタムナリ



是ハ大組残ラス長  
ク列リテ押タリニ組  
宛別クニシテ疊列  
シテ押シト思フ片ハ  
圖ノ如ク各右ノ方ヘ  
横一字ニ別テ押  
スナリ



一組四十八人ナリ以下是ニ准ス





此三圖應時依地形便利ナルヲ用ユルナリ

是ハ銃頭ヲ以下倣之

是ハ一字陣ニ備

タルヲ一所ニ合隊

ニスルキ畧ノ如ク

合セルナリ

是モ一字陣ニ備

是モ一字陣ニ

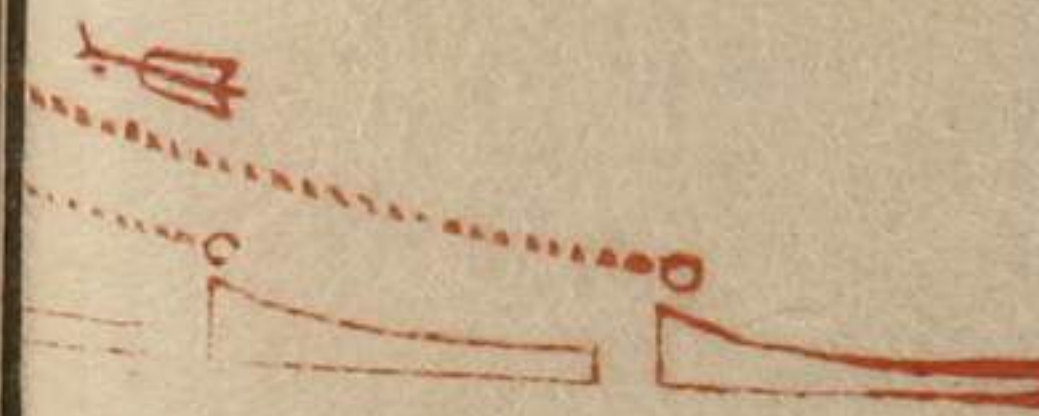
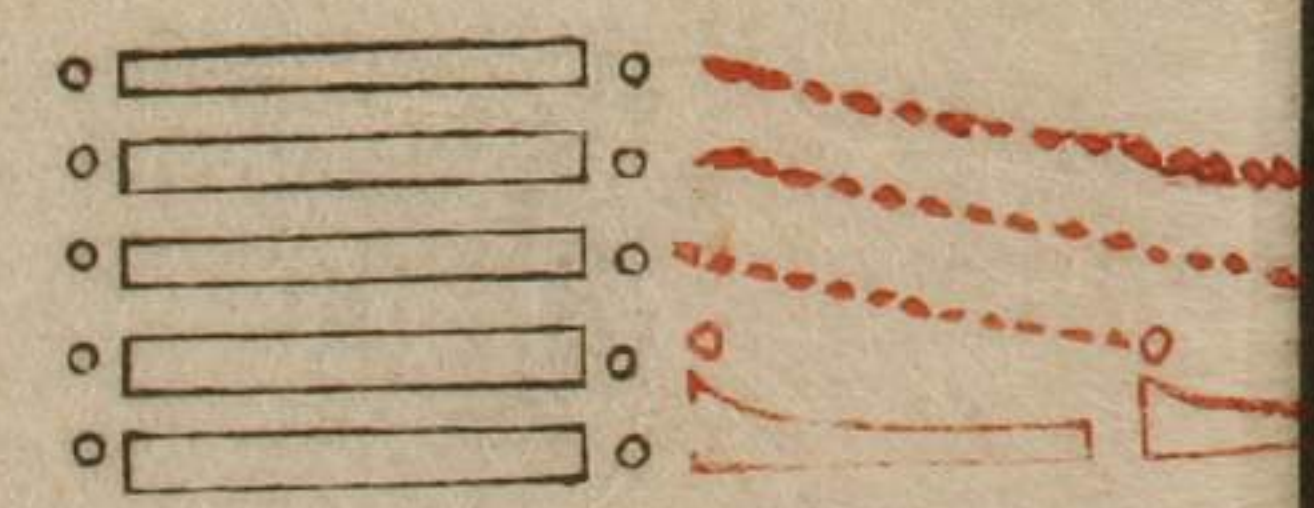
備タルヲ左ノ

方ニ合スルキハ

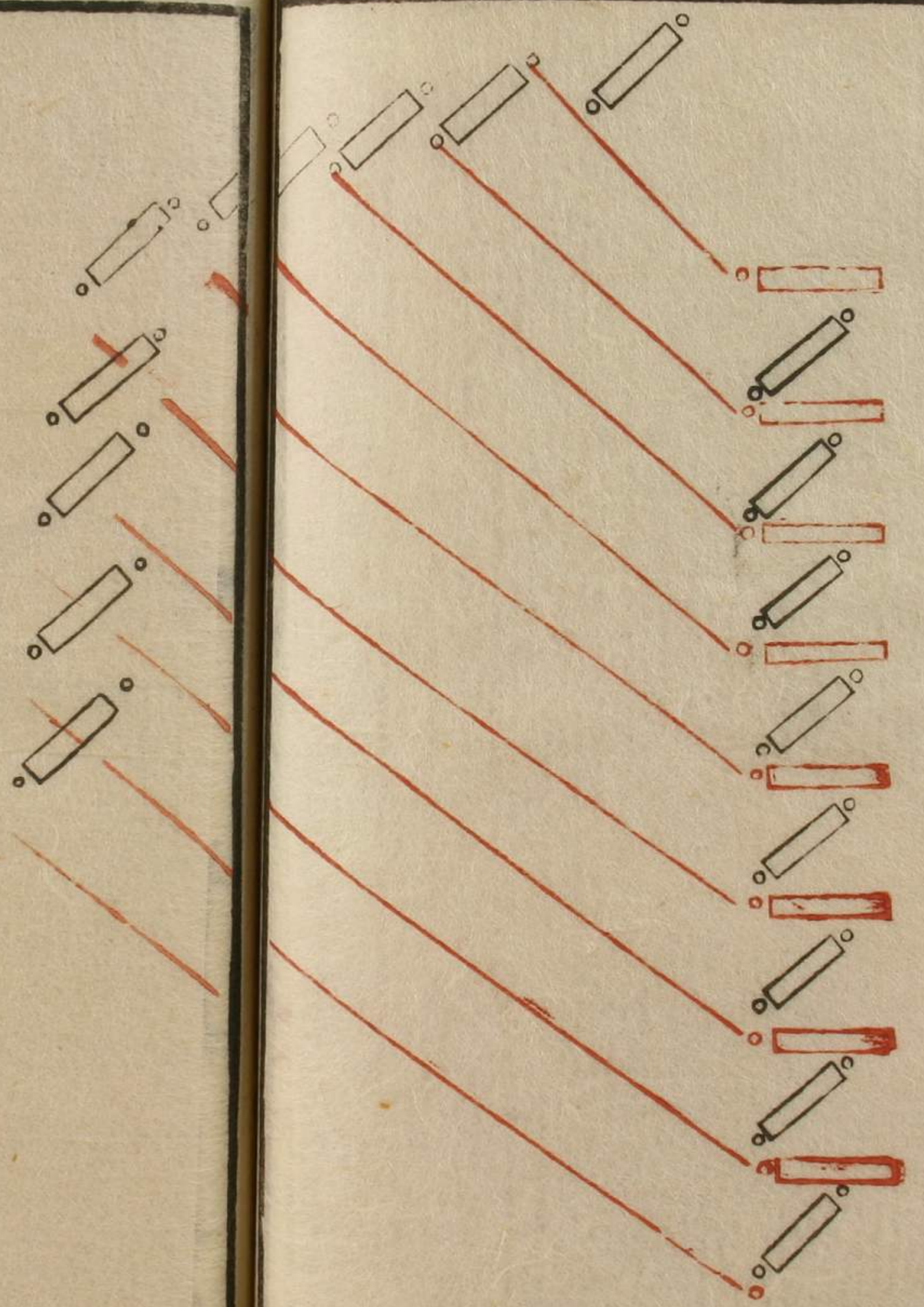
畧ノ如クナリ

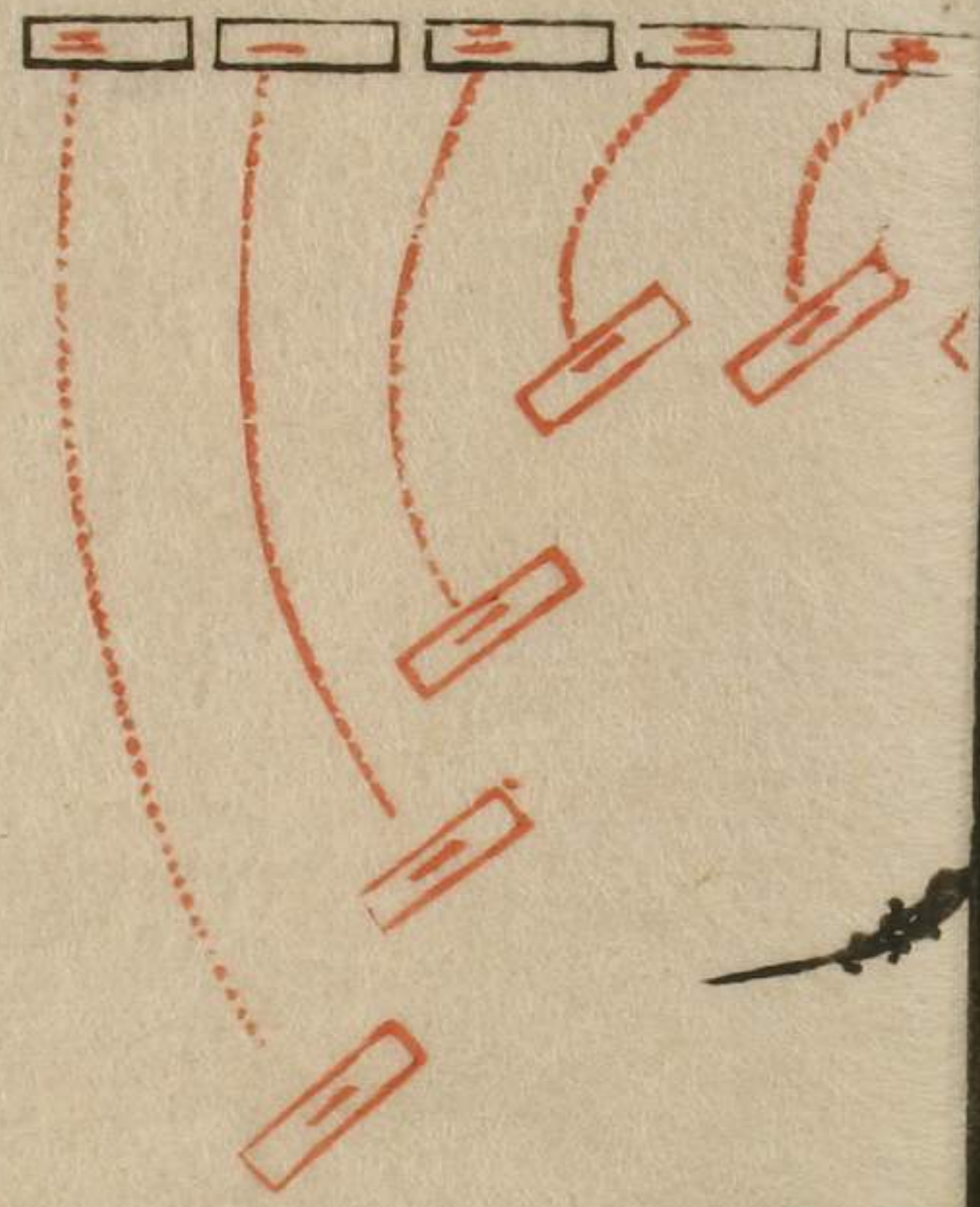


タルヲ畧ノ如ク無  
中ニ合スルナリ

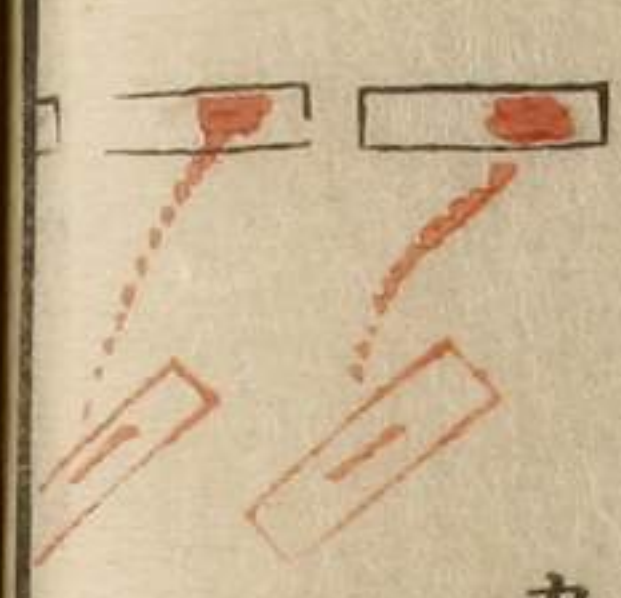


是朱引ノ一印ノ備ノ如ク重リテ押タラ  
 二印ノ如ク雁行ニ押直シテ三印ノ如ク鋒  
 尖陣ニ立テ押出シ横矢ヲ入レニ位立ナリ

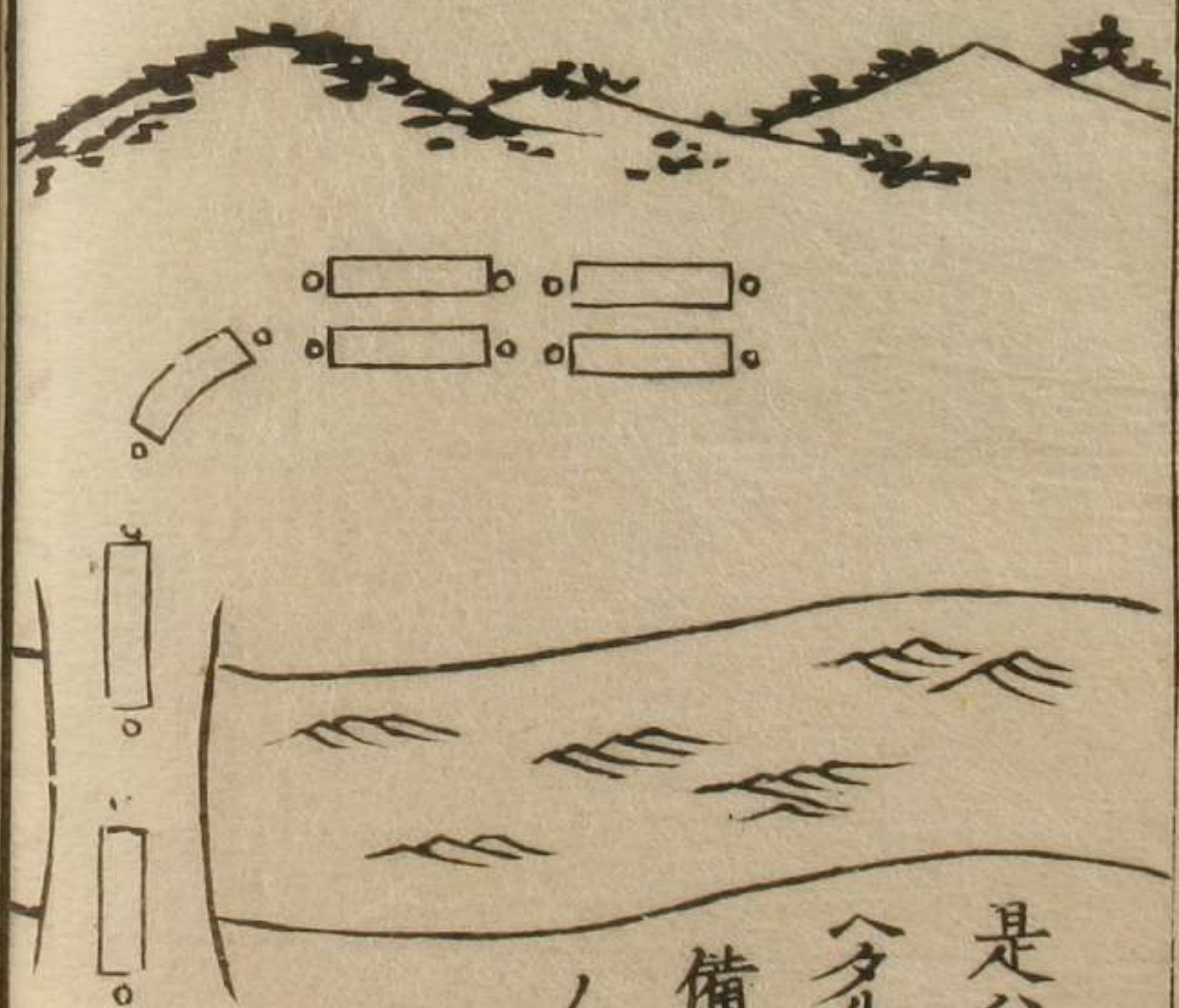




ニ渡リテ扱如何  
 様ニモ模ヤウニ依  
 テ備ヲ立テヘキ  
 ナリ

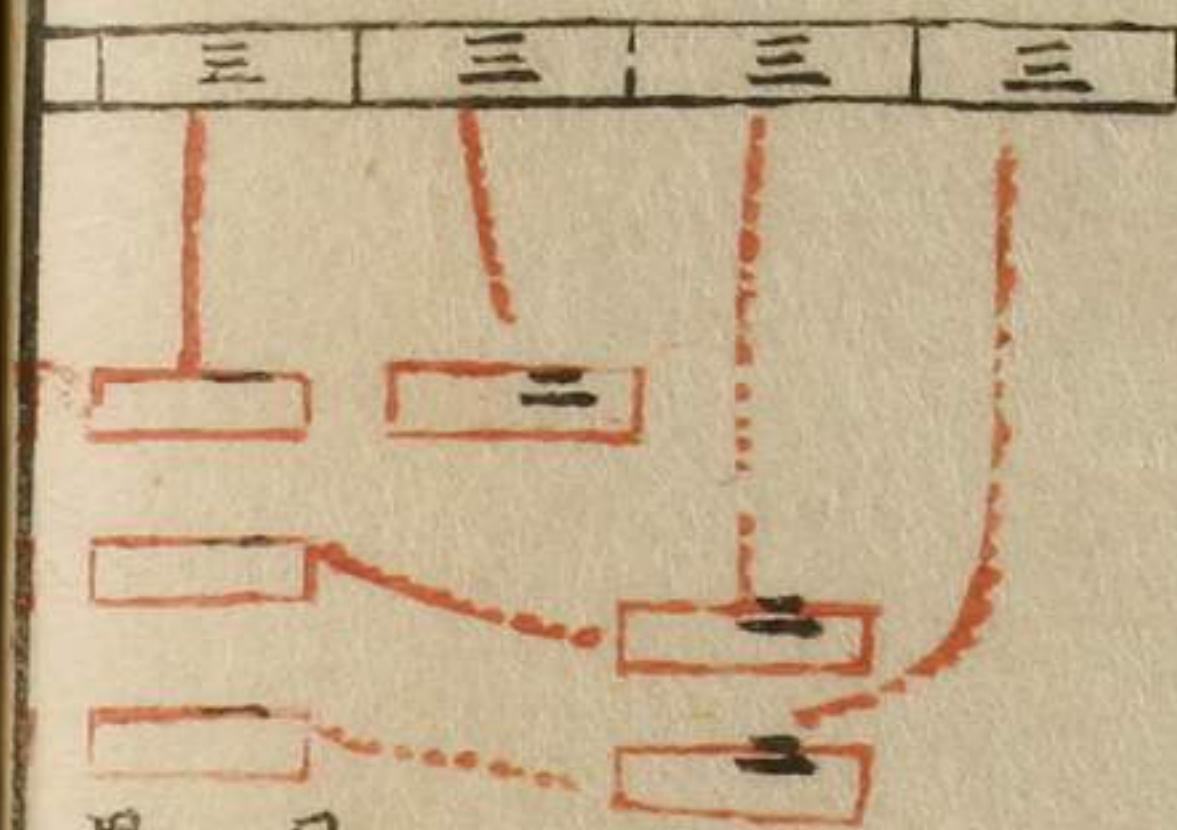


是ハ鋒尖陣ニテ横矢ヲ入  
 タルヲ又敵ノヤウスニ依テ一丈  
 半備ニ立直サント思フトキ  
 カクノ如シ



ヨリ一組ノ順々

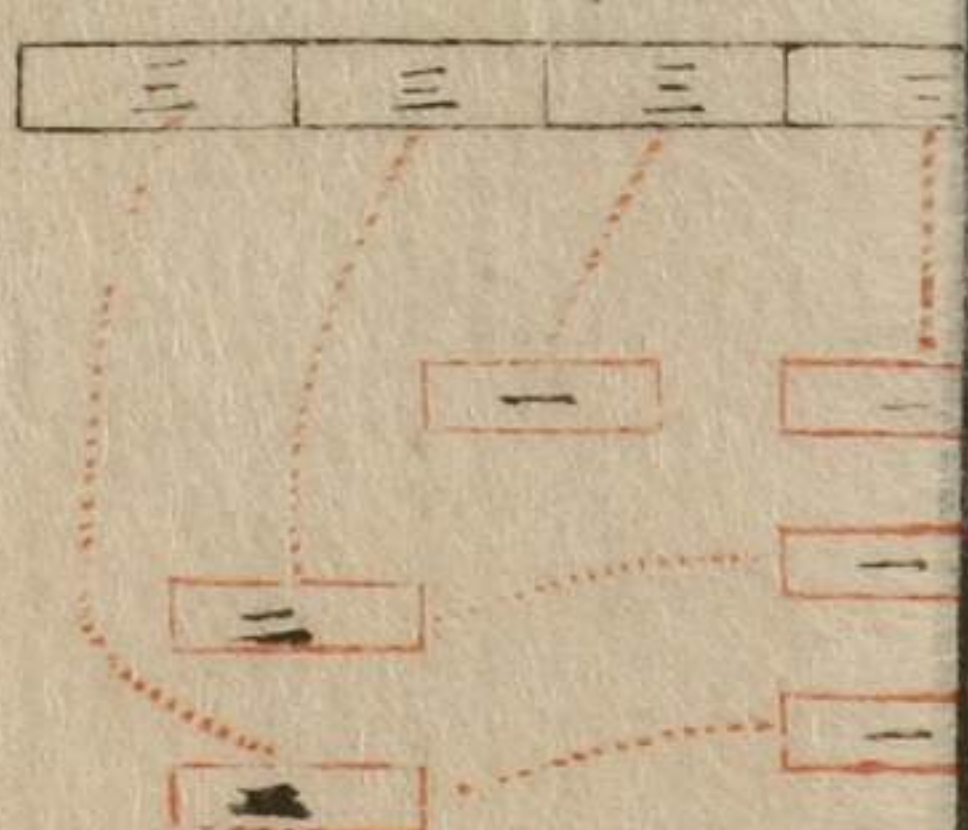
是ハ川岸ニ三行ニ備  
 ヘタルヲ渡リテコナタヘ  
 備ニト思フトキハ  
 ノ如ク前側ノ小口



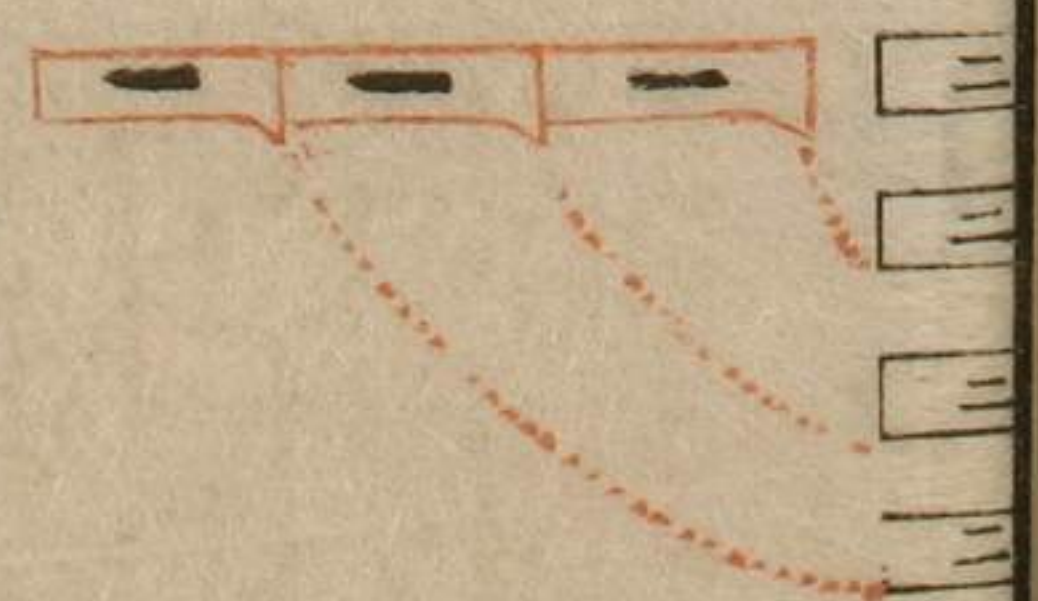
是ハ朱印ノ如ク大組  
疊列ニ備ヘタルヲ一字



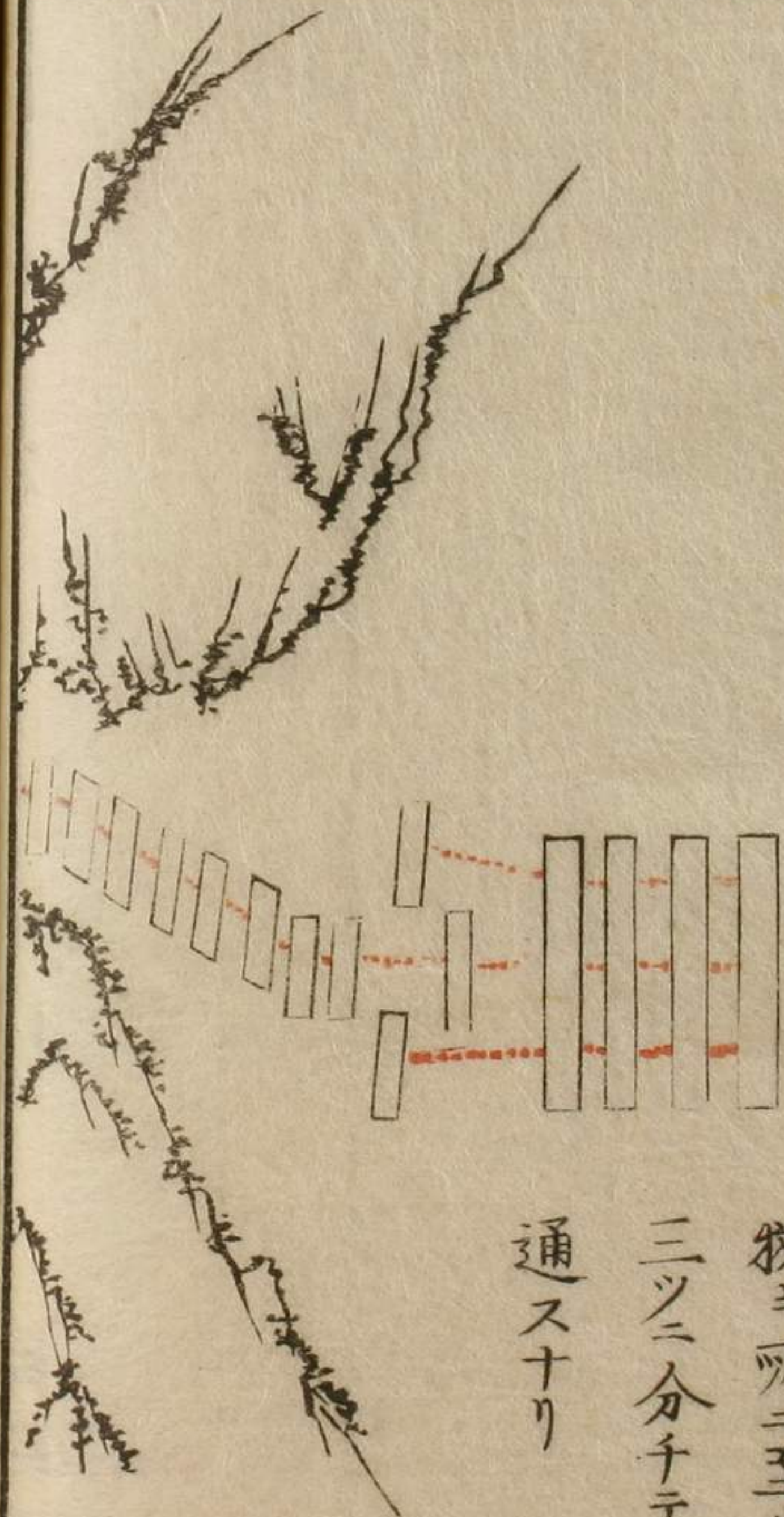
是ハ字陣ニ朱引ノ如  
ク備フ大組疊引ニスル  
トキ圖ノ如ク疊ム  
ナリ



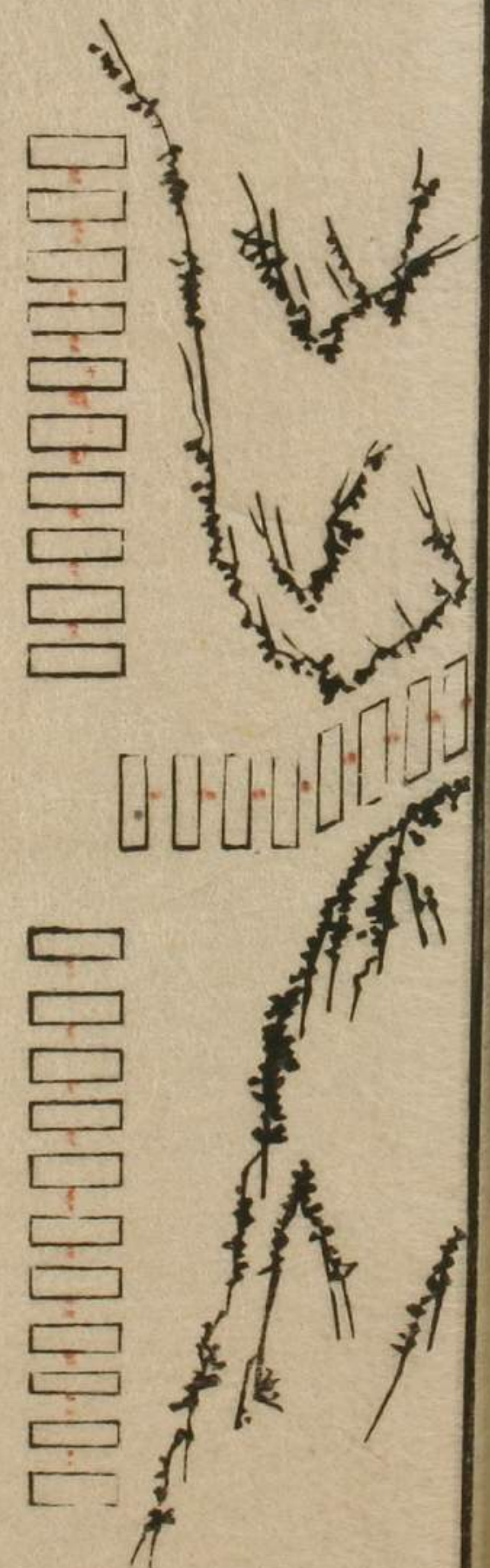
陣ニスルトキ進メ様  
圖ノ如シ



山間行軍之圖

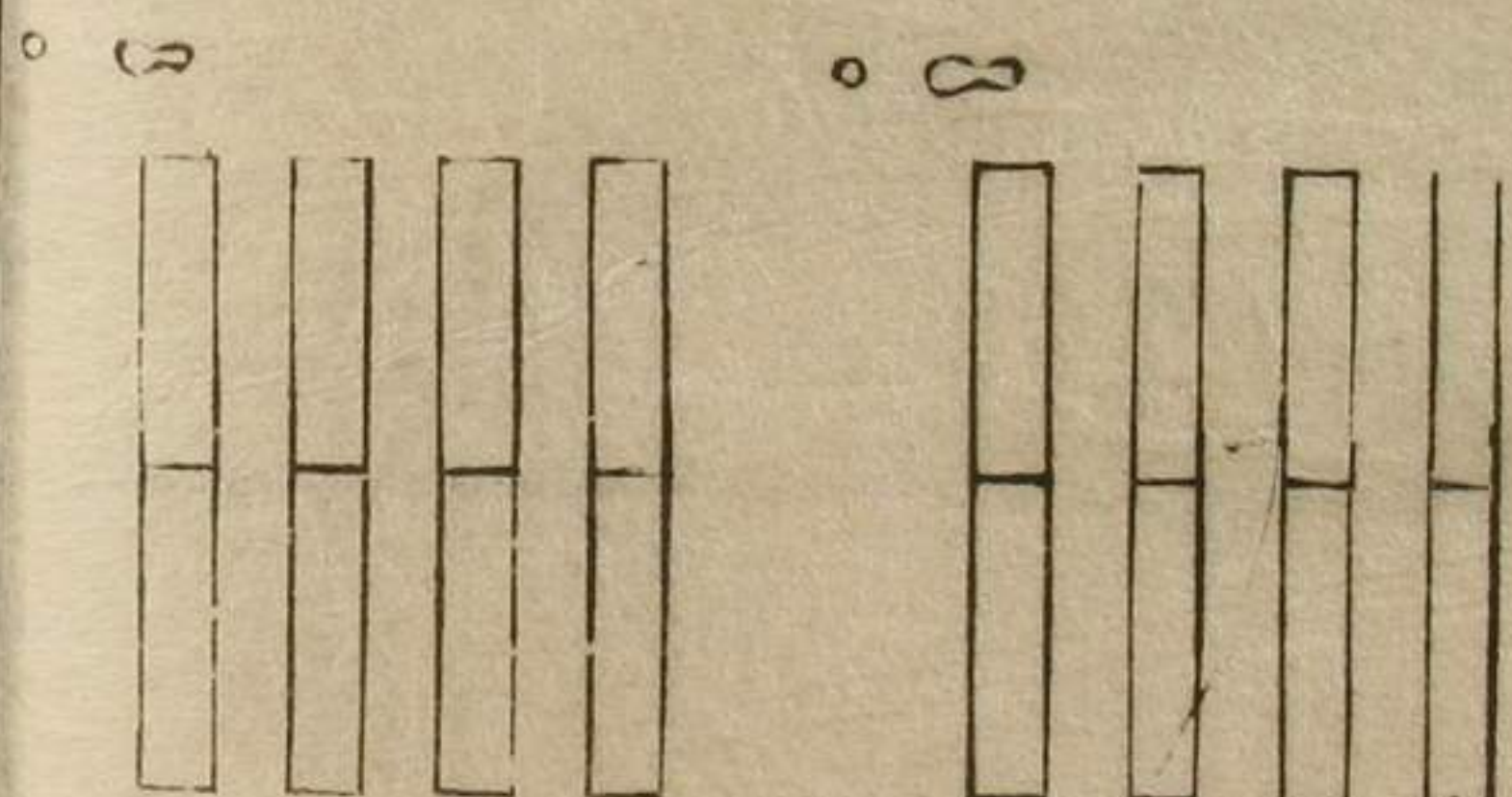


狭キ所ニ至ルハ一備ヲ  
 三ツニ分チテ一組ツ、  
 通スナリ



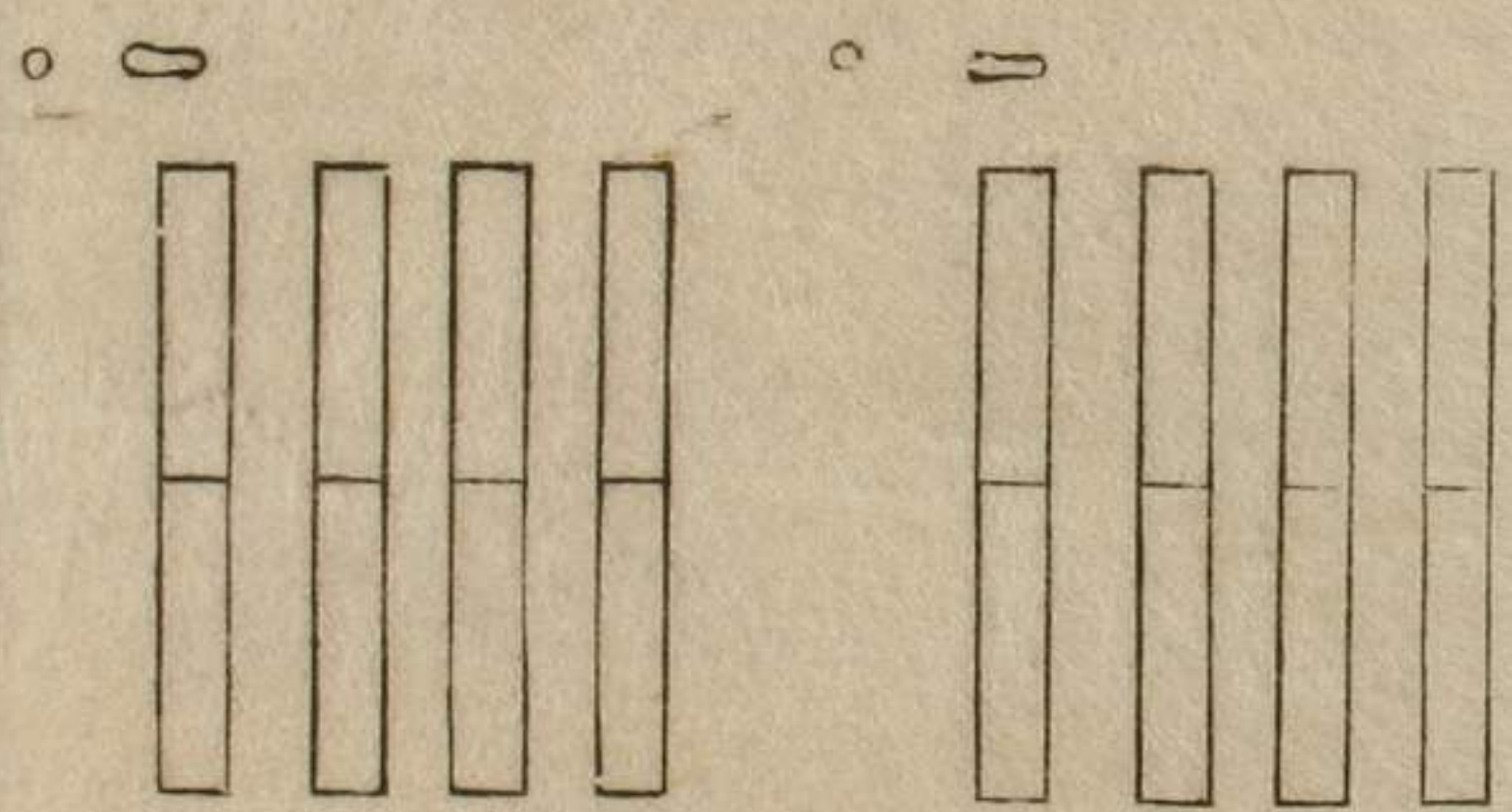
山間行軍之圖

大組銃陣行列之圖



石炭含素器

圖ノ如ク置キ  
押行スル

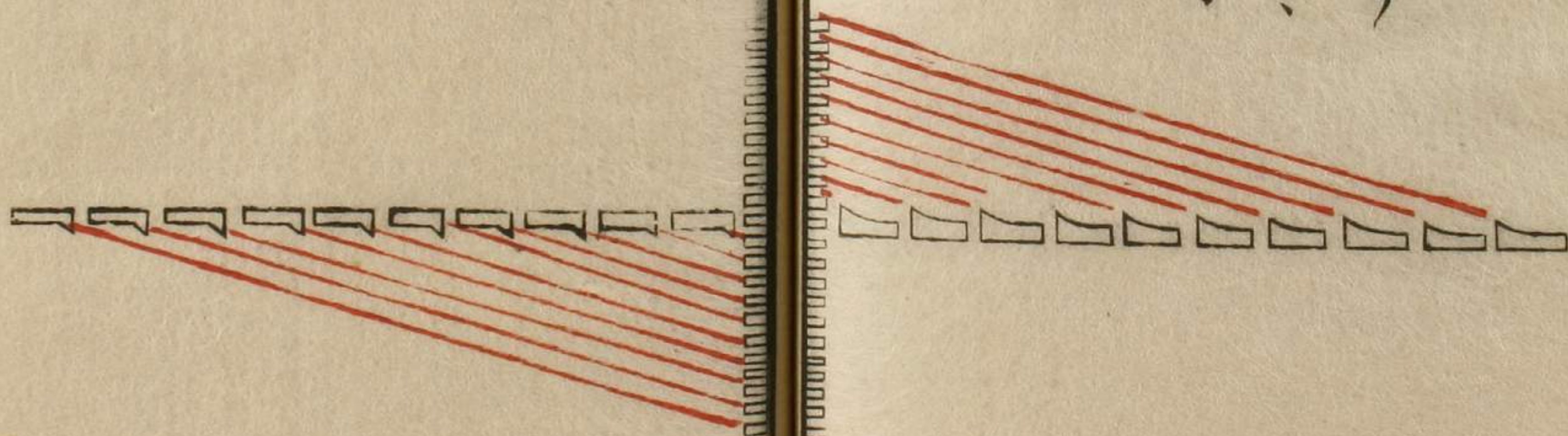


第一

大組銃陣

大組銃陣

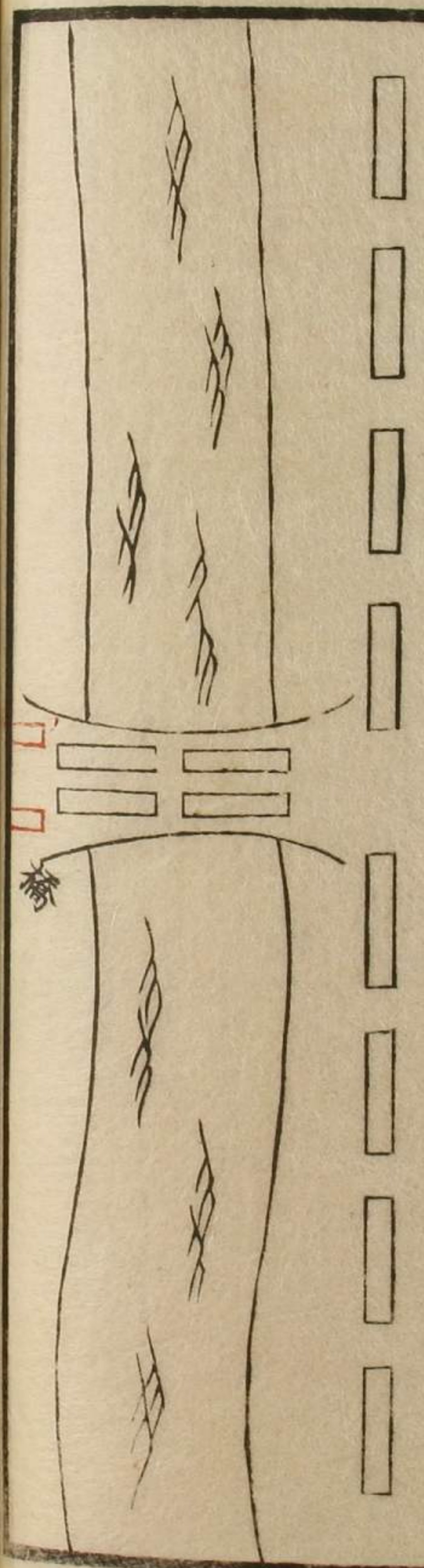
是ハ大組ヲ疊列子テ  
押タルヲ廣場ニ出テ、  
朱印ノコトク左右へ開  
キ一字陣ニ備へテ操  
打ニスル仕方ナリ



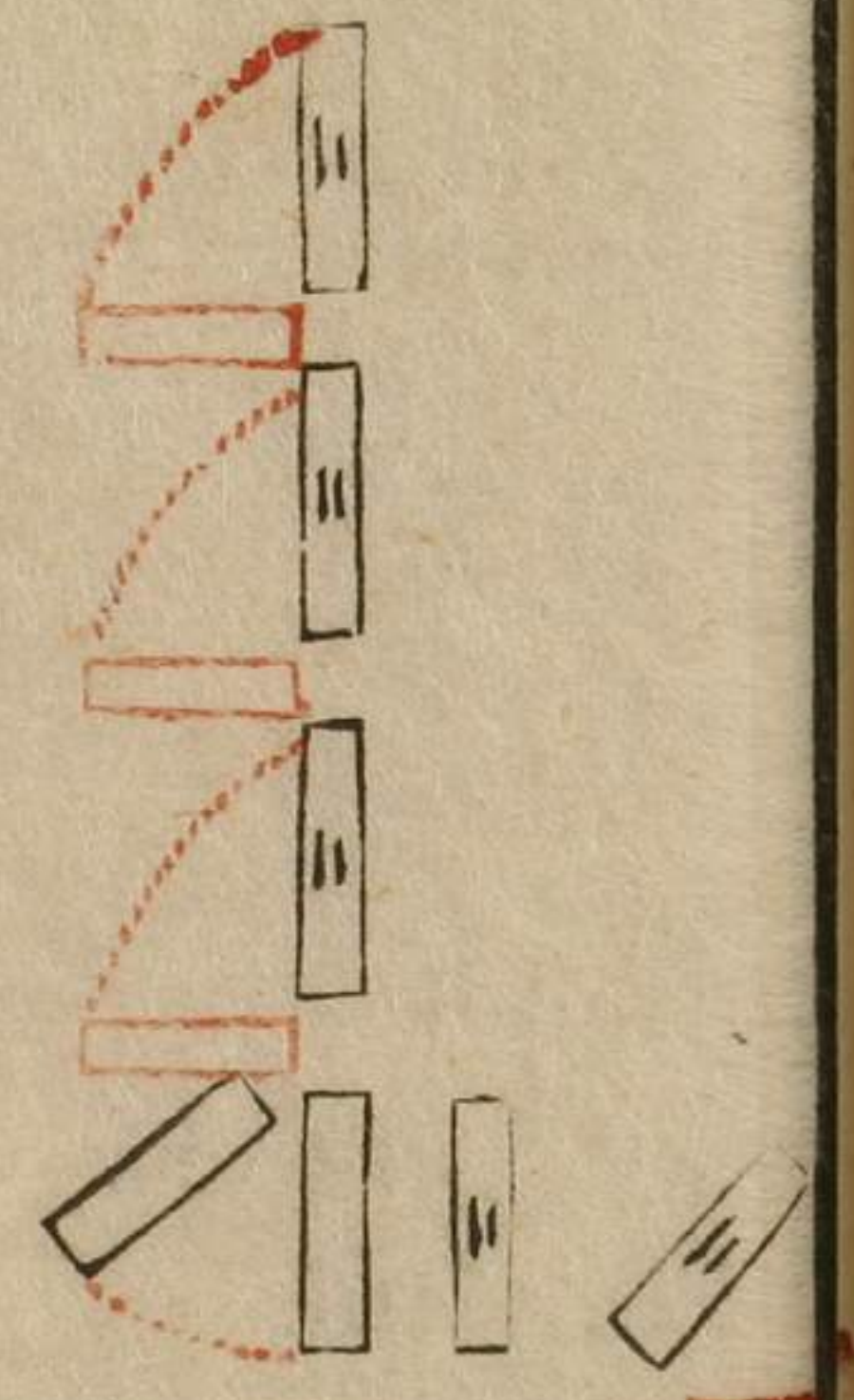
陣

陣

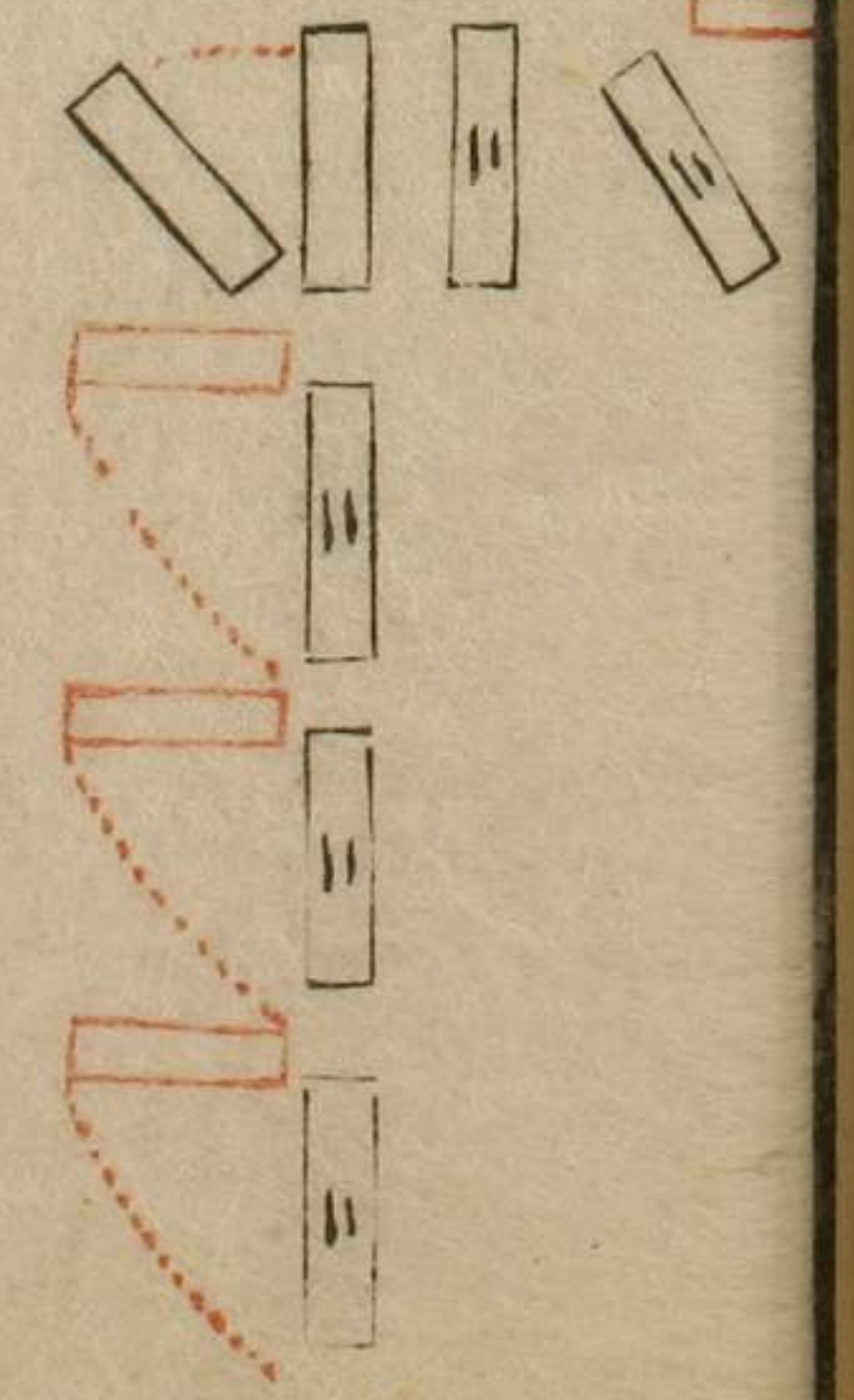
是ハ川ノアヲタニ備ヘタルヲ川ヲ越テコナタニ備ヘント思フトキハ  
 圖ノ如クシテ渡リ扱朱印ノ如ク左右ヘ分テ又一文字ニ備フルナリ



此方左旋龍ニスルナリ



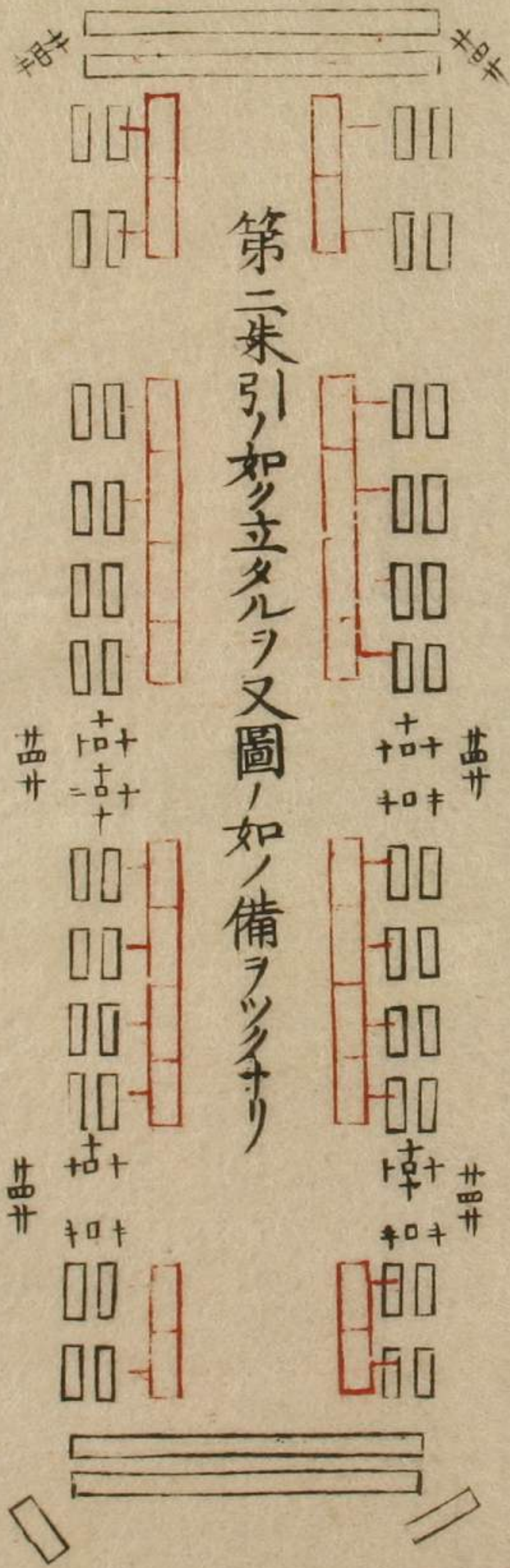
此方右旋龍ニスルナリ





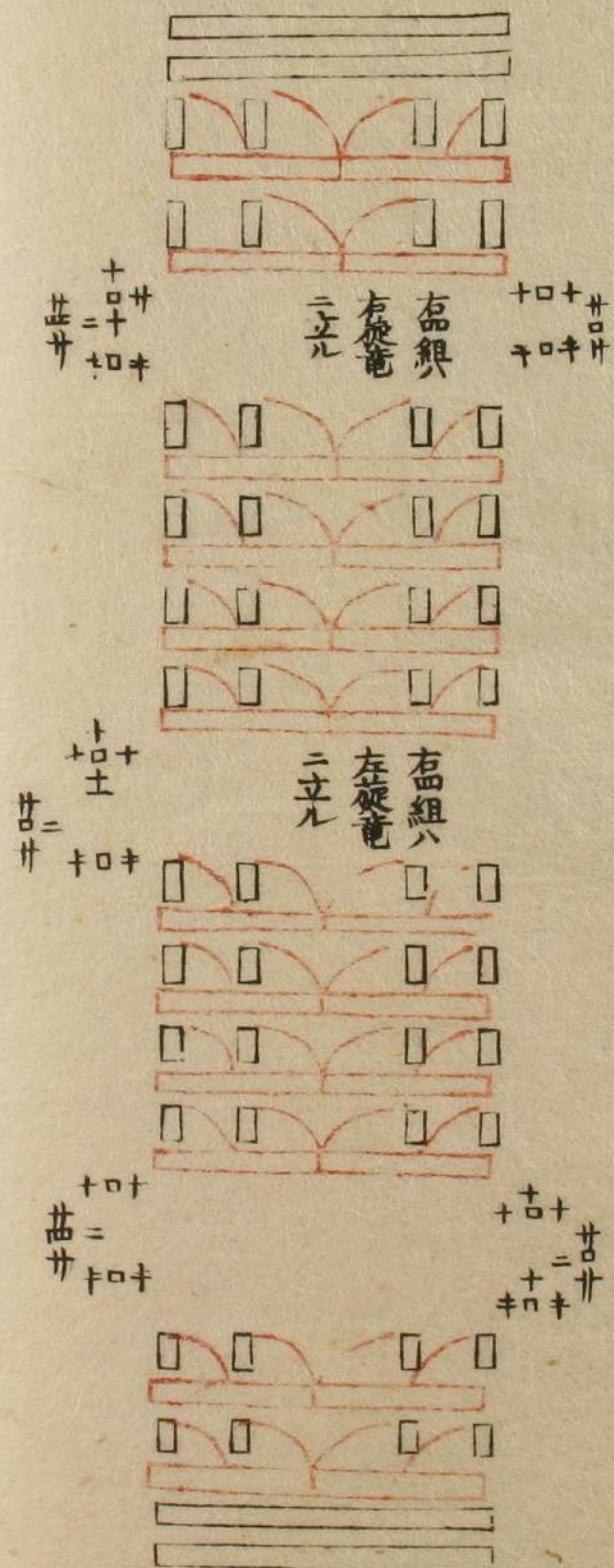
是ハ四方打ラスル備ナリ

第二采引如ク立タルヲ又圖ノ如ク備ラツタリ

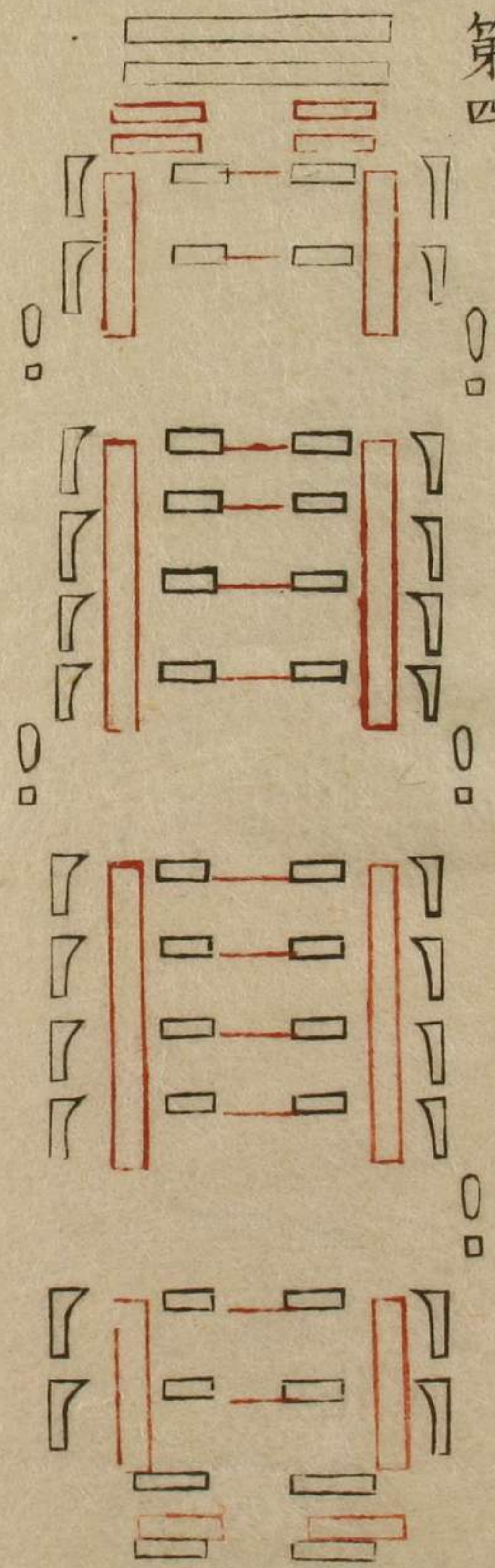


第二

第六采引如ク備タルヲ圖ノ如ク備ラ立ルナリ



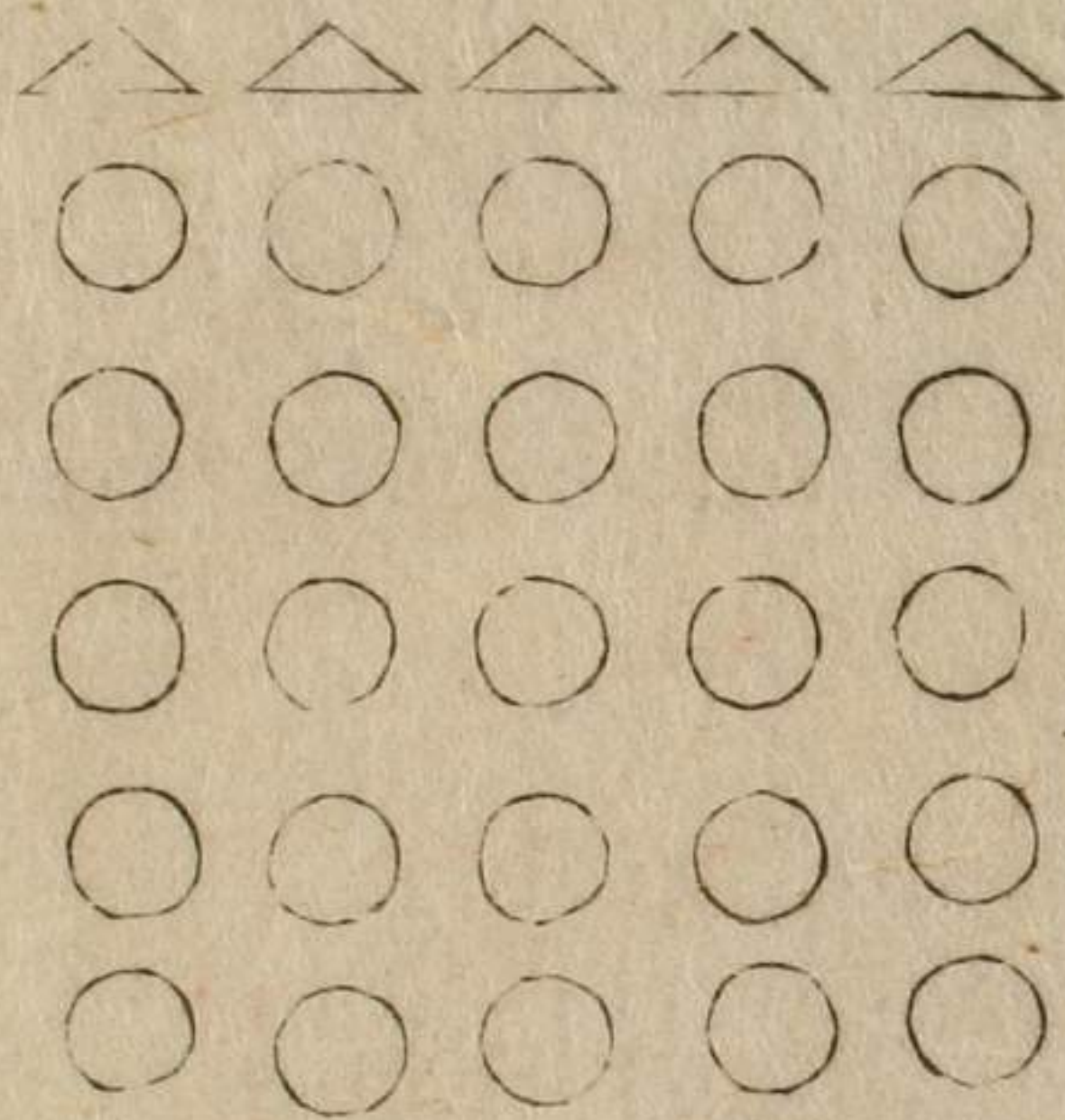
第四



右ハ四方ノ備ヲ引上ルトキ何レノ備モ小口引ニシテ圖ノ如ク  
スルナリサスレハ第一ノ圖ノ如クナルナリ

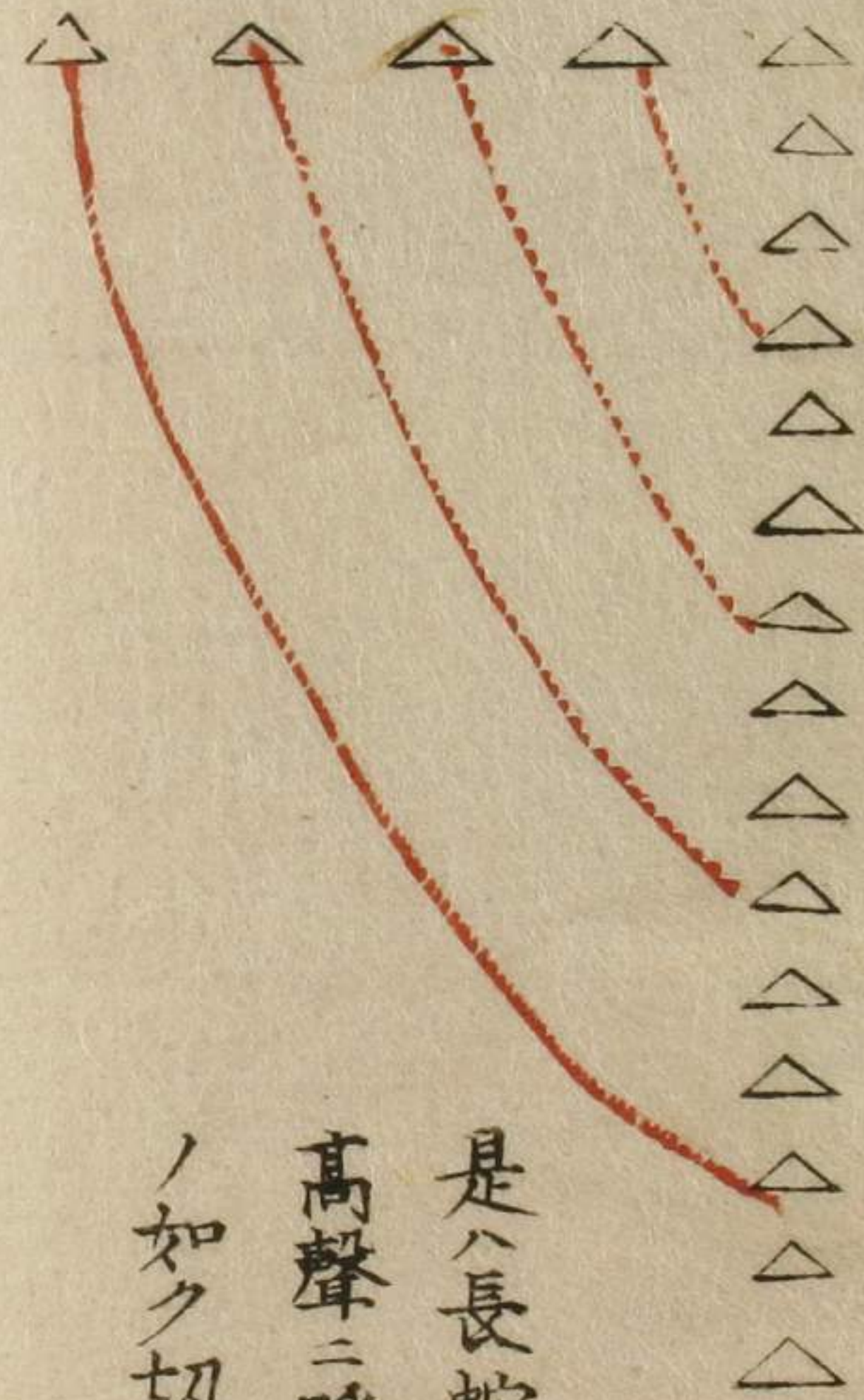
前放後助

打人手傳



是ハ十人或ハ十五人立並フ程ノ至テ挾キ  
所ニテ玉切レナシニ打スル法ナリ前側ノ人ハ  
打手ニ定後ノ人ハ殘ラス手傳ナシニテ打手  
ハ生筒ヲ左ノ方ヨリ手傳ニ渡シ手傳ハ玉  
藥ヲ込テハ打手ノ右ノ前ヨリサシ出シ渡ス  
ナリ何遍モ同事ト知ルヘシ

切附之圖



是ハ長蛇ニテ押タルヲ銃頭切附ト  
 高聲ニ呼テ馬ヲ留ルト歩卒朱引  
 ノ如ク切附テ疊列ニ立重ルナリ

一 凡備ヲ進ムルニハ太鼓ヲ打ツナリ打方ハ序破急ノ三段ナリ序足ハ地足凡云テニツ拍子ナリ破足ハ早足凡云テ三拍子ナリ急足ハ駟足凡云テ四ツ拍子ナリ敵ノ模様時ノ躰ニ依テ右三段ノ合圖ユ用ニルナリ

一 凡備ヲ止メント思フ片ハ金ヲ打ツヘシ打方ハキヤンノ  
 くくくく初メ緩ク中早ク終リ緩ク打ツヘキナリ

一 備ヲ向ケタル儘ニテ後口ヘナシ退ケント思フ片ハ金鼓ヲ三拍子ニ打交セニスヘシ

一各兵進ム片ハ左足ヨリ踏出シ退キ踏止ル片ハ右足ト心得ヘキナリ

足揃ノ片ハ大鼓ヲ雨タレ拍子ニ打ツヘキナリ

一備ヲ左右ヘ向ケント欲スルトキハ大聲ニヤトト呼フヘキナリ是各兵ノ耳ヲ明カニセニカ為ナリ

一各兵歩行ノ片ハ一足毎ニエントト一同音ニ云フヘキナリ是幾千人ナリト呼吸一致ニスル篇ナリ  
一備ヲ何形ニモ立直サント思フトキハ何々ト呼テ後銃頭馬ヲ

ヲ乗出シテ立ント思フ形ノ所ニ乗居ル其後太鼓ヲ打テ各兵銃頭ノ蹄形ニ歩行クト心得ヘキナリ組隊ノ様子ニ依テ伍長銃頭指揮ヲ受テ先ニ立テ進ムモアリ其時ハ各兵伍長ノ足跡ヲ定規ニ歩行クヘキナリ

一進時ハ銃頭先ニ立テ備ヲ引クナリ退時ハ小銃頭先ニ立テ銃頭後殿ヲスルナリ

一備ヲ指揮スルハ銃頭ノ心次第ナリ敵ノ様子ニ依テ如何様ニモ指揮スルト伍長ハ其ヲ受繼テ各兵ヲ亂レサルヤウニ介抱ス

一 各兵ノ筒ノ工合角石ノ善惡玉藥ノ有無二重込メ三重込メハ  
無之キヤ其夏間断ナク心配第一ナリ平常厚ク心得ヘキナリ  
接戦ニ臨ンテ身方銃伍打殺サル者アラハ伍長速ニ組ノ内  
ヨリ出シテ銃伍ニ充ツシ方一大勢打殺サレテ小人数ニナラ  
ハ速ニ備ヘテ長蛇ニ立直シテ後様子ニ依テ疊列ニ仕直スヘシ  
餘リ小勢ニテ備ノ立難キ時ハ他ノ銃伍ト組合スヘキナリ  
一 接戦ニ臨マハ玉藥管ハ遙ニ引退テ備フヘキナリ  
一 野戦筒ハ小筒ノ組ノ左右中ニ割込ムヘシ凡テ大筒ニハ打手

カ指揮ヲ主リテ大筒小筒互ニ玉切レナク打ヘキナリ定格  
ハ小筒ハ割合トイヘ凡機ニ臨ミテ大筒許リ一所ニ集メテ横  
矢ヲ入レ或ハ進ミ出テ敵ノ銳氣ヲ摧クコナリ更ニ究リアル可  
ラス指揮役ノ才智ニ任スヘキナリ

一 一隊ノ合圖中軍ニテ金鼓ヲ掌ルトイヘ凡當流ノ趣意ハ銃  
陣ハ初ヨリ他物ヲ交エス鉄炮許リヲ用ユル故一組ノ銃頭手  
太鼓手鉦ヲ以テ指揮スルナリ伍長トモ手太鼓手鉦ヲ腰  
ニ附テ受継クコト心得ヘキナリ

一 銃頭ハ馬ノ四方手ニ受筒ヲ附テ馬上短筒ヲ偸フヘキナリ  
 伍長ハ子ヲヒ附ノ筒ヲ背負テ居ヘキナリ是ハ時ニ依テ敵將  
 カ者頭タルモノヲ子ヲヒ打チニスル為ナリ  
 一 銃頭ハ麾ヲ採ルヘク伍長ハ金鼓カ木鞭ヲ採ルヘシ是ニテ合  
 兵ノ行裝ヲ指揮スルナリ

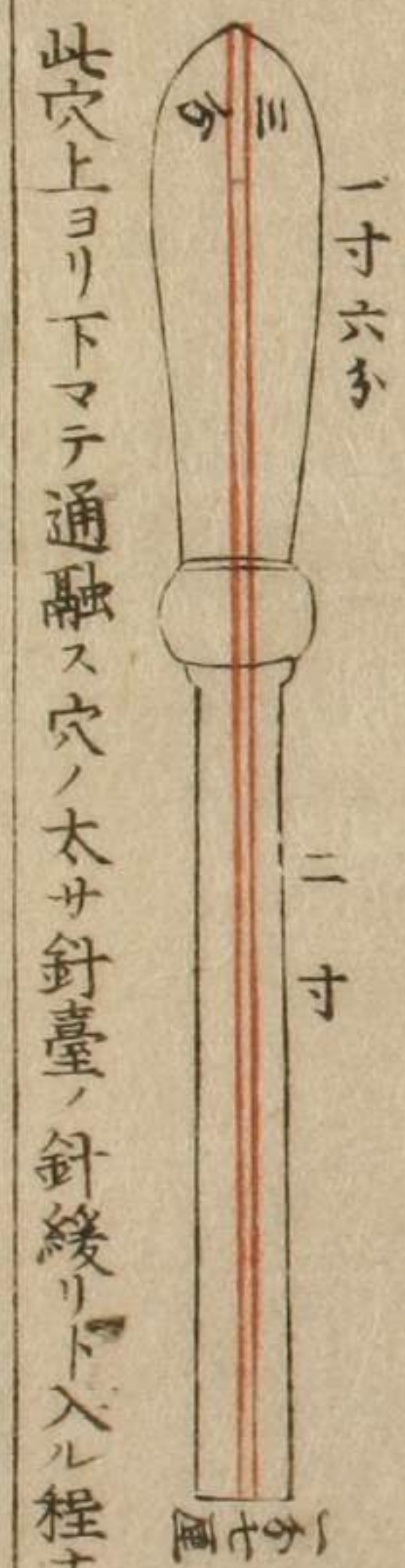
○ 炮術銃具圖式

○ 早道火制具

唐金又ハ真鍮  
ニテ鑄造ス

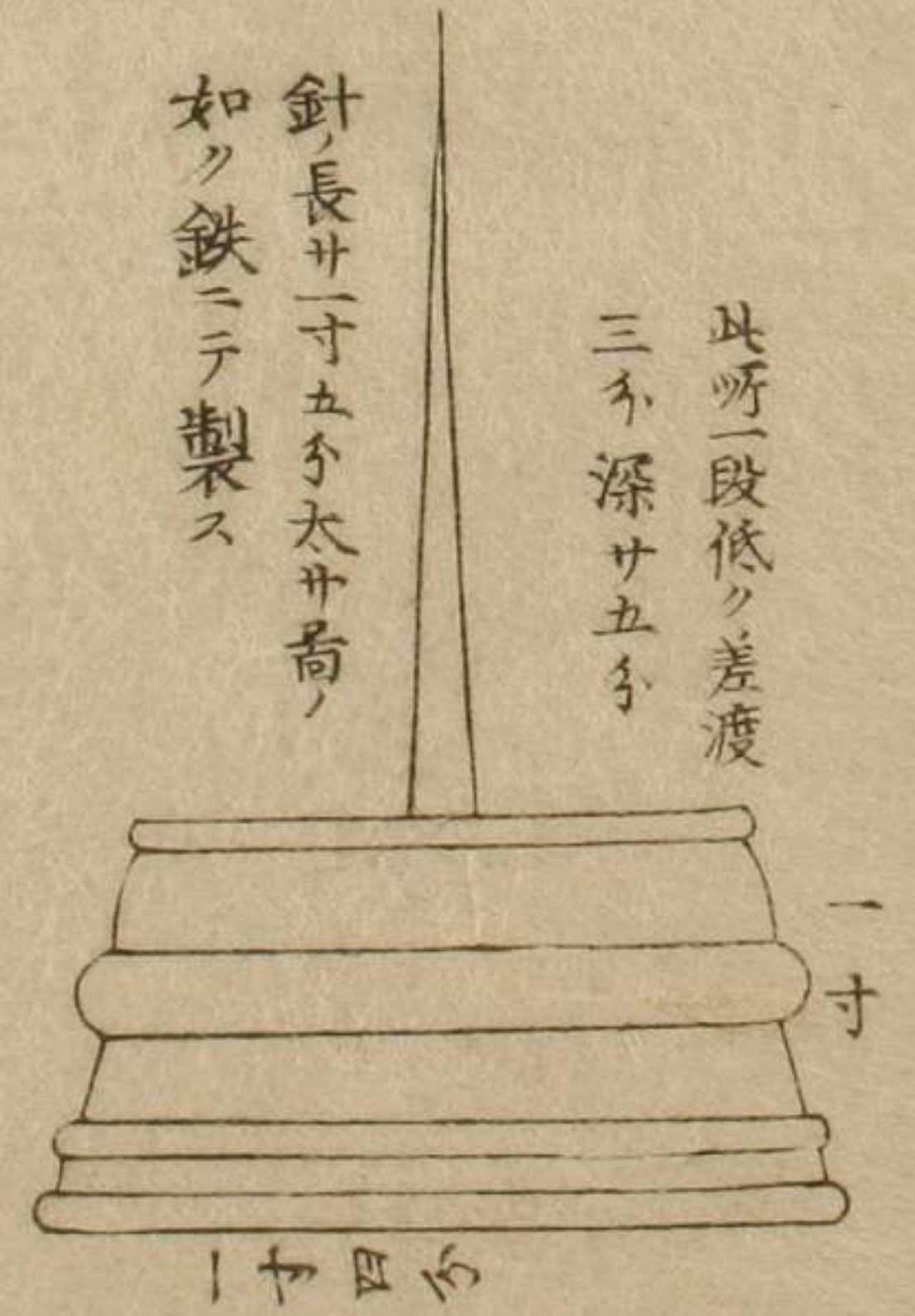
○ 金管

唐金又ハ真鍮  
ニテ製造ス



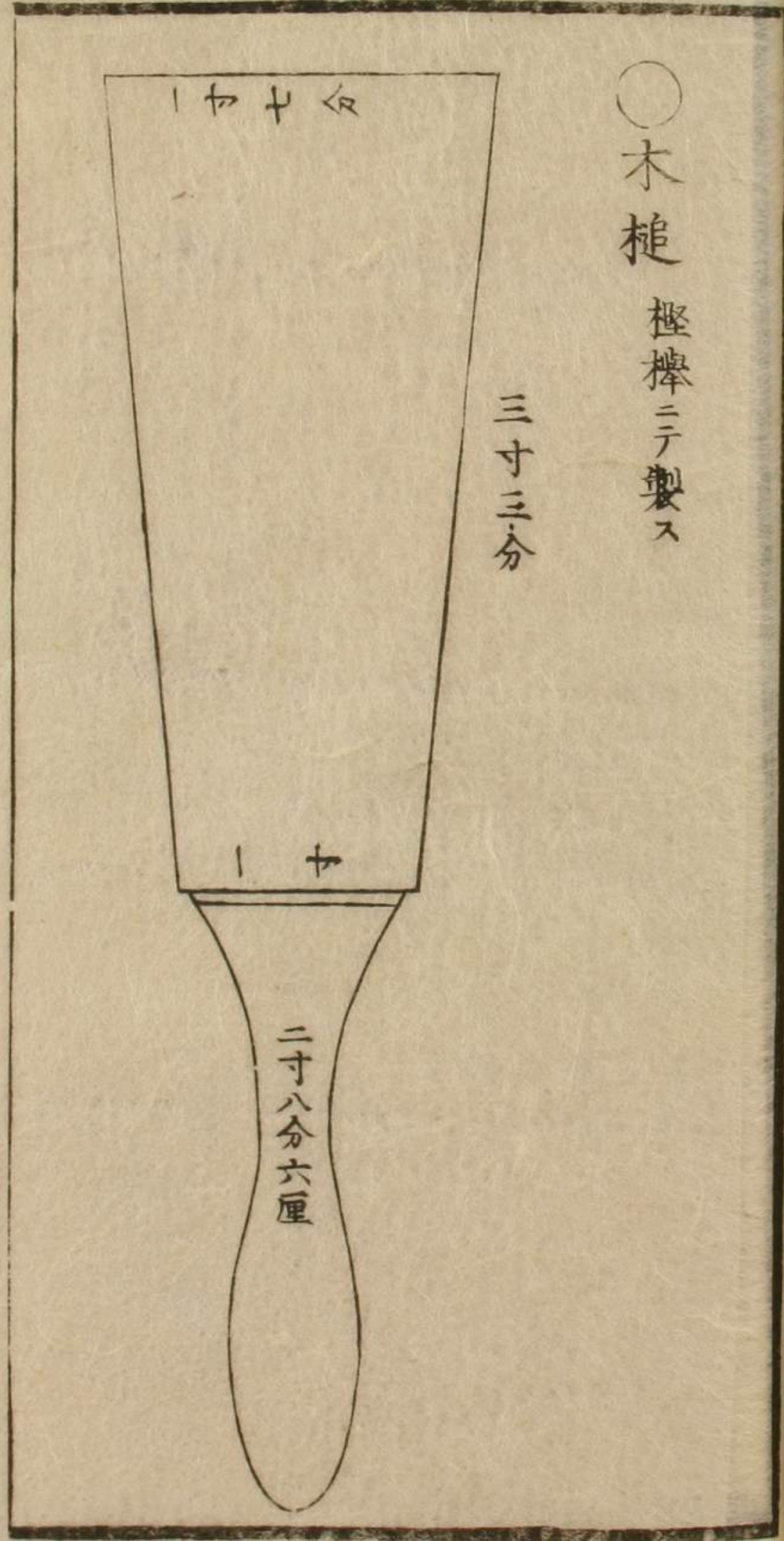
此穴上ヨリ下マテ通融ス穴ノ太サ針臺ノ針緩リト入ル程ナルカ能キナリ

針長サ一寸五分太サ高ノ  
如ク鉄ニテ製ス



此所一段低ク差渡  
三不深サ五分

四三

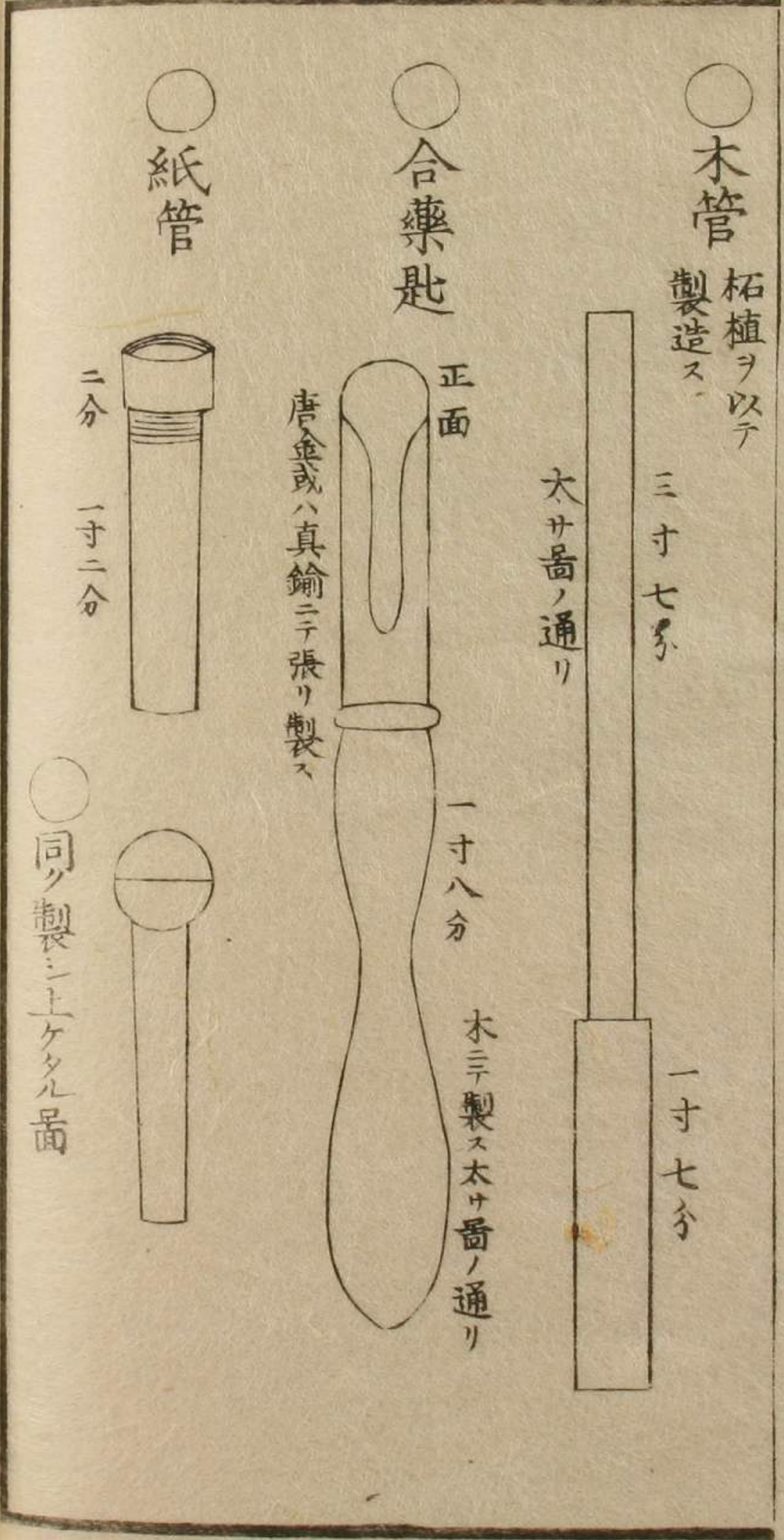


○木槌

樞樺ニテ製ス

三寸三分

二寸八分六厘



○紙管

二分 一寸二分

○合藥匙

正面

唐金或ハ真鍮ニテ張り製ス

一寸八分

木ニテ製ス太サ番ノ通り

○同ノ製ニ上ケタル品

○木管

柘植ヲ以テ製造ス

一寸七分

太サ番ノ通り

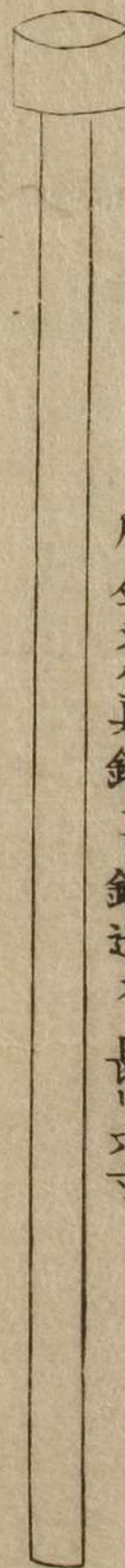
一寸七分

○大砲道火製具

四分金管

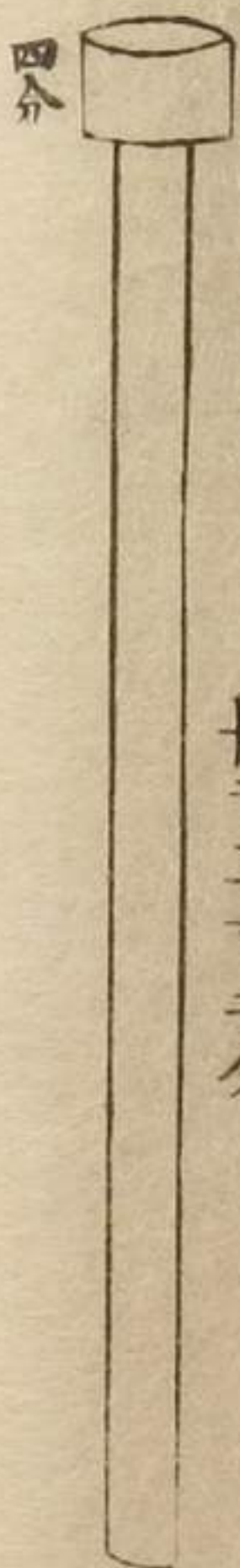
頭徑五分五厘

唐金又ハ真鍮ニテ鑄造ス 長サ六寸



差渡シ五分五厘

長サ三寸二分



四分

○木火當木

檜櫟ニテ製造ス

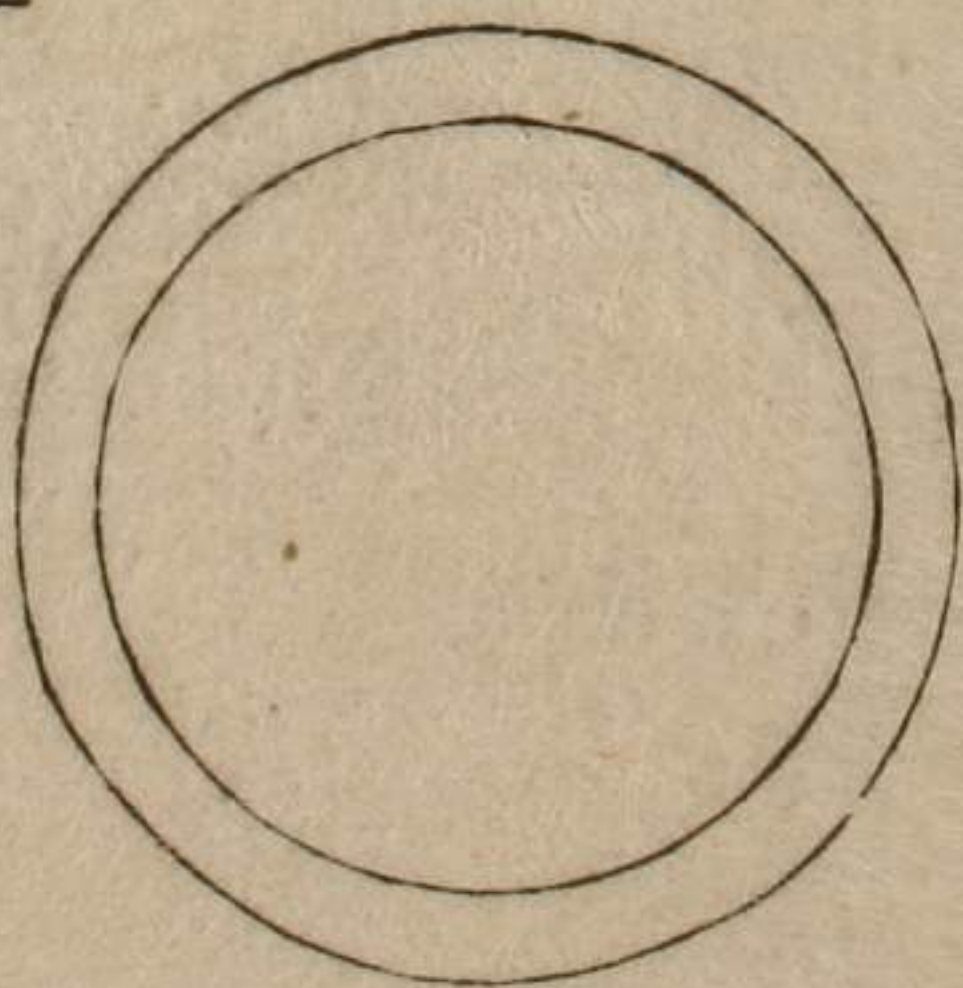
上差渡シ一寸二分

真鍮輪口



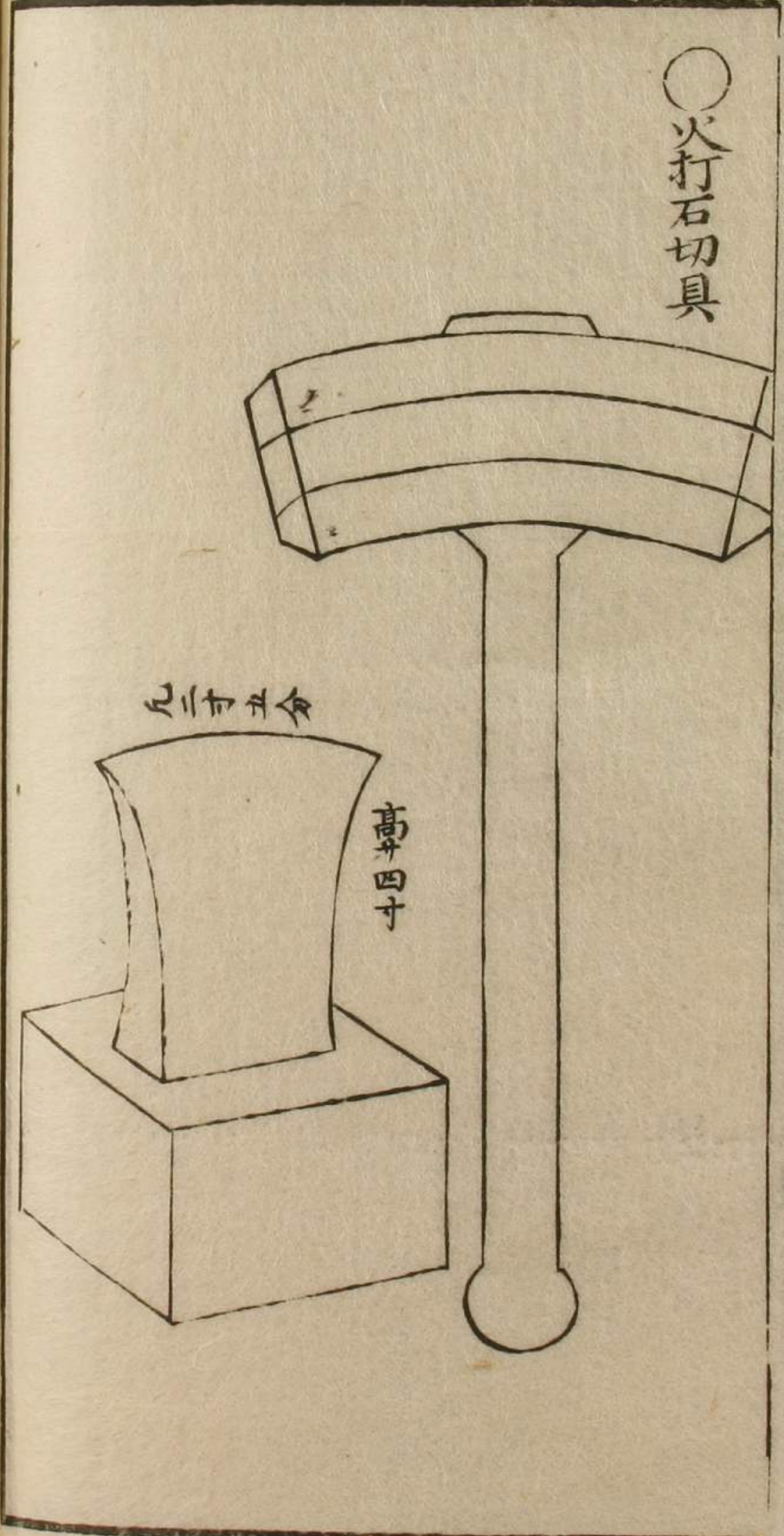
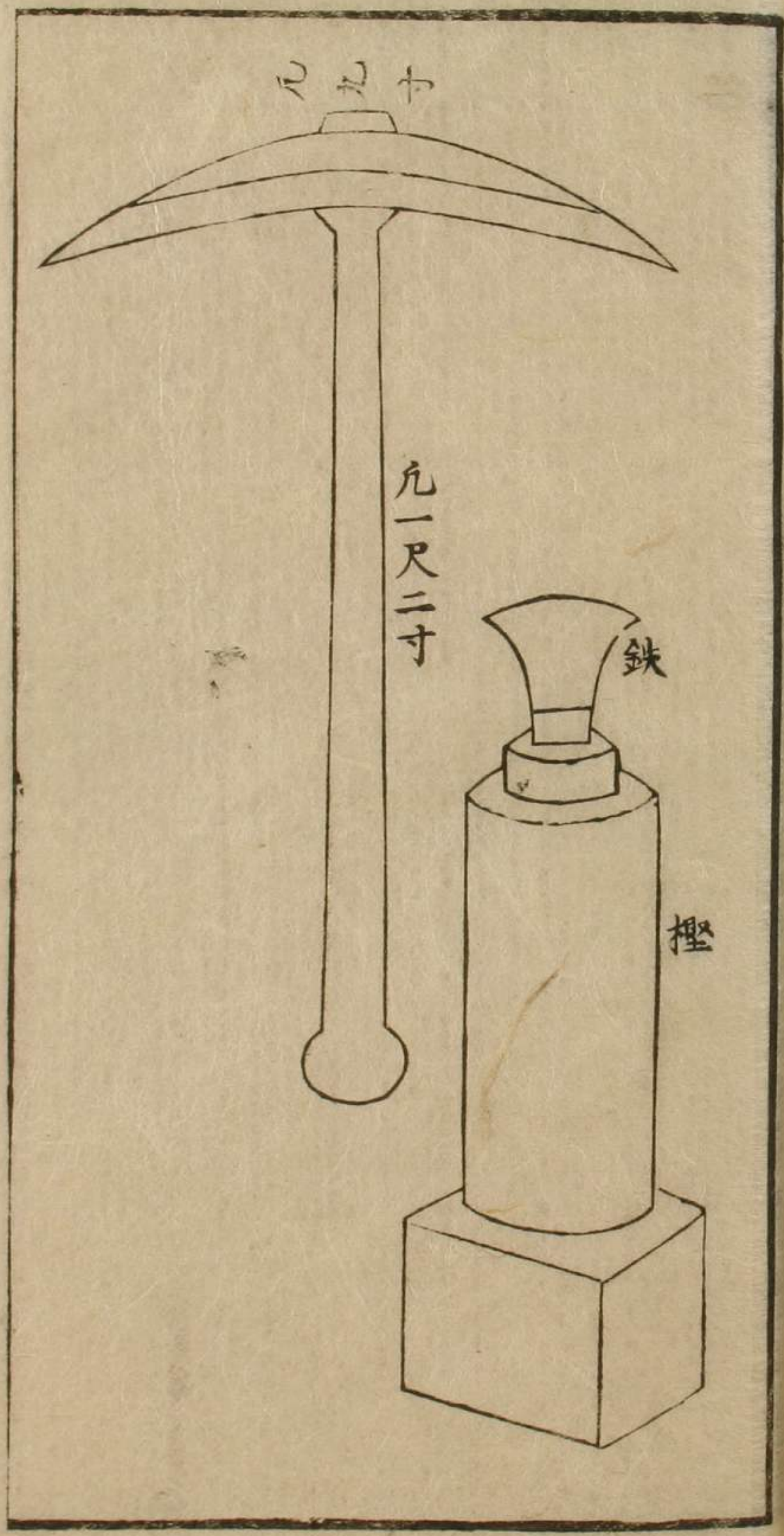
底差渡シ一寸三分五厘

真鍮輪口

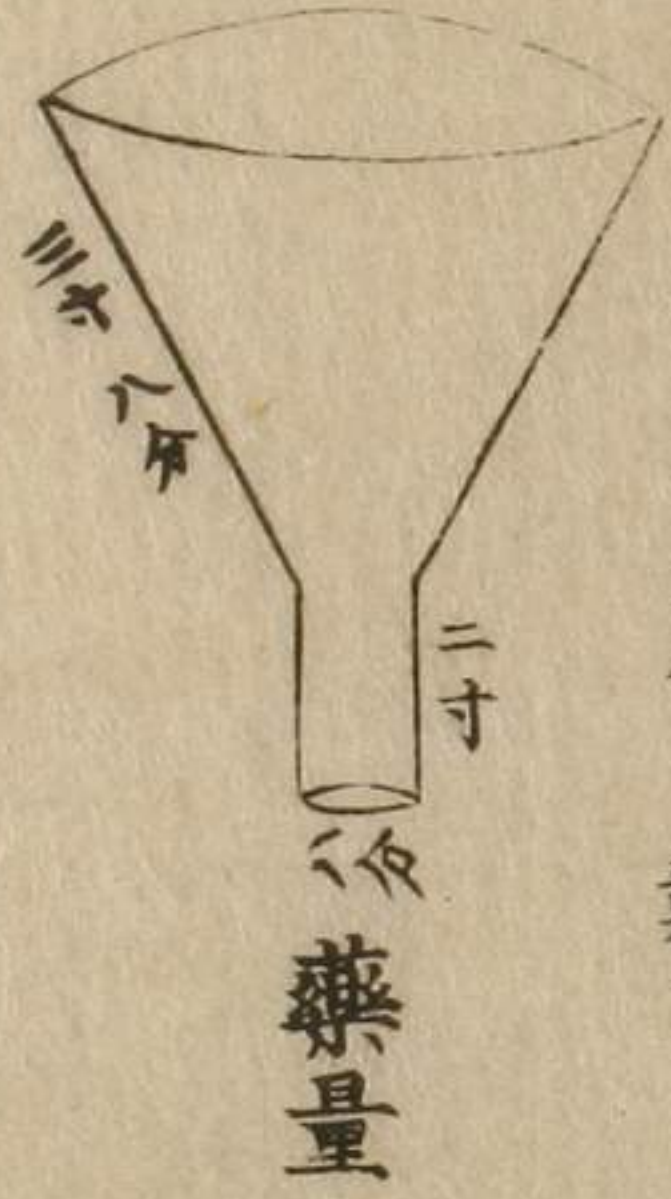


此所一段低キ所差渡シ  
三寸七分五厘深サ四寸





扁斗



唐金或真鍮ニテ製ス

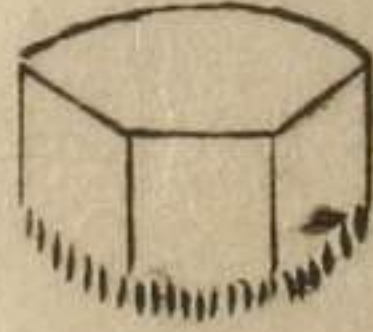
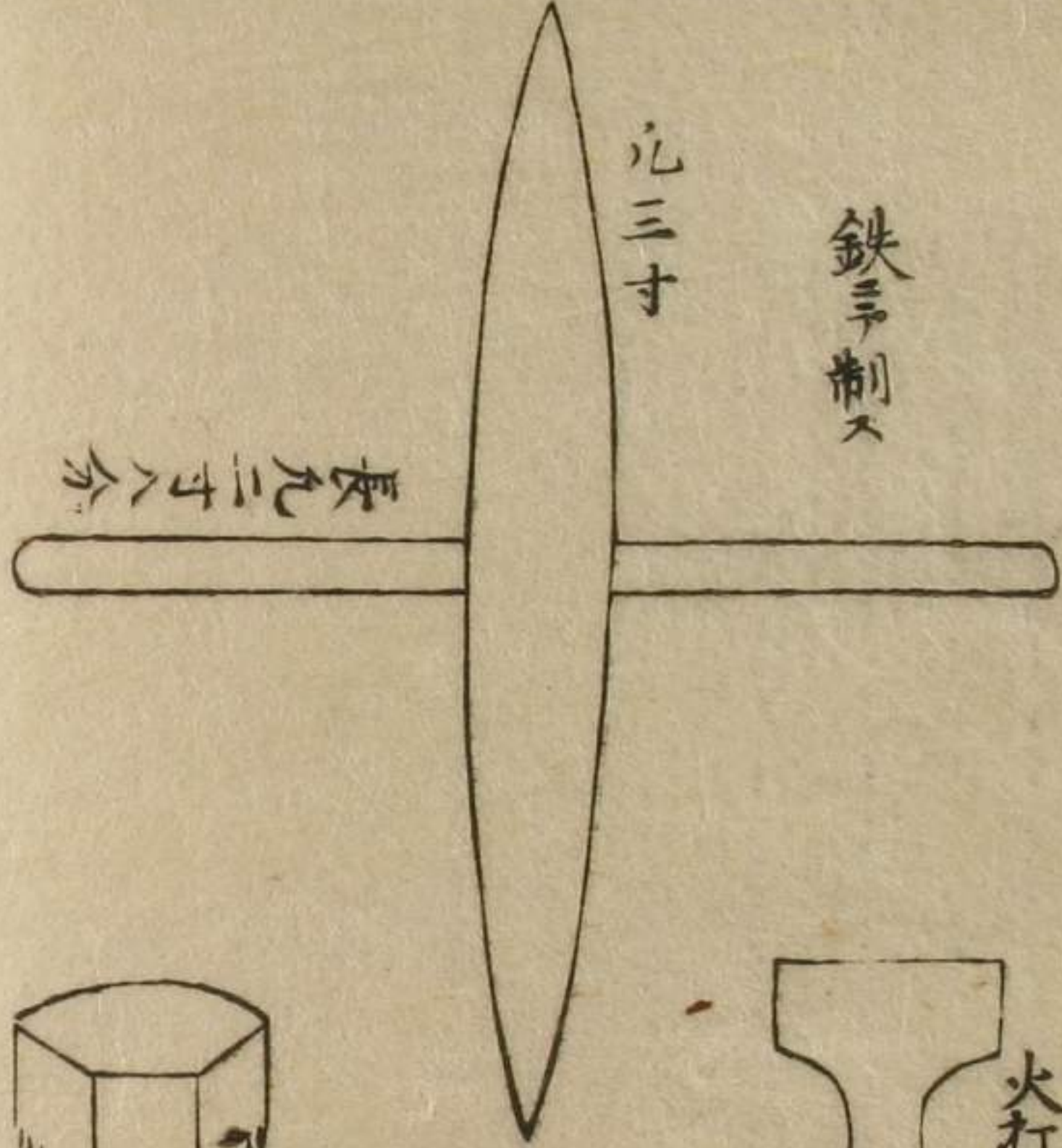
唐金真鍮ニテ製ス



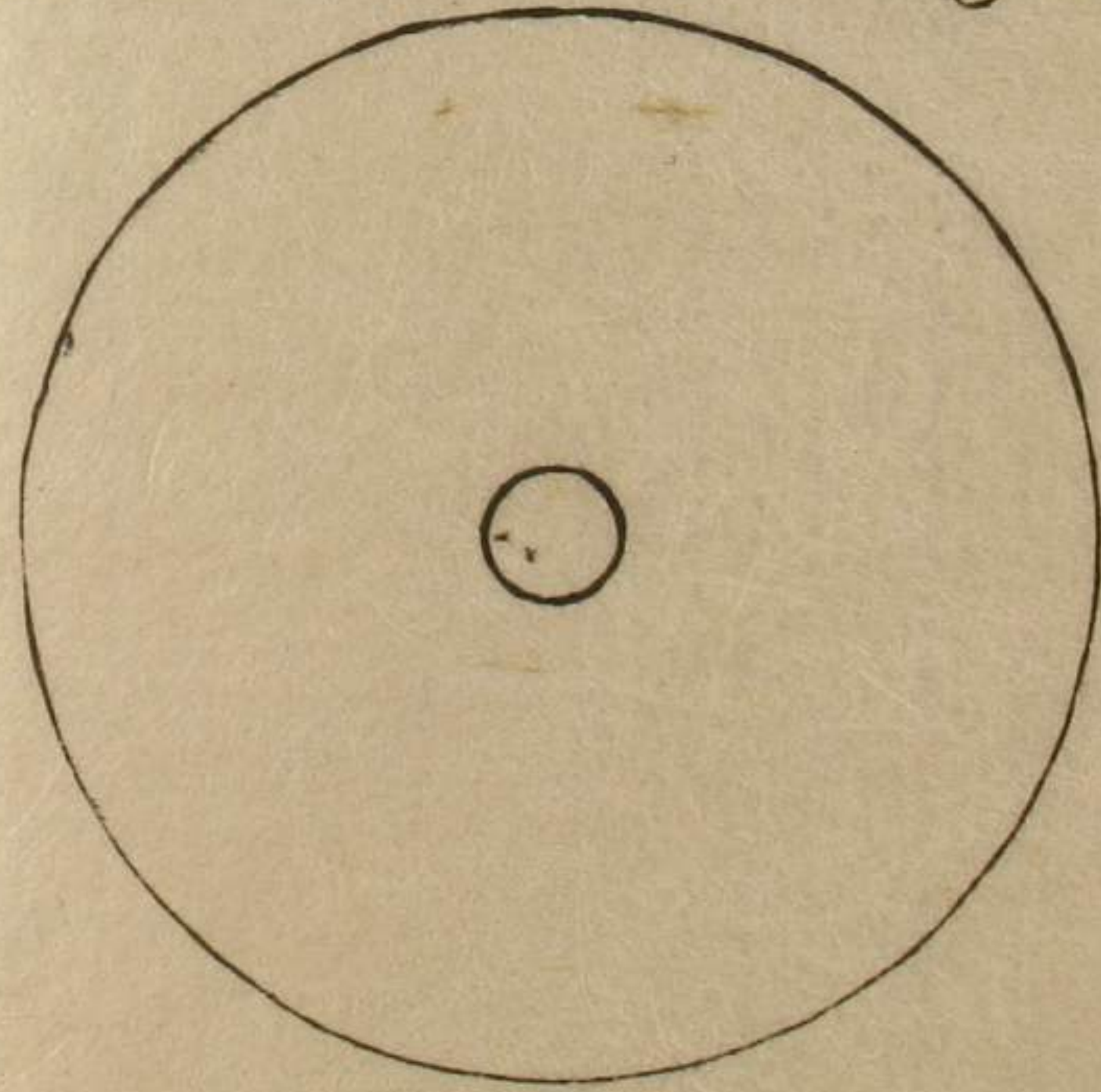
二百目 二百目 二百目

九三寸

鉄ヲ制ス



火打切具



○道火木管

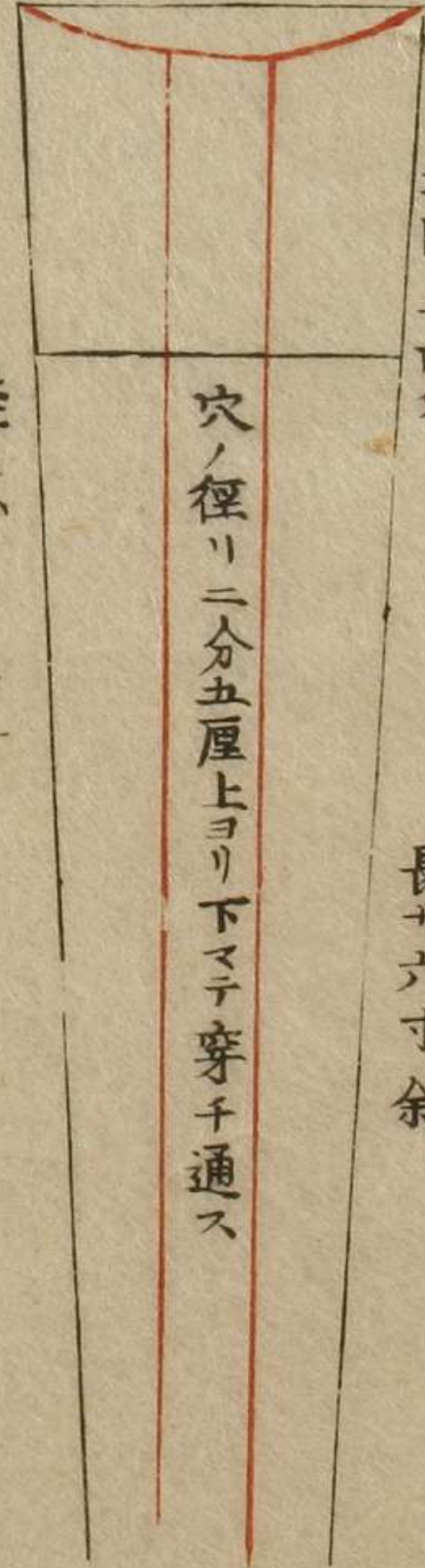
ウヤキト子リコシラゼ 櫻ニテ製ス

此間一寸四分

長サ六寸余

縁分

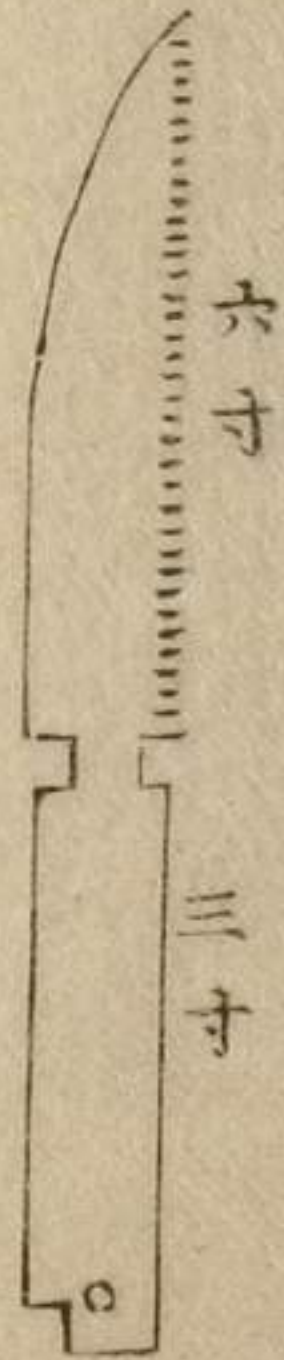
金徑作小分三厘



穴ノ徑リ二分五厘上ヨリ下マテ穿テ通ス

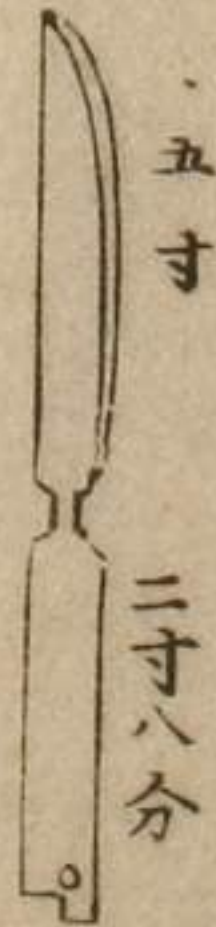
中糸ニシテ深サ三分

此所ニ小刀目ヲ付ル



六寸

三寸



五寸

二寸八分

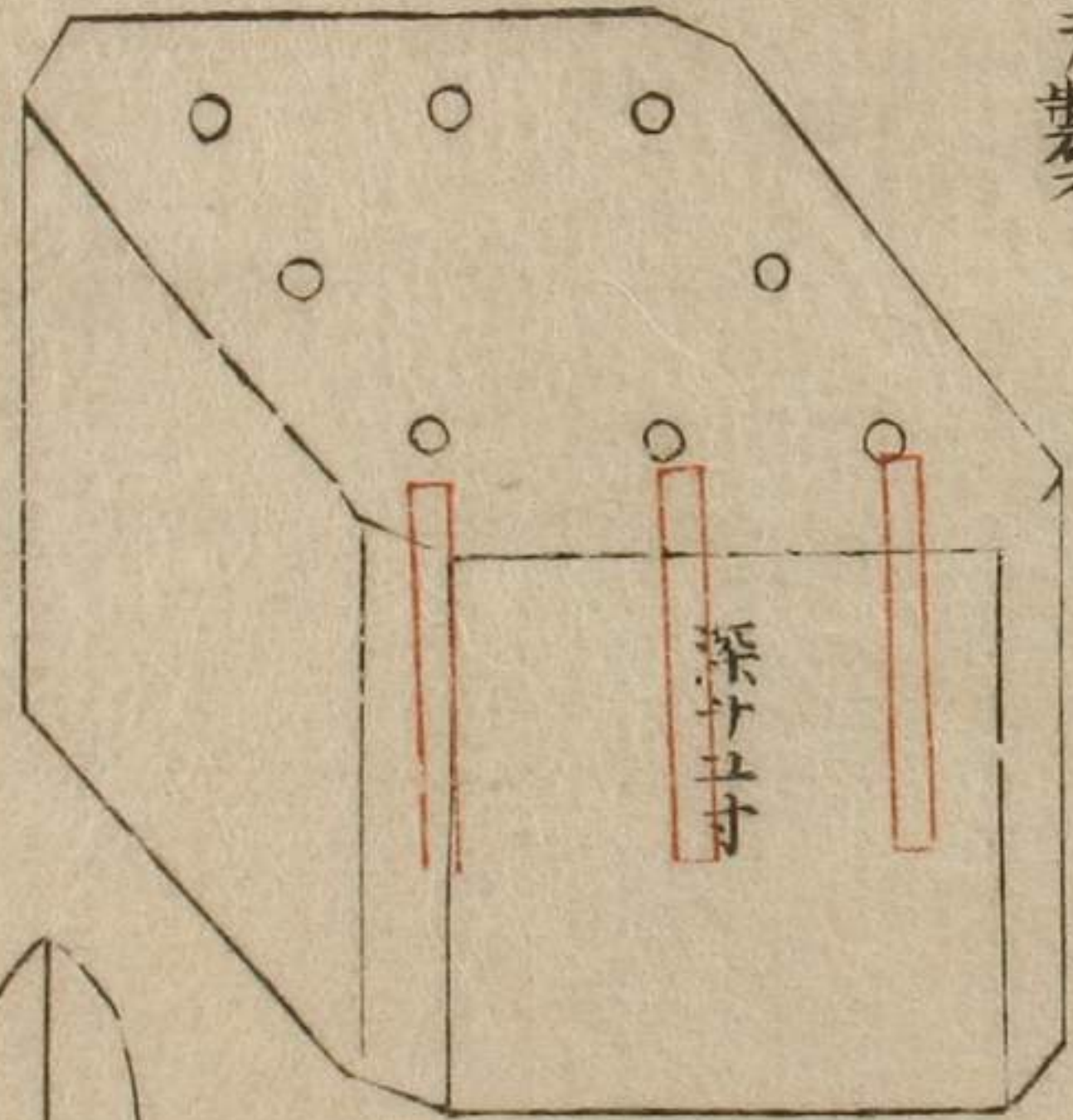
○鋸

○小刀

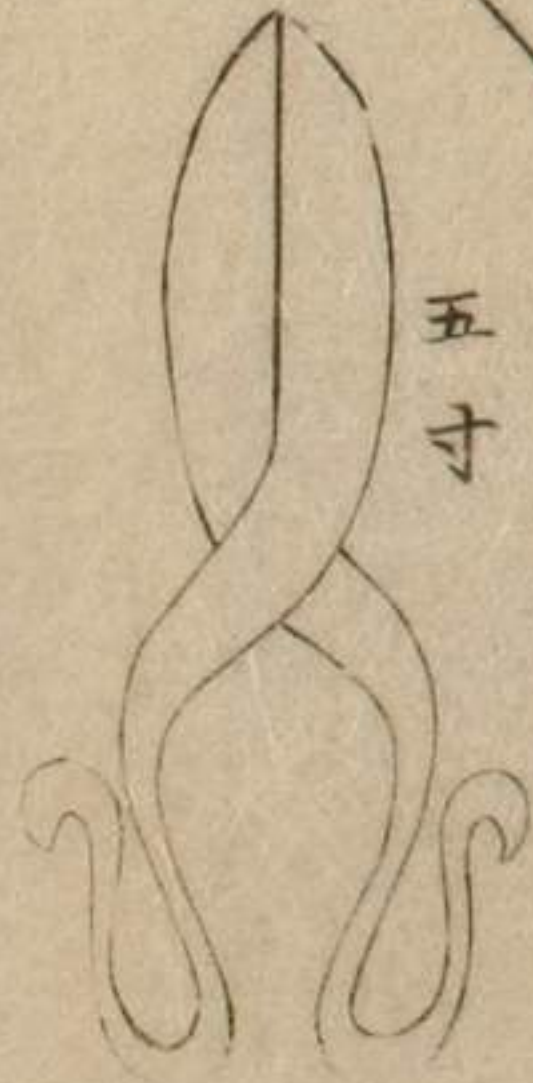
○道管詰臺

樽ニテ製ス

○鉗



深サ五寸



五寸

○天砲道拔 練鉄ニテ造ル

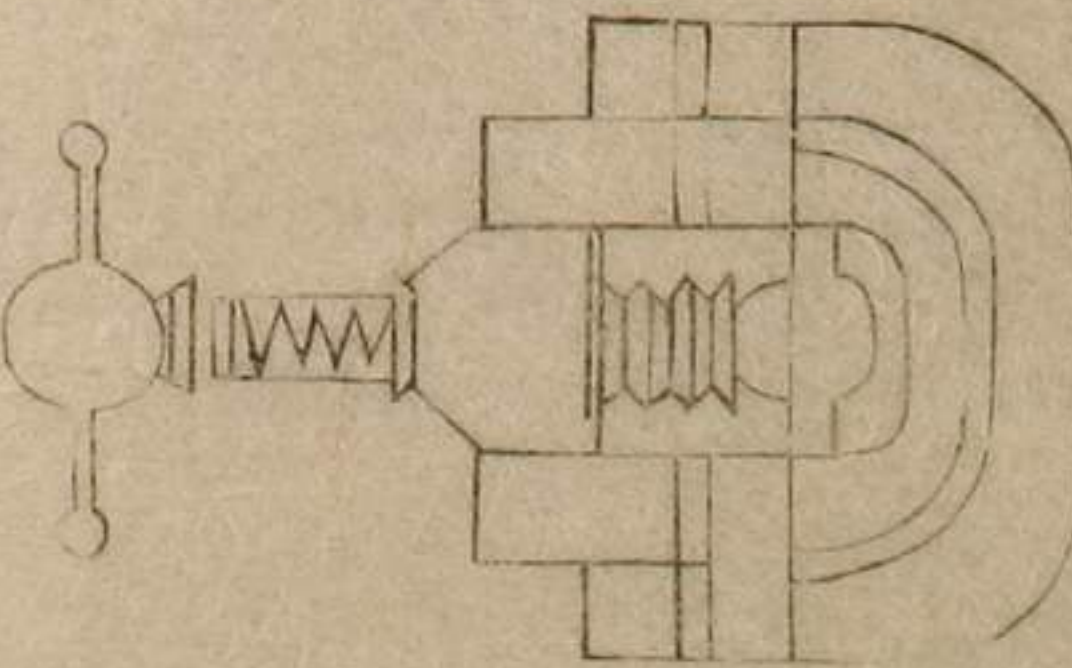
和蘭銅金ヲ以テ造ル取手鉄ノ妻鉄ナリ

總長サ一尺四寸一分



玉ハ當ル所悉ク唐金

二寸七分五厘



○同道火拔 唐金ニテ製ス

上ノ徑三寸五厘角



九分

八分

長サ四寸六分

捻ノ太サ圖ノ如シ

○同柄 樫ニテ製ス

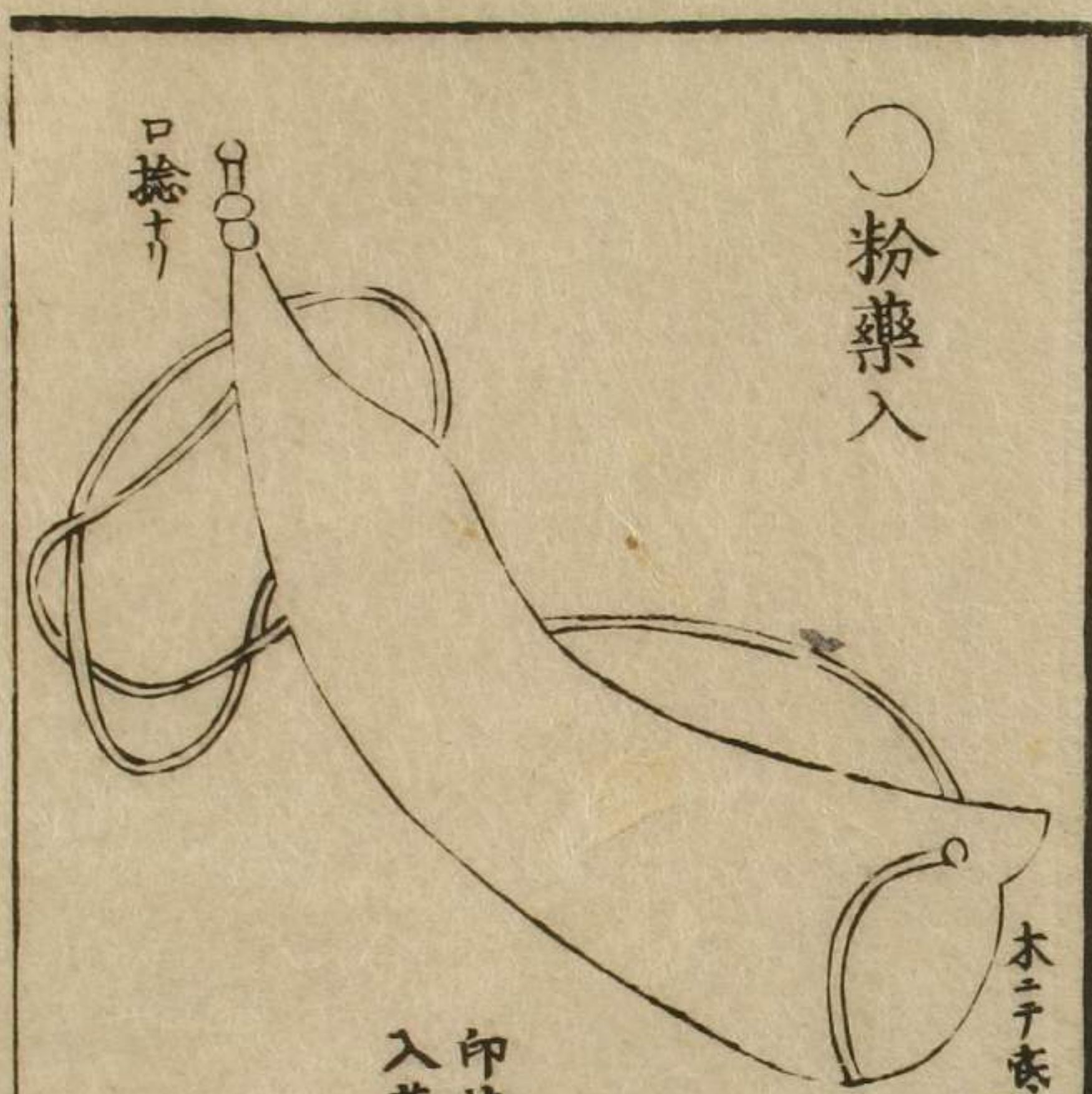
上ノ徑二寸五分

長サ一尺二寸



真鍮 穴九分

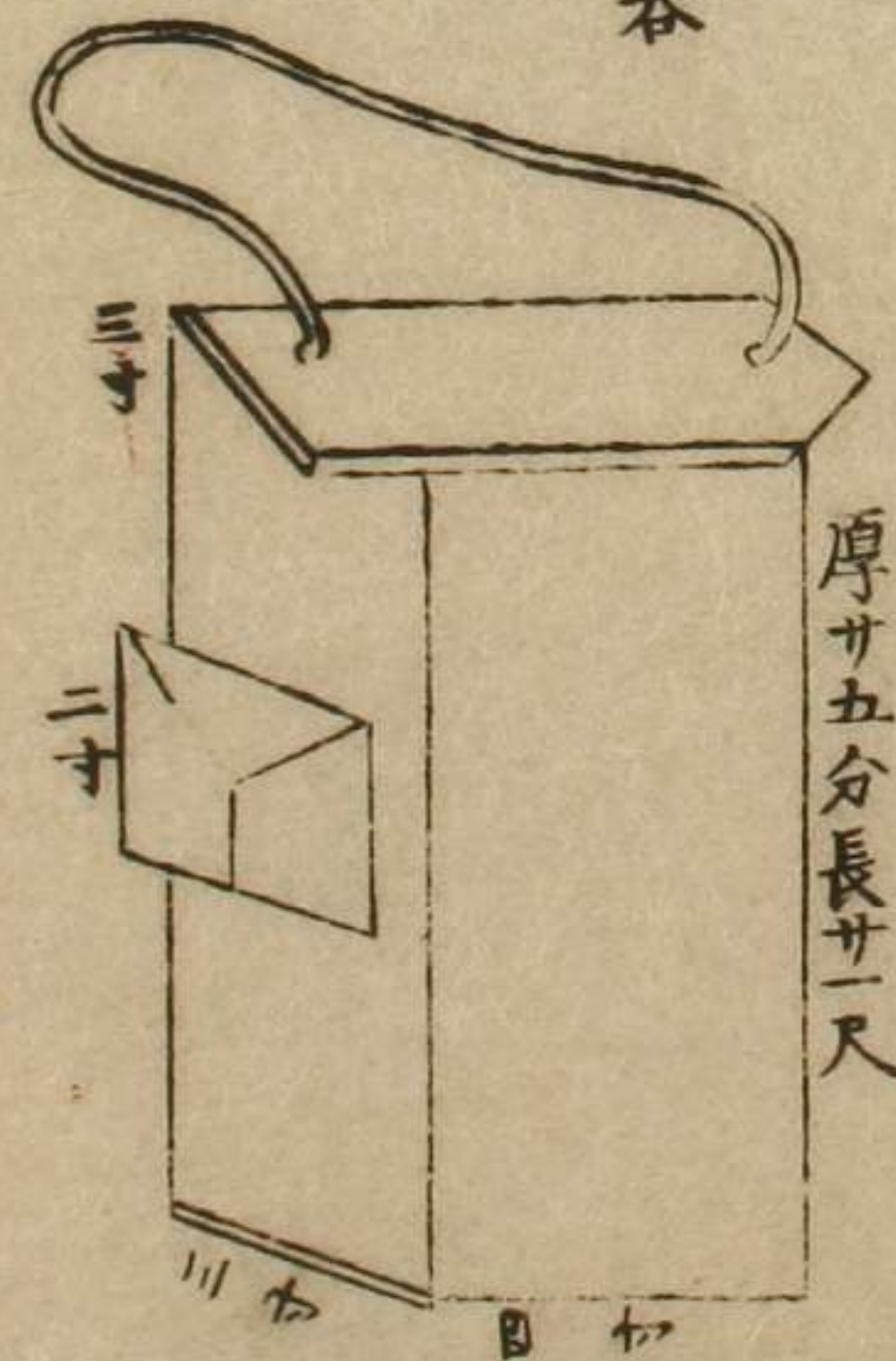
真鍮



○粉薬入

口捻り

木にて造るル



印籠  
入蓋

○合薬通箱

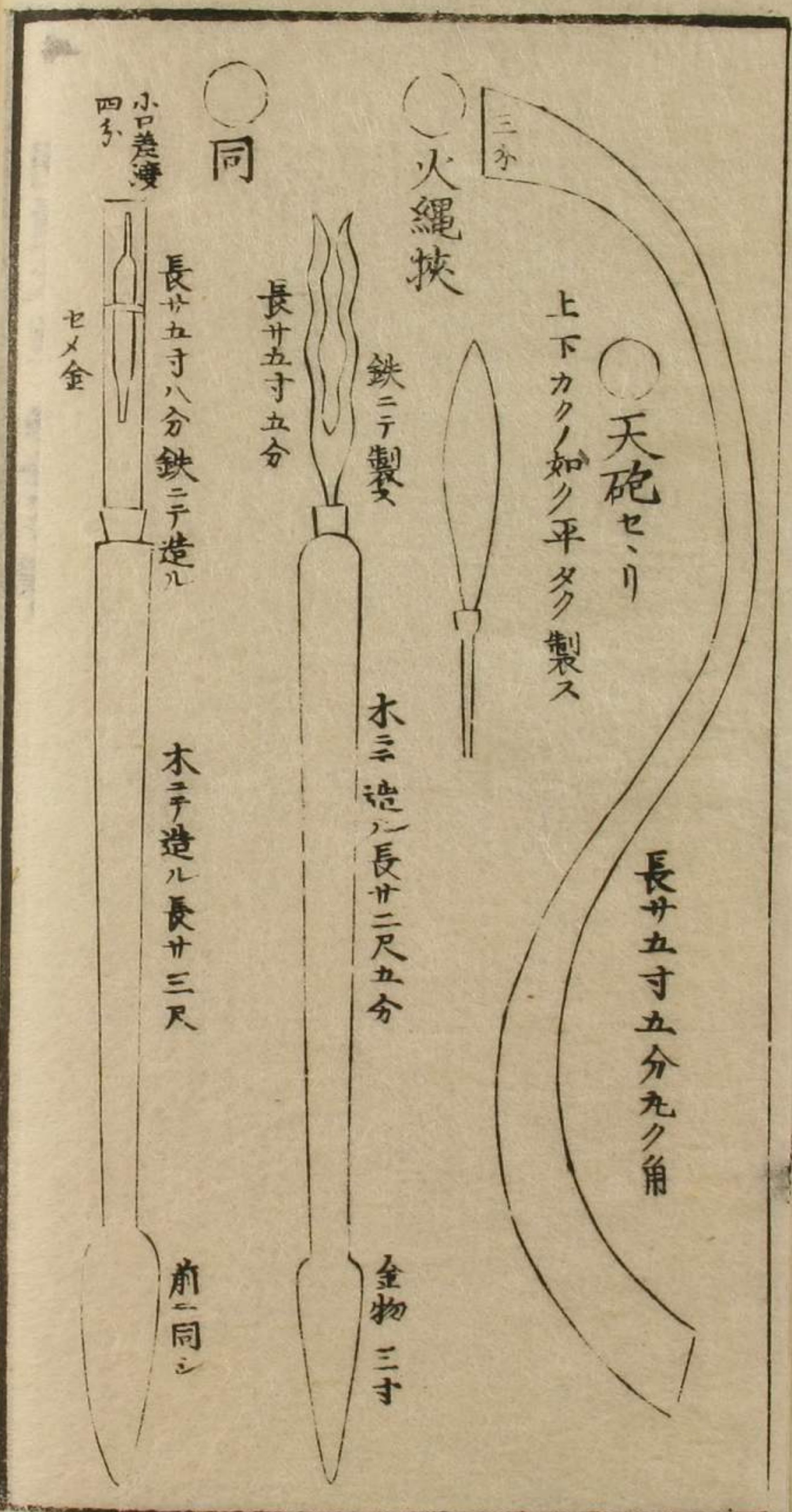
桐にて造り漆にて塗ル

厚サ五分長サ一尺

三寸

二寸

川 巾 目 巾



○同

小口差邊  
四分

セメ金

長サ五寸八分鉄にて造ル

木にて造ル長サ三尺

前二同シ

○火繩挾

三分

長サ五寸五分

鉄にて製ス

木にて造ル長サ二尺五分

金物 三寸

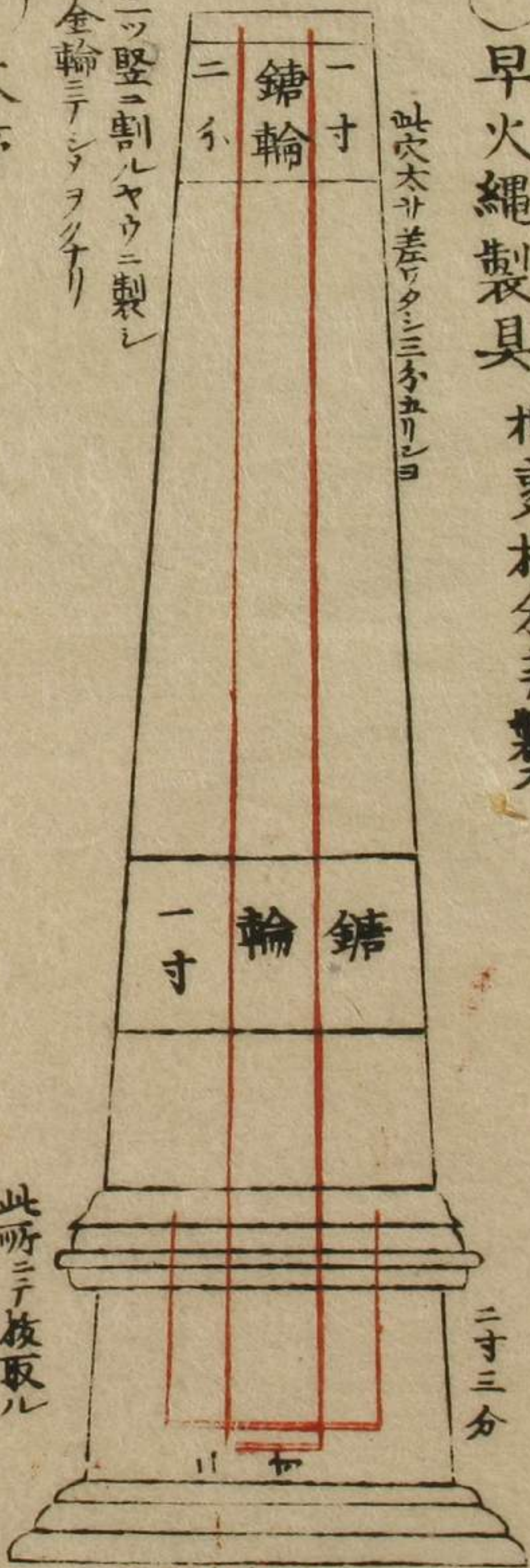
上下カクノ如ク平タク製ス

○天砲セリ

長サ五寸五分九ク角

○早火繩製具 樺或朴木ニテ製ス

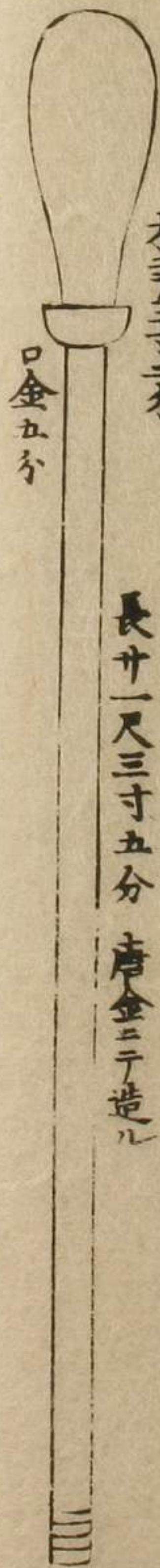
此穴太サ差リタニ三分五リニヨ



ニツ堅ニ割ルヤウニ製シ  
金輪ニテシテヲクナリ

○木管

木ニテ三寸ニホ



長サ一尺三寸五分 唐金ニテ造ル

此所ニテ板取ル  
ヤウニ造ルナリ

此器ハカクハ

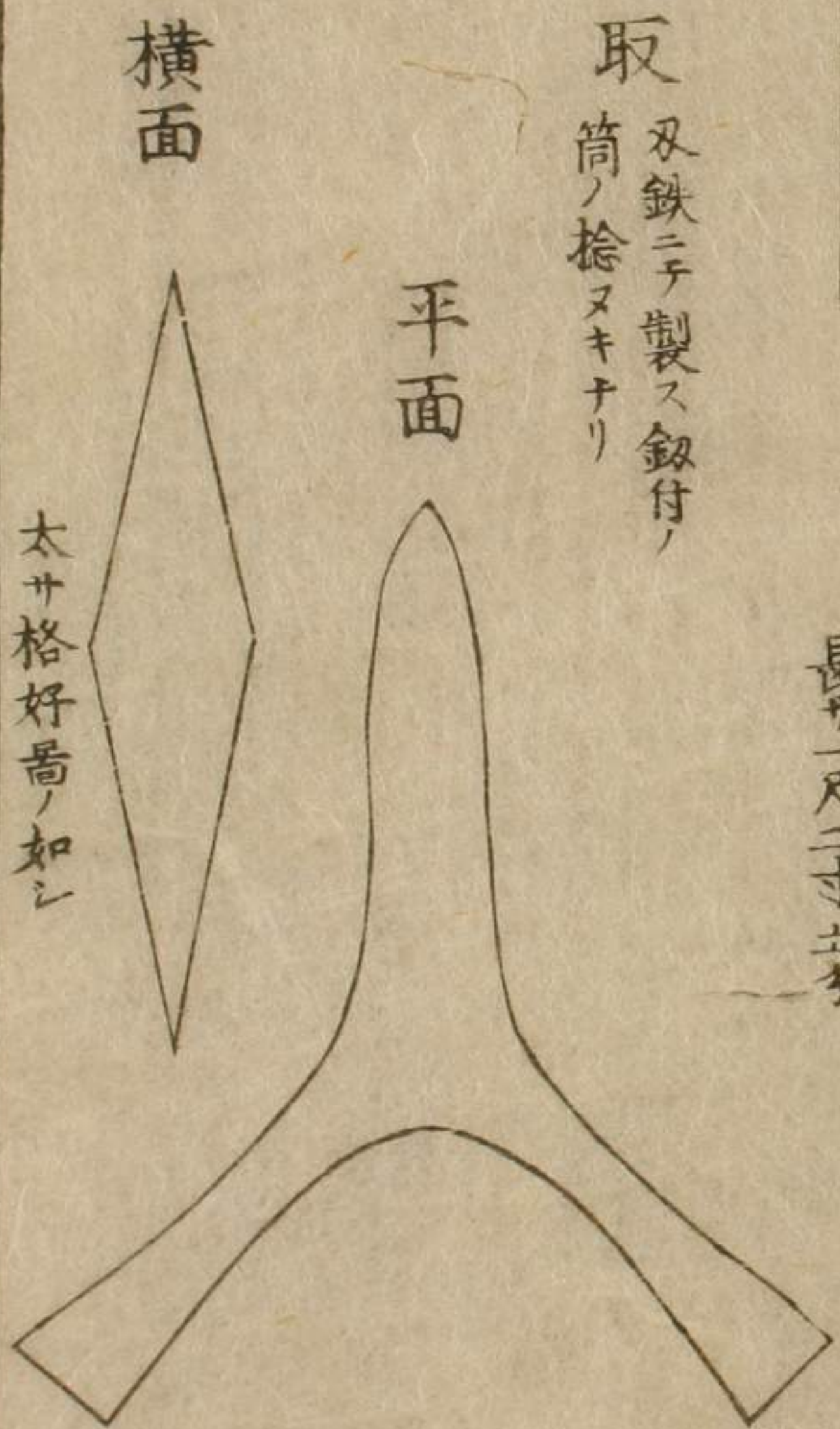
二寸五分 柘植ニテ丸ク造ル

紙管ヲ製ス具ナリ

長サ一尺二寸五分

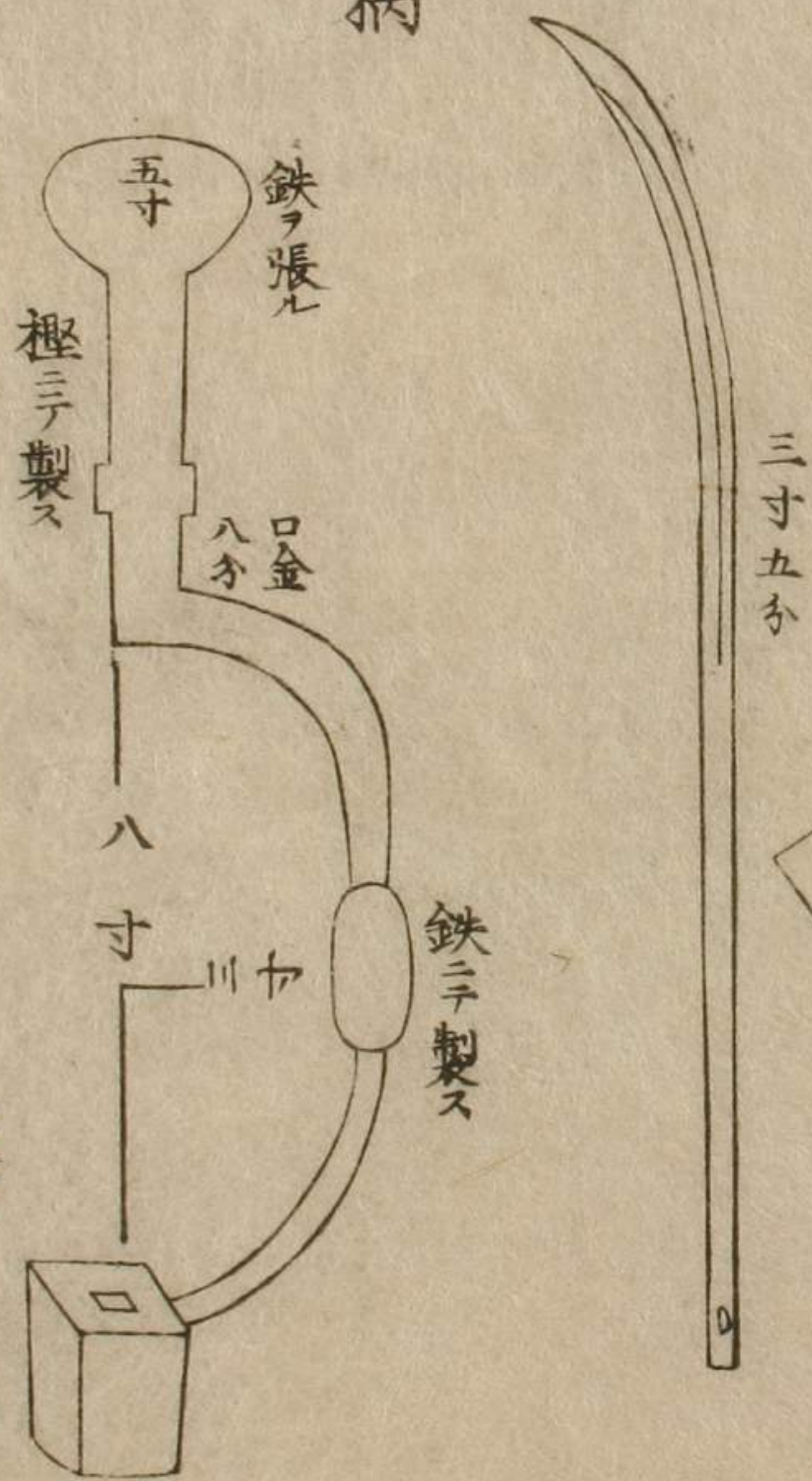
○三取

及鉄ニテ製ス釘付ノ  
筒ノ檢ヌキナリ



太サ格好膏ノ如シ

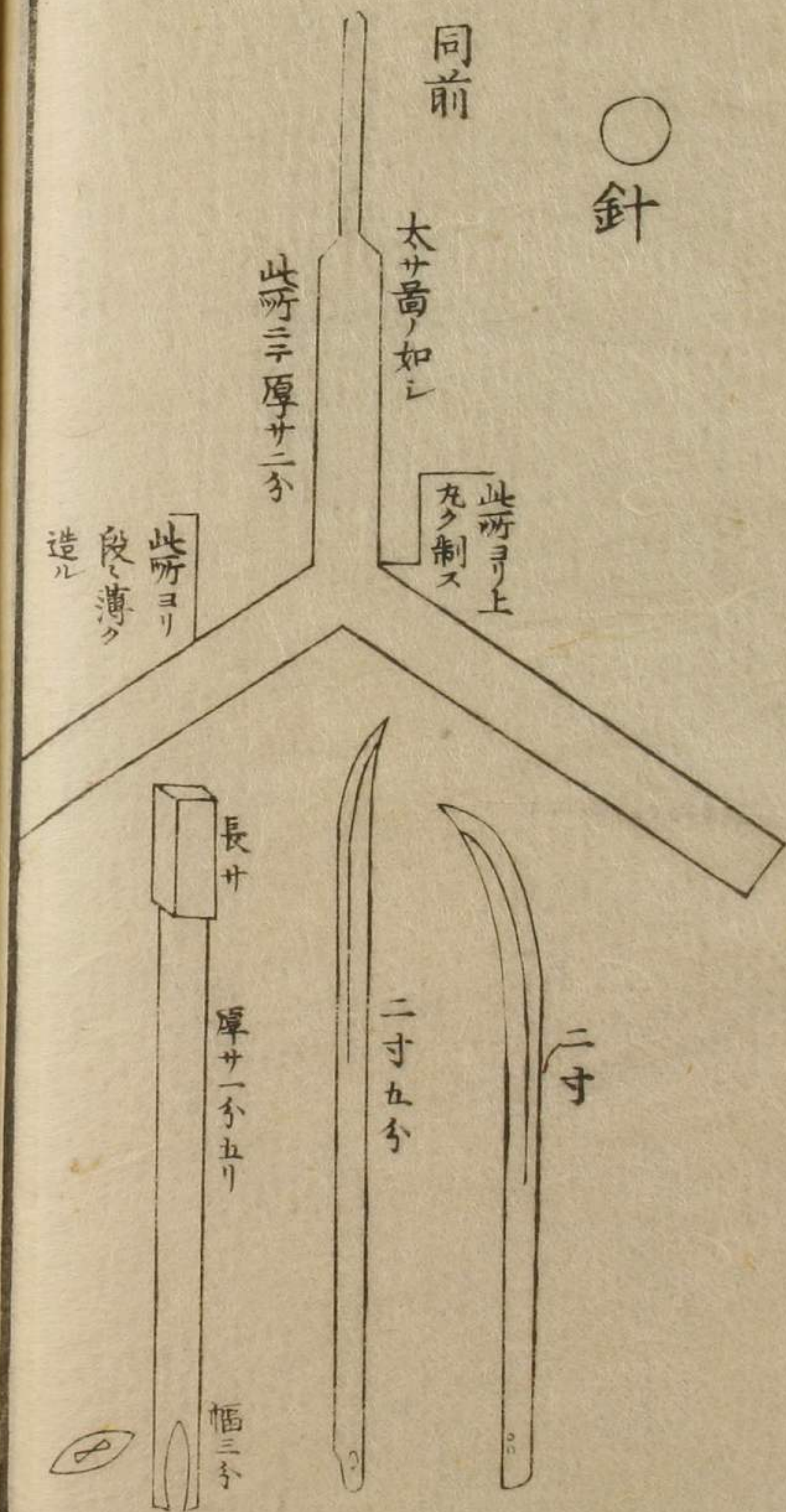
○錐柄



此穴下マテ貫キ前ノ三目錐ヲ入レ  
クサビニテ留ル太サ錐ヲ入ル位

五

○針



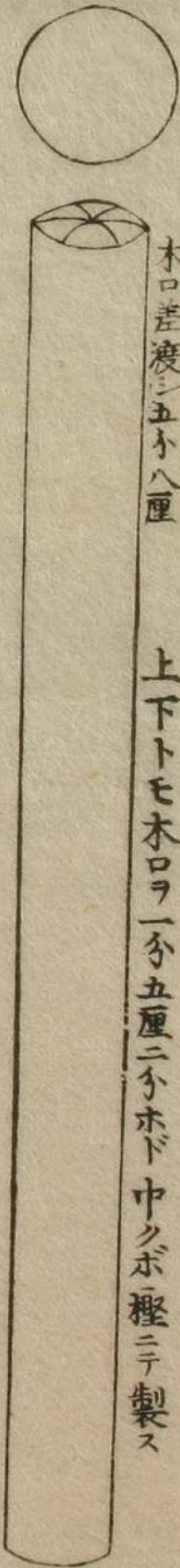
三

三

○ 鈿附筒早合真木

木口差渡シ五小八厘

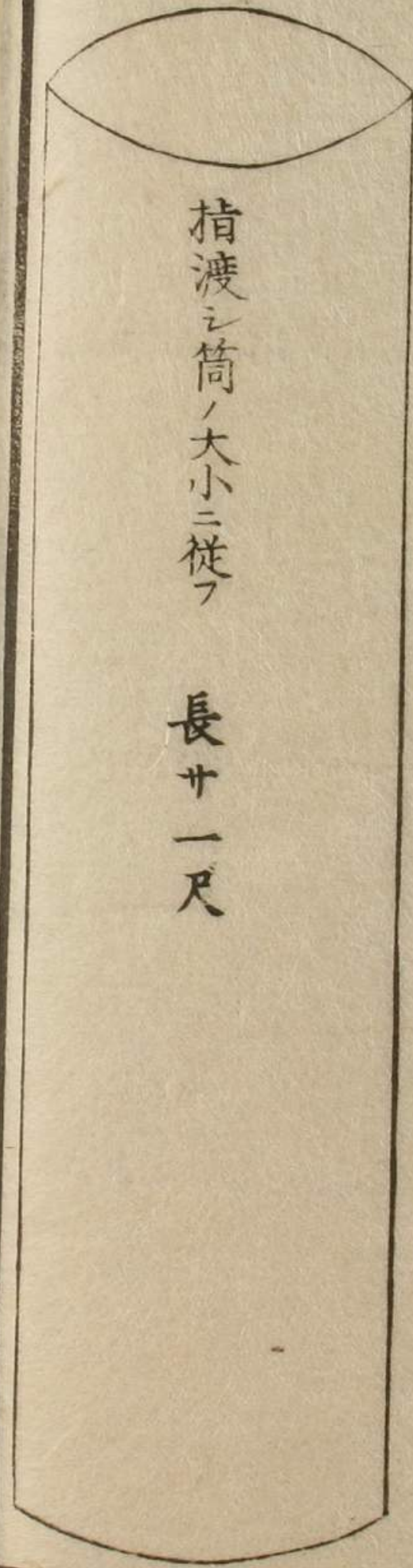
上下トモ木口ラ一分五厘二分ホド中クホ極ニテ製ス



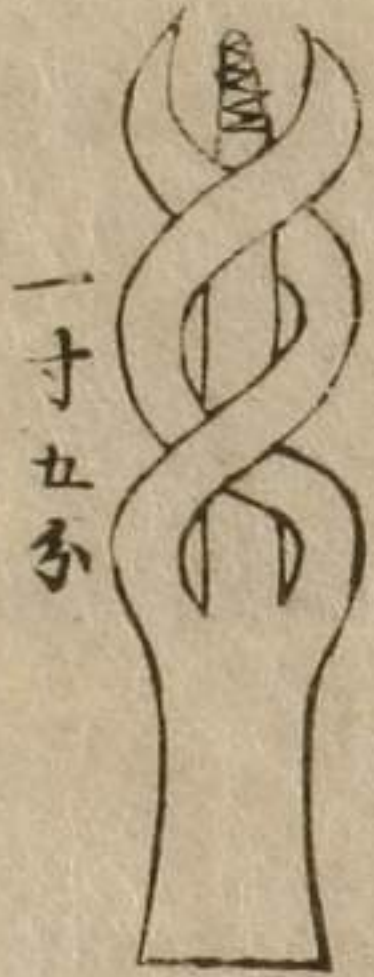
○ 大筒胴藥真木

指渡シ筒ノ大小ニ従フ

長サ一尺

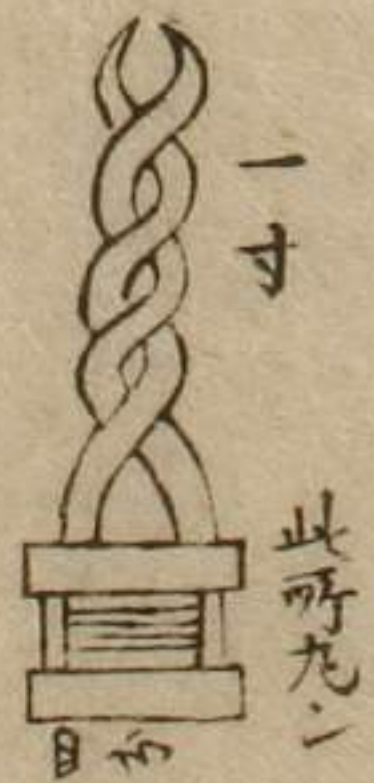


○ 鈿附筒玉板



一寸五分

又

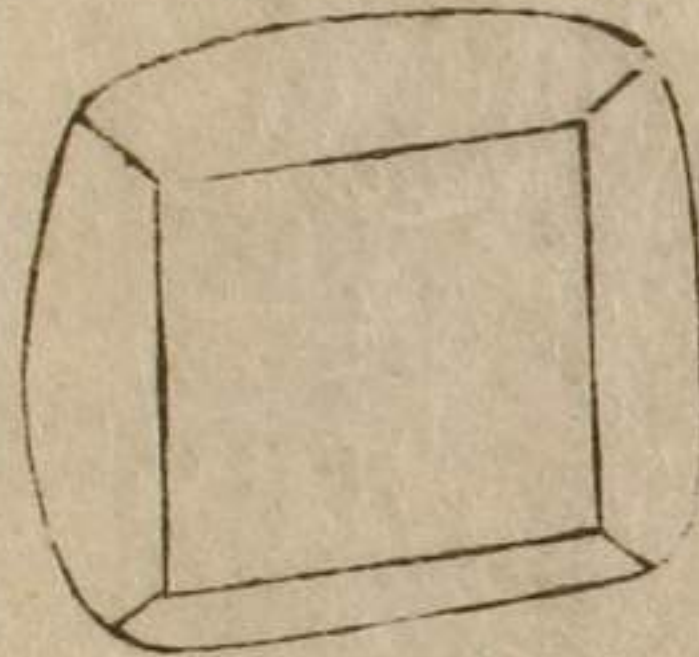


一寸

此所丸シ

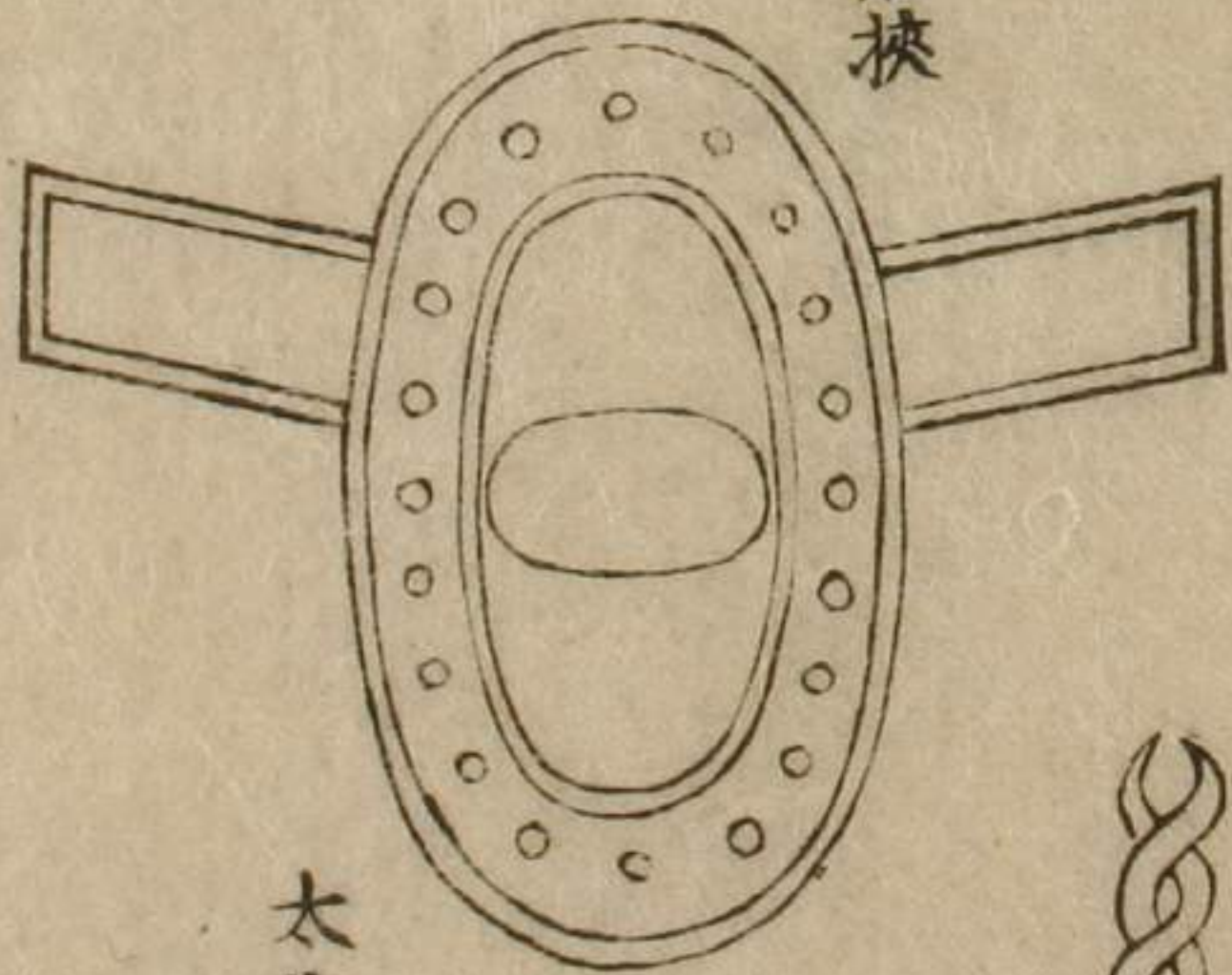
○ 小筒角石

鑿ノ刃ノ如ク一方ヲ薄クスル



薩州ノ石ヲ上トス津經  
コレニ次ク濃州ヲ下トス  
水戸ハ又コレニ次ク  
大サ黄ノ如シ

角石挾

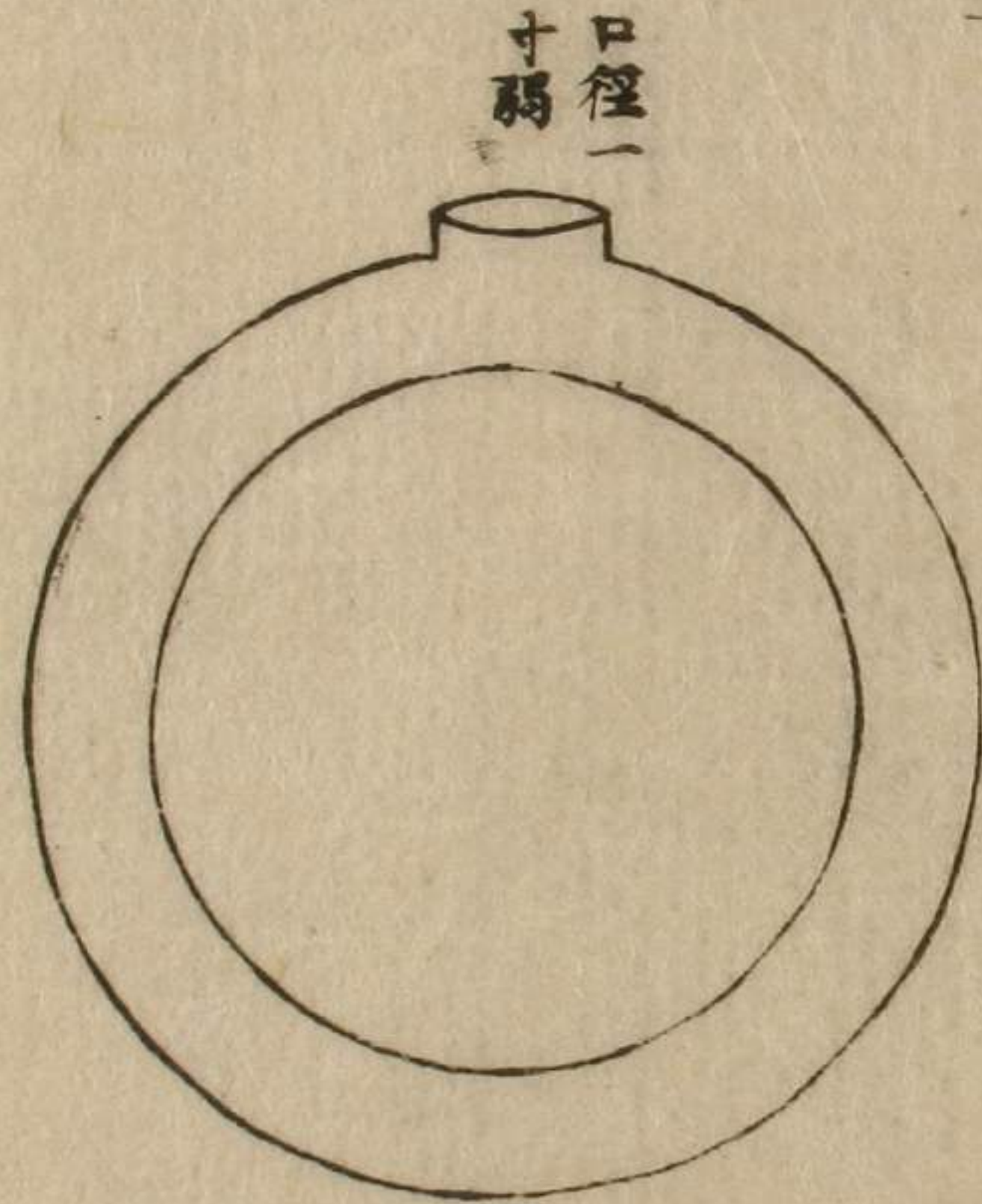


大サ黄ノ如ク厚五厘



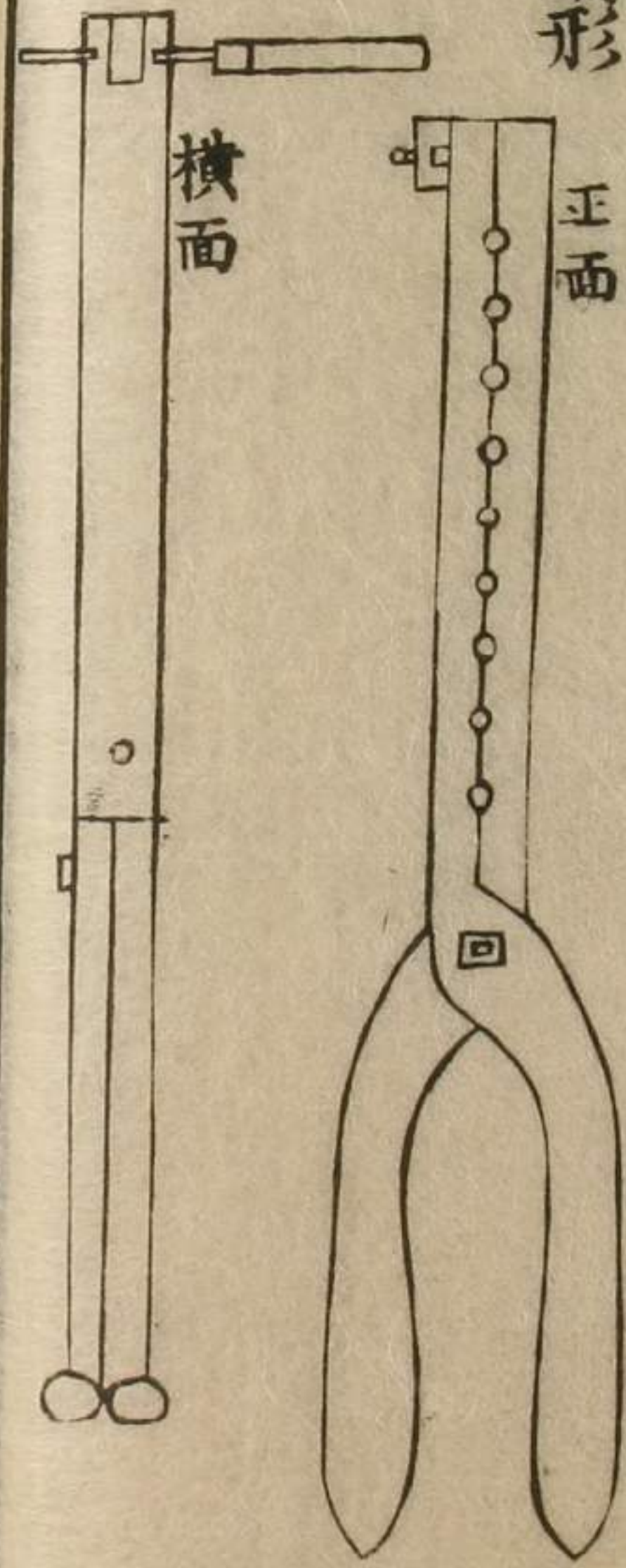
○天砲玉

鐵ヲ鑄造



中空虚ナリ廻リ鉄、  
厚サ九寸底ノ所一寸  
五分

○小筒鉛玉鑄形



○火門箸

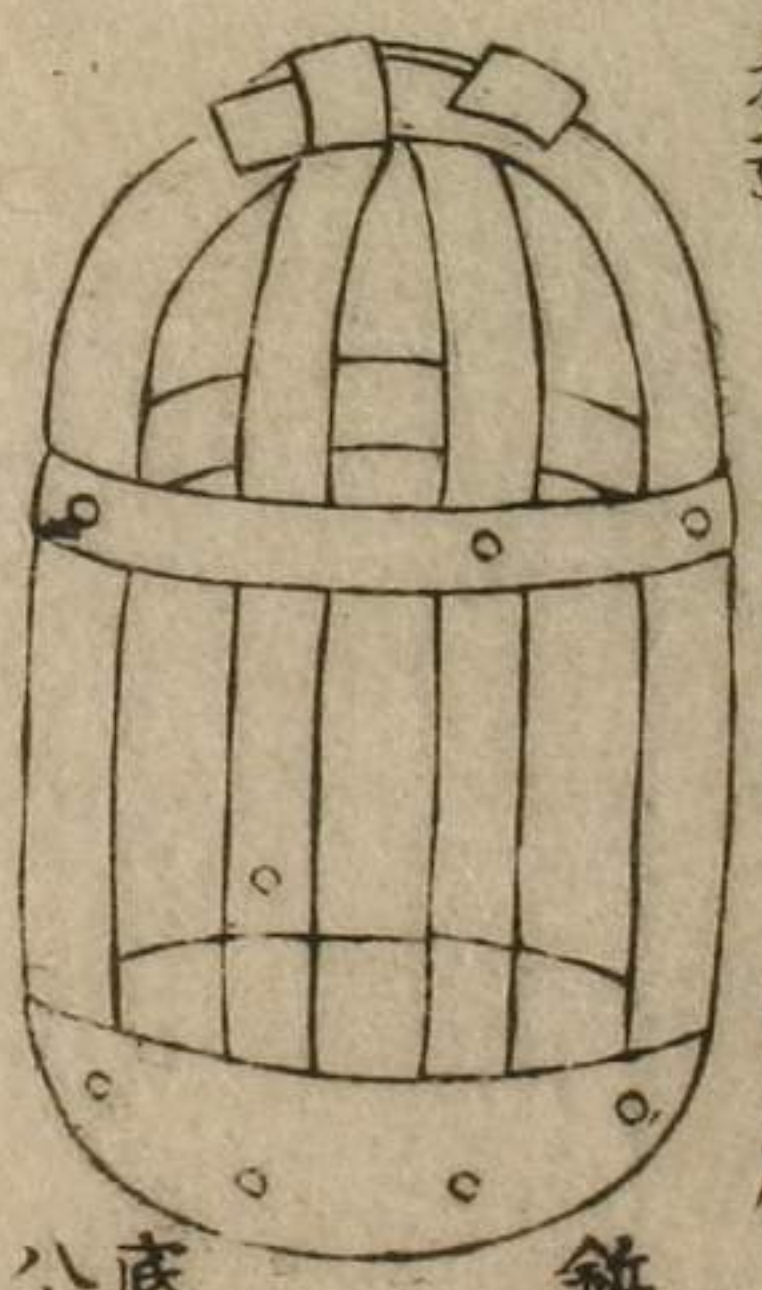
双金ヲ製ス

長サ八寸

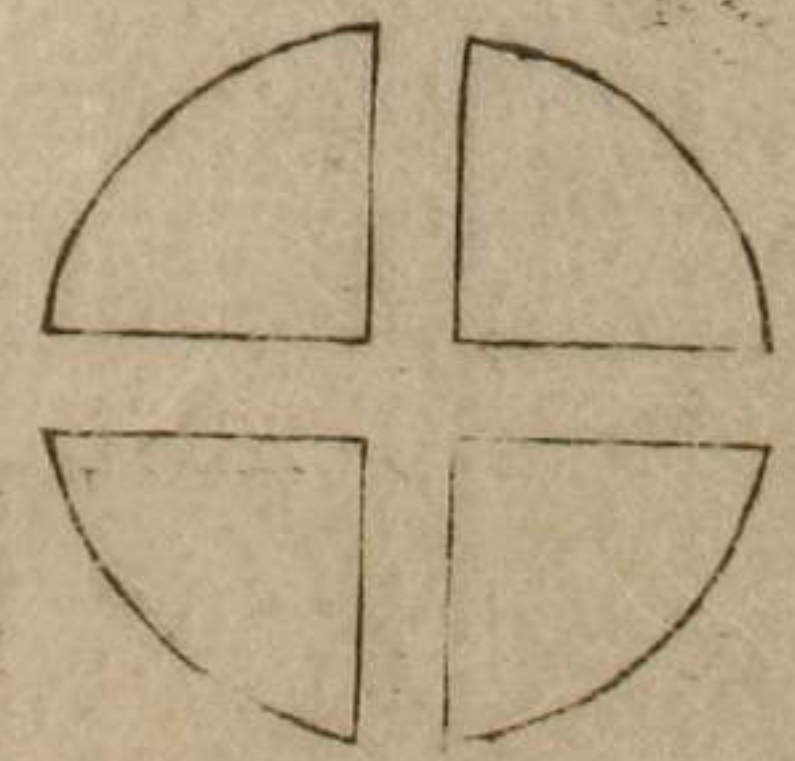


○焼打玉下地籠

小口  
差渡  
三寸  
木差渡四分  
鉄打造  
堅金四方上モ  
外折返ス四所  
トモ同シ

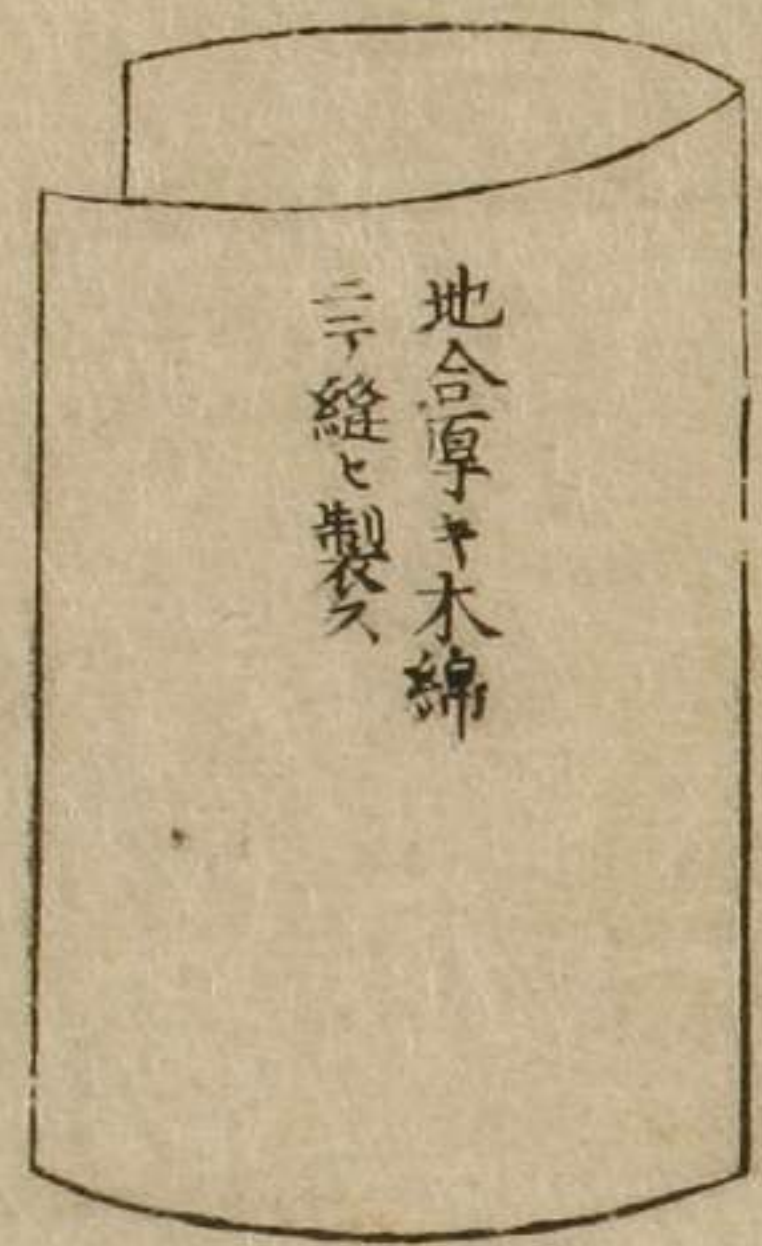


堅八寸五分  
中寸二分  
厚八厘  
鉄打造  
底深  
八分  
中一寸三分  
此輪ノ所手差ワラス



底ノ内ヲ見ル  
底ノ差渡六寸三分

○同籠袋

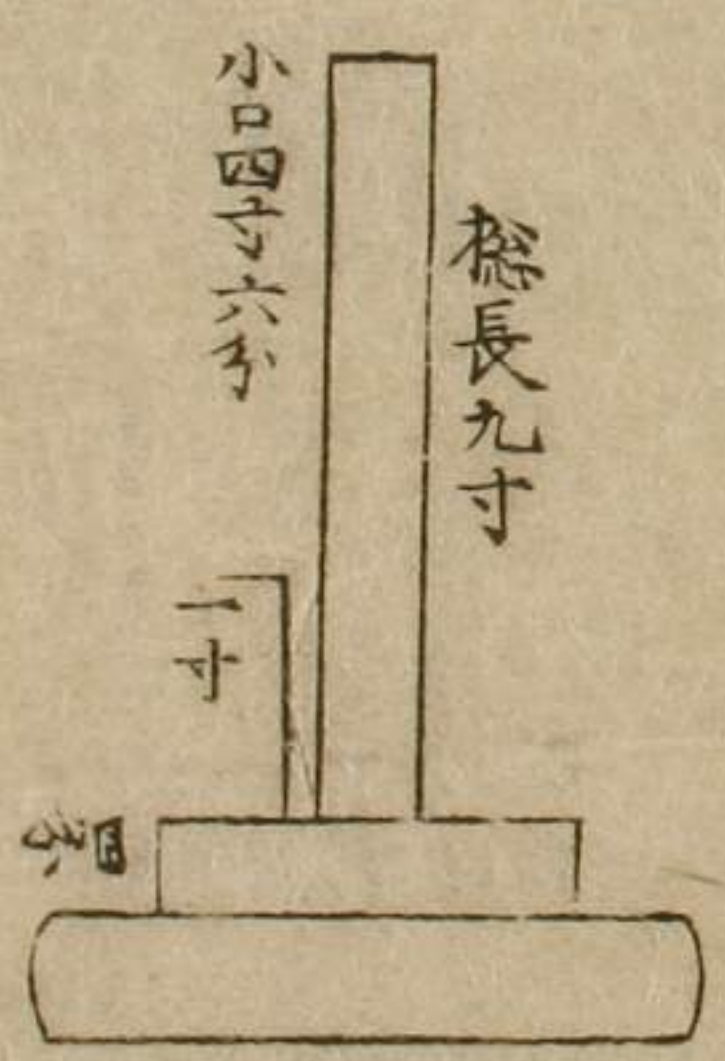


地合厚キ木綿  
三寸縫ヒ製ス

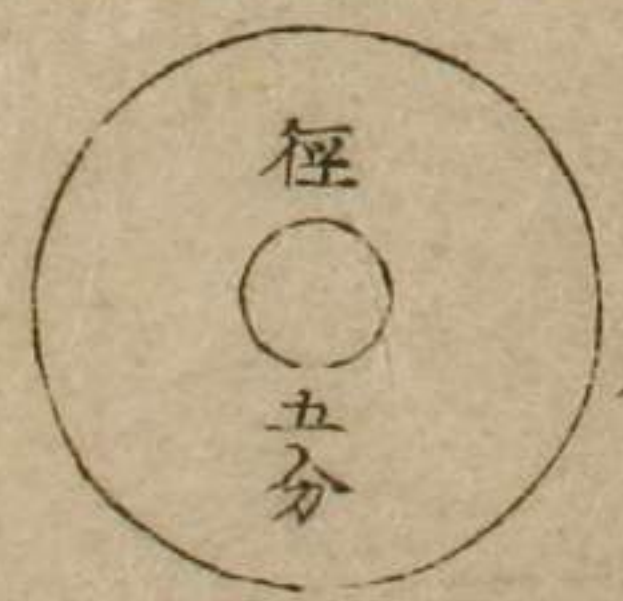
鉄籠ヲ一椀ニ入テ上ノ方ヲ三寸長ニスリ

○數玉真木

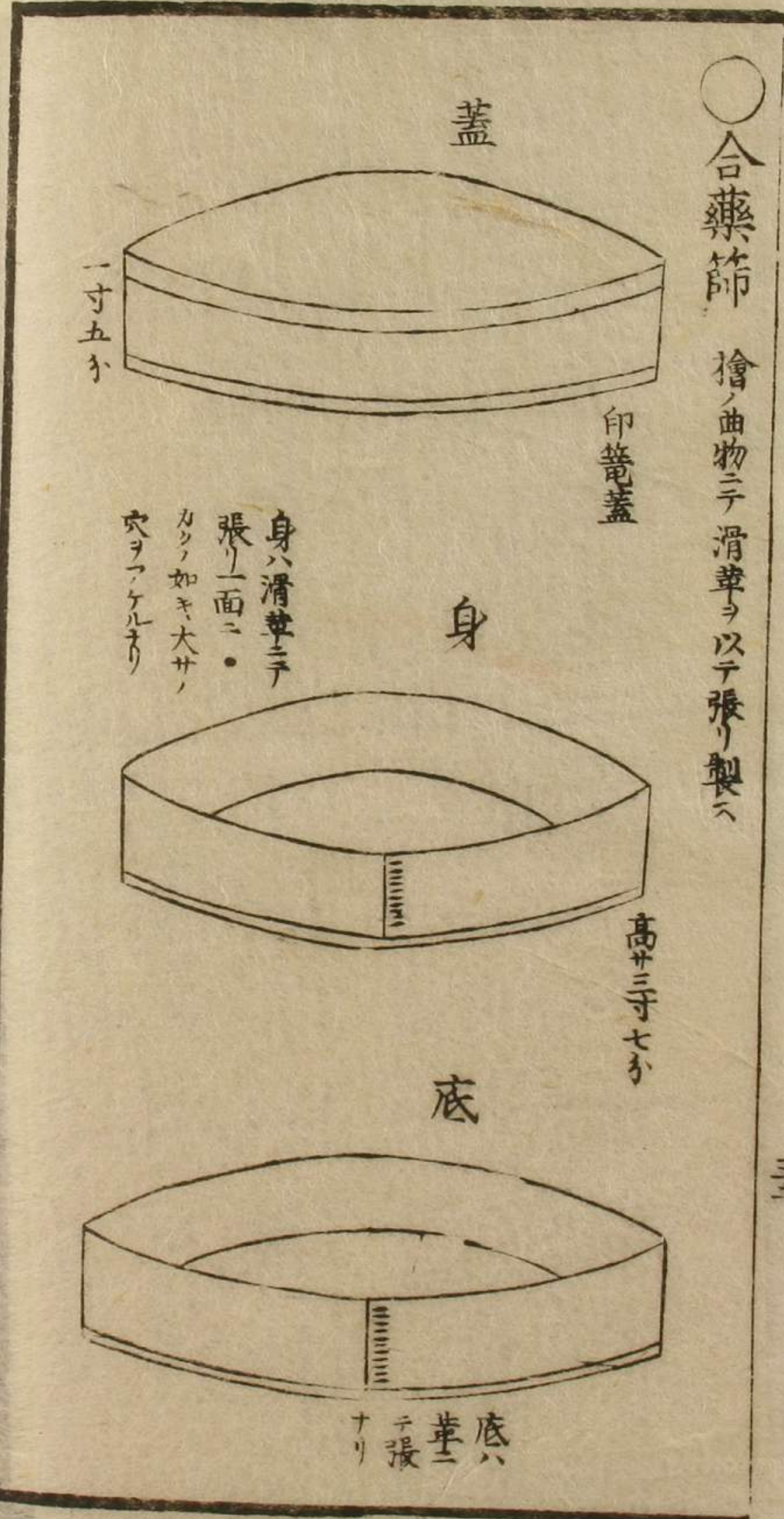
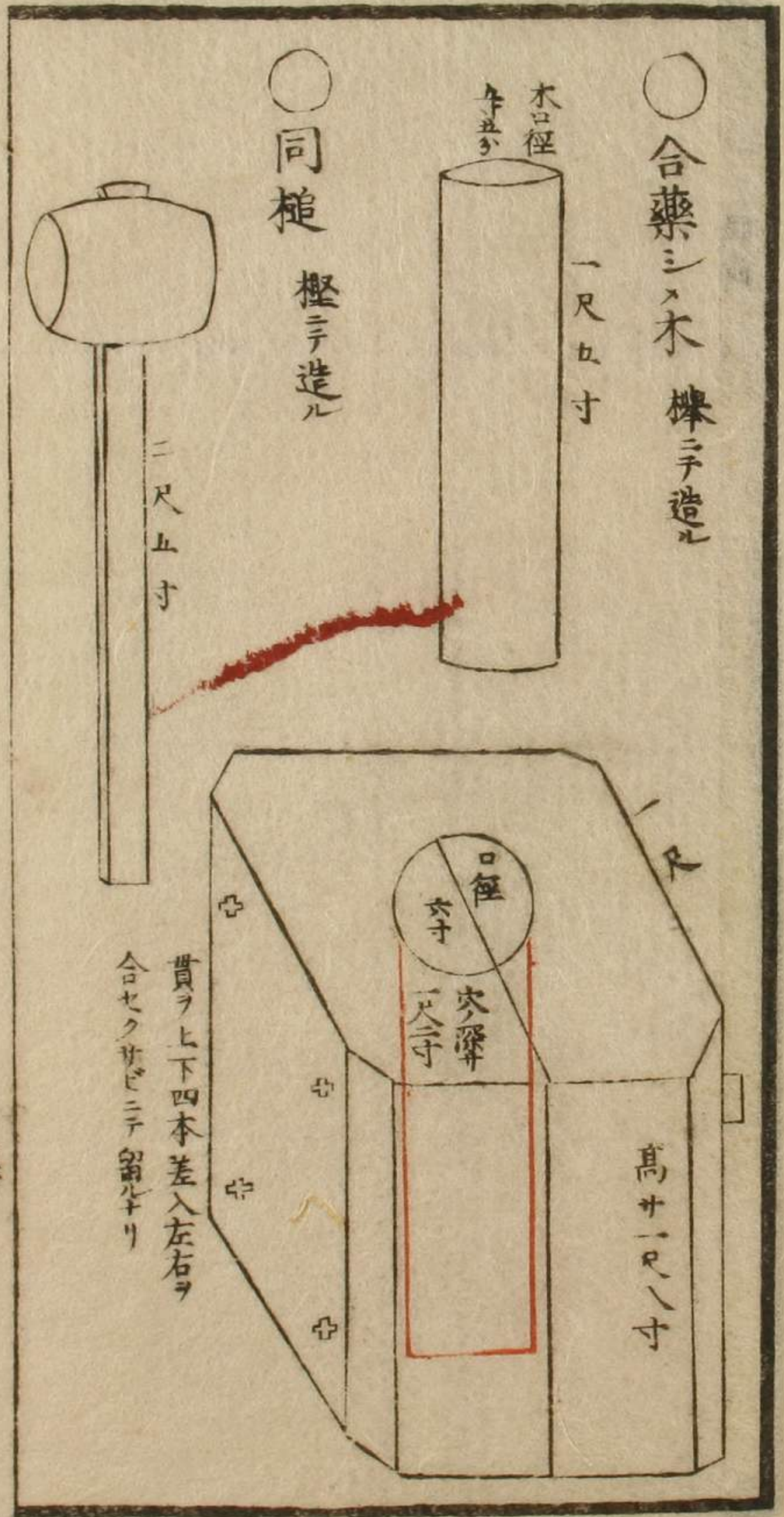
ケヤキニホゼテ製ス



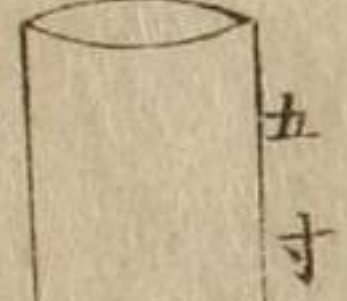
総長九寸  
小口四寸六分  
一寸



挽物  
此徑二寸八分  
徑五分



口巾

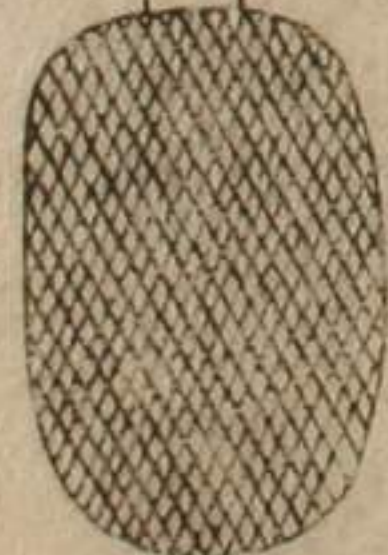


五寸

○大砲糊杖

長廿四尺五寸

帆布綿ニテ包ム



口巾

銃掃

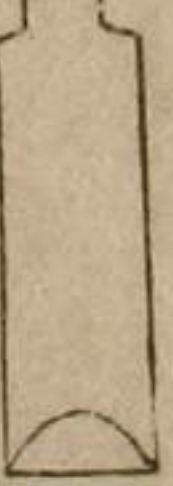


銃掃

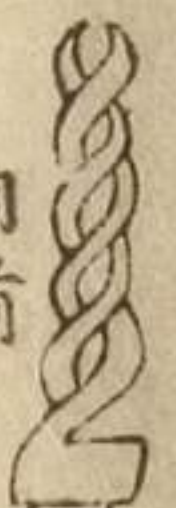
○同糊杖

木綿(糸ヲ植テ銃ニテ打付ル又丹通ヤウノモノヲ張ル

何レモ筒ノ大小ニ随テ長短アリ



同前



鉄ニテ造ル

木

木

○野戦筒玉拔



高さ寸

ヤヤ木口

挽物

口徑四寸七分

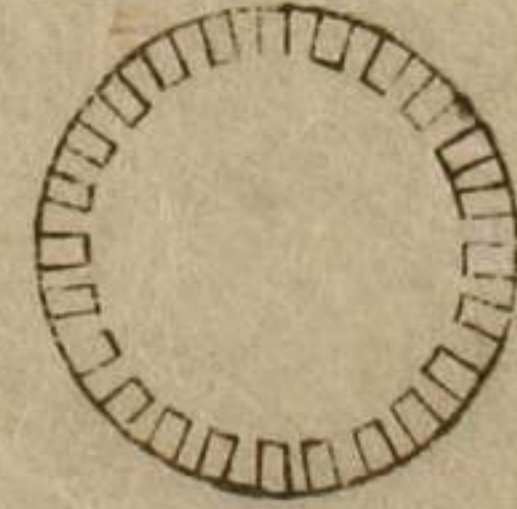
高九寸

底

厚紙ニテ張ル

極略製ス

薄鉄或ハ真鍮ニテ製シ又赤金ニテ造ル

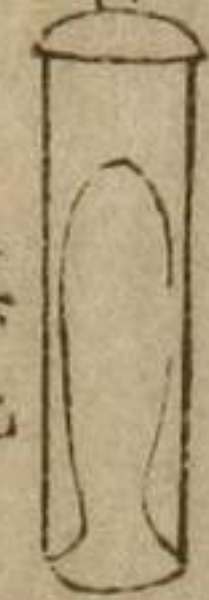


底木

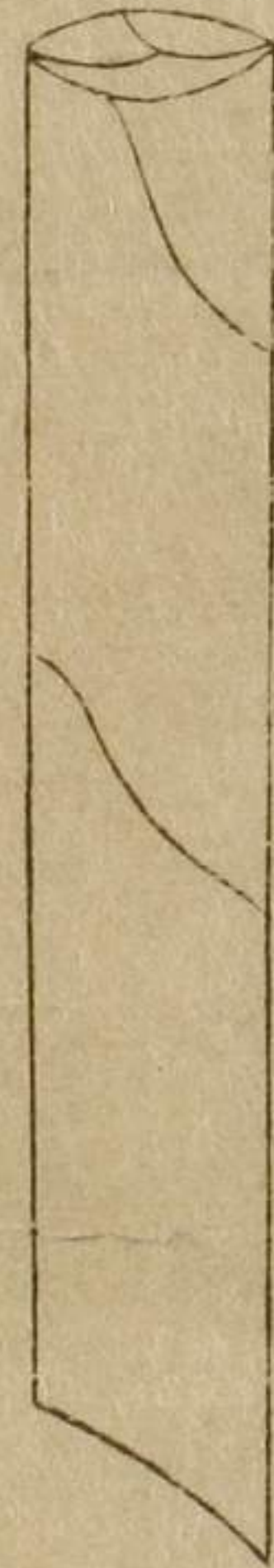
線折返シ四分

唐金ニテ造ル

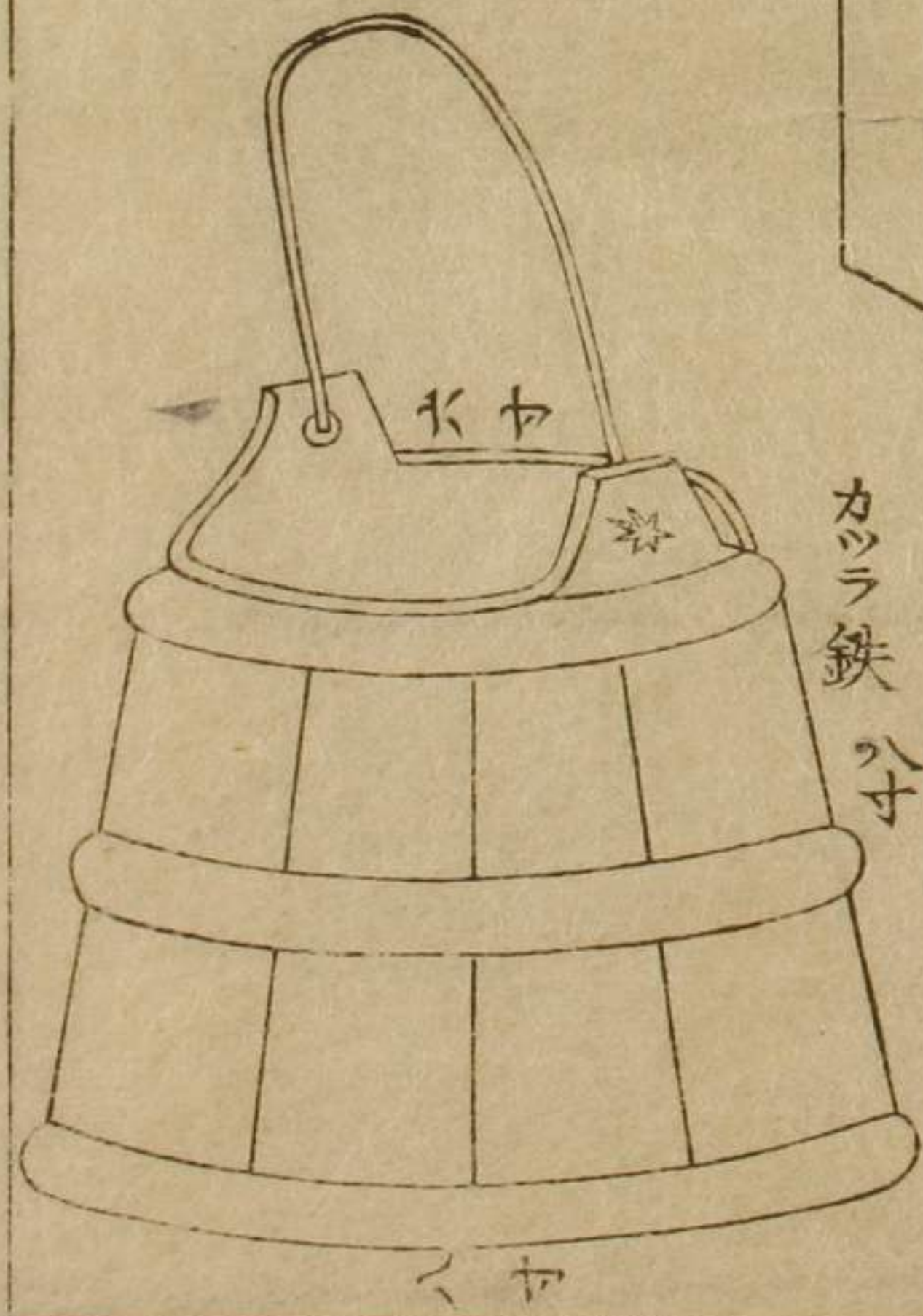
茶七



○紙早合巻タル圖



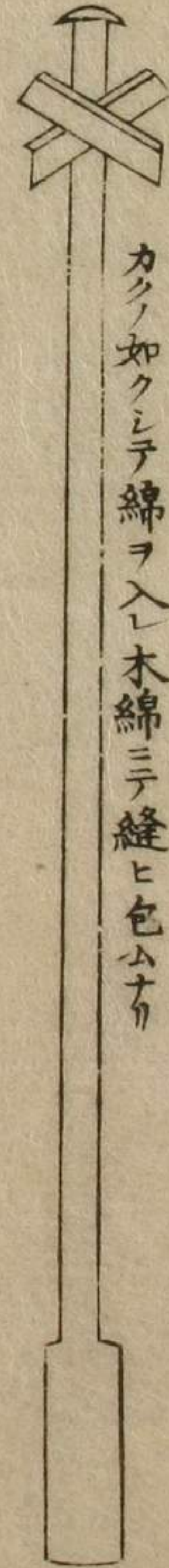
○野戦筒水桶



カッラ鉄 八寸

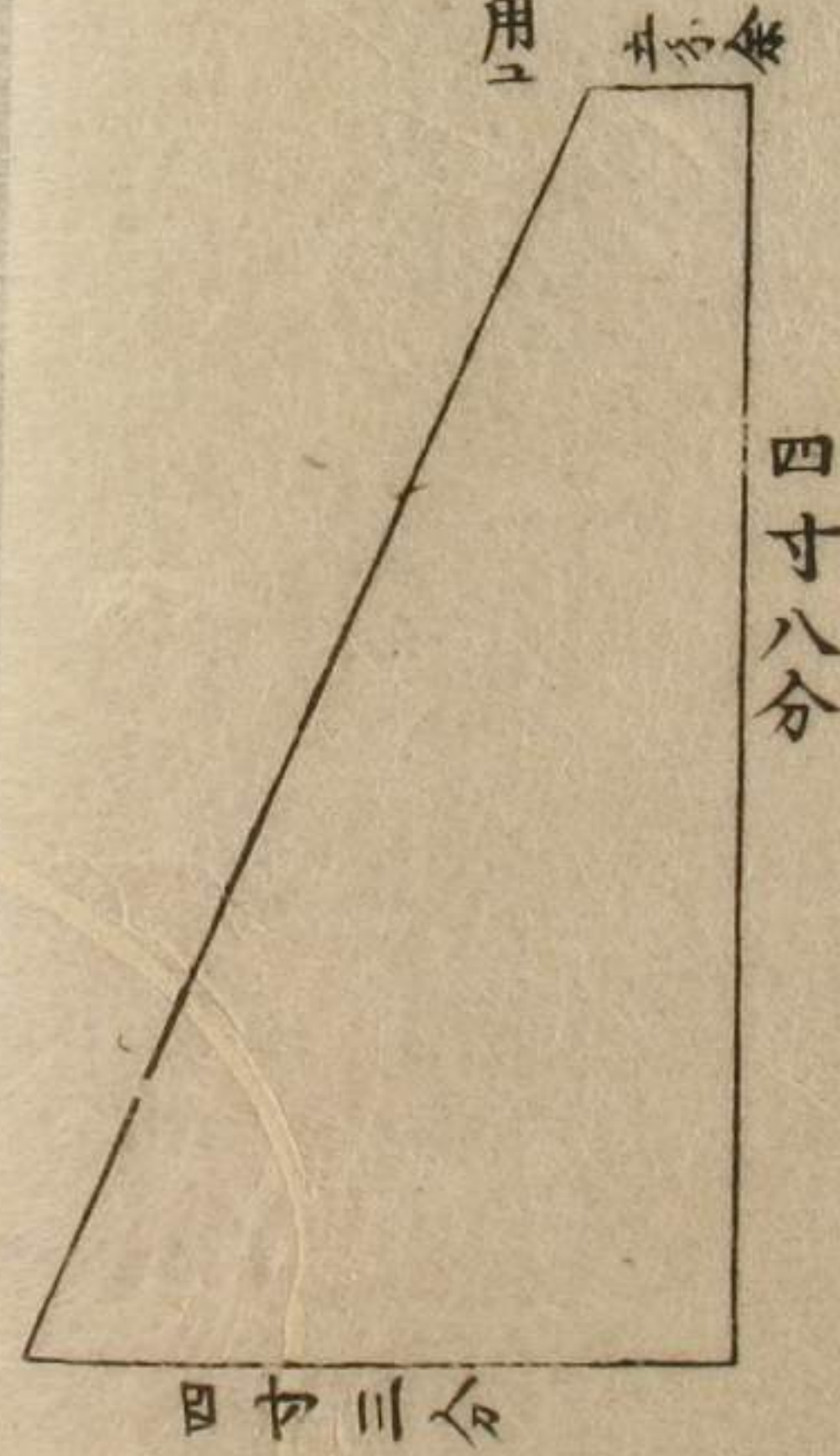
くや

○同下地



カクノ如クシテ綿ヲ入レ木綿ニテ縫ヒ包ムナリ

○小筒紙早合法量



紙ハ厚ク切レ安キヲ用ユ

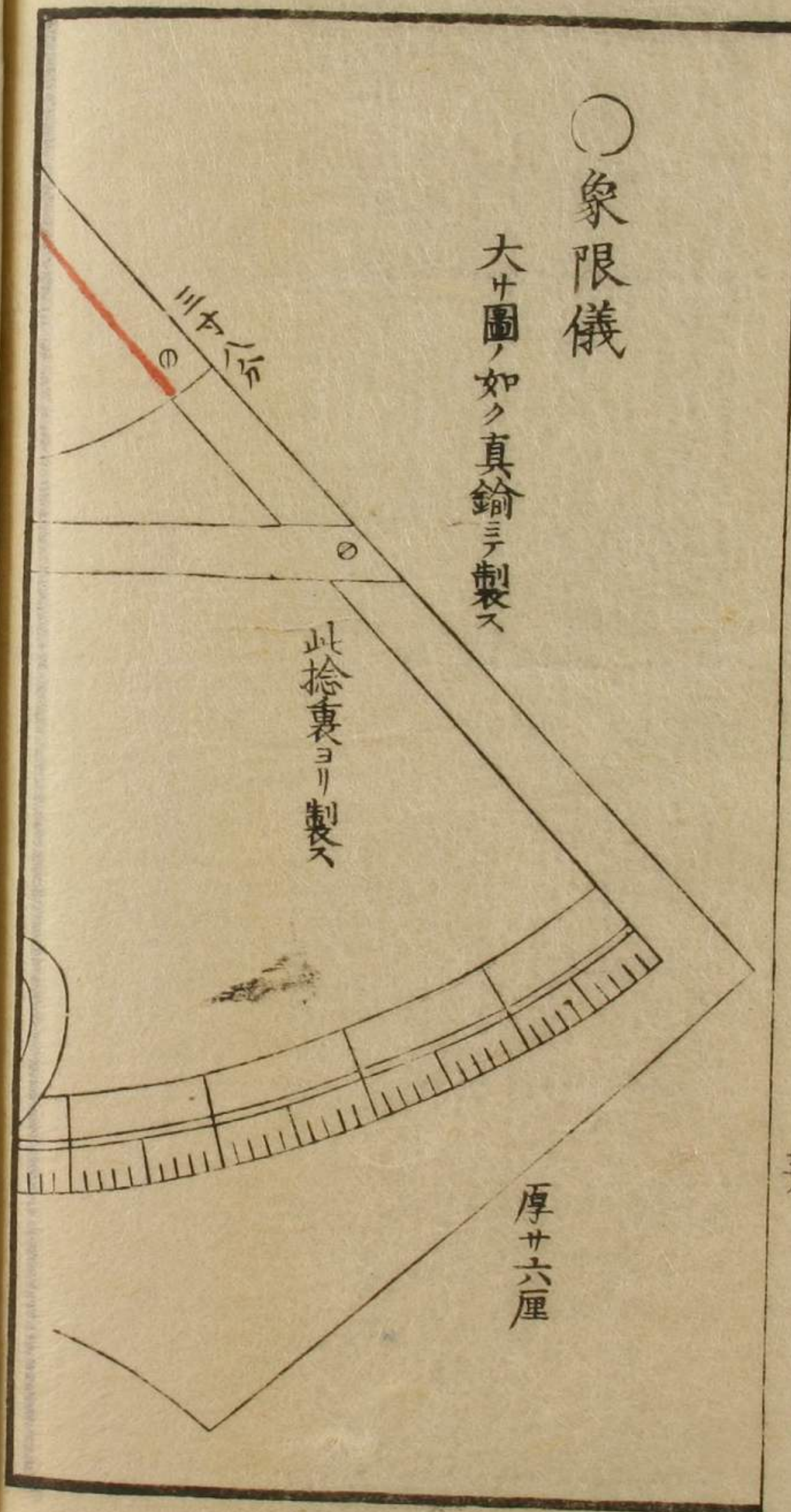
カクノ如ク

四寸八分

目ヤ川

○象限儀

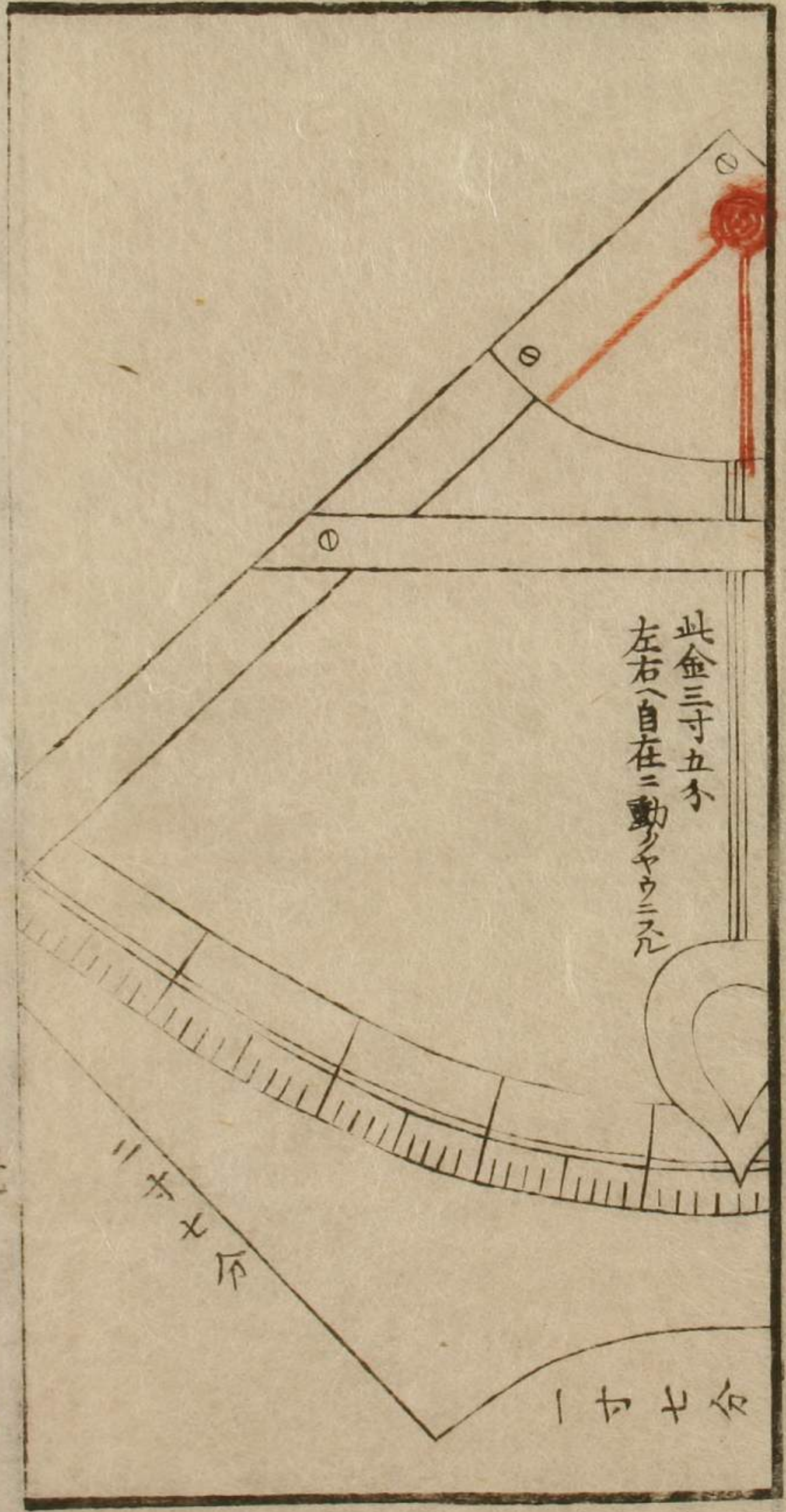
六十圖、如ク真鍮ヲ製ス



此拾裏ヨリ製ス

厚廿六厘

此金三寸五分  
左右自在ニ動クヤウニス



川十寸

川十寸

鏡具圖式終

嘉永甲寅仲夏新刻

五守館藏板

